

第4回みえ県民意識調査

集計結果 報告書

平成27年5月

三重県戦略企画部

目次

調査の概要.....	1
1 . 調査の目的.....	1
2 . 調査の概要.....	1
3 . 調査の内容.....	1
4 . 回収結果.....	1
5 . 報告書の見方.....	2
6 . 回答者の属性.....	3
集計結果.....	5
1 . 幸福感.....	5
2 . 地域や社会の状況についての実感.....	13
3 . ご家族に関すること.....	49
4 . 仕事や収入に関すること.....	61
5 . お住まいの地域に関すること.....	73
その他.....	99

調査の概要

1. 調査の目的

県では、「みえ県民力ビジョン」において「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」を基本理念として掲げており、県民の皆さんの「幸福実感」を把握し、県政運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を毎年実施しています。第4回調査の概要は以下のとおりです。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の20歳以上の男女
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法によります。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てました。
- (5) 調査方法 郵送による発送・回収
- (6) 調査期間 平成27年1月～平成27年2月
- (7) 調査主体 三重県戦略企画部戦略企画総務課
- (8) 調査委託機関 株式会社スクエア三重事業所
(調査対象者の抽出、調査票等発送、調査票のデータ入力及び集計業務)

3. 調査の内容

下記の6つの調査項目により構成しています。

- (1) 幸福感
- (2) 地域や社会の状況についての実感
- (3) ご家族に関すること
- (4) 仕事や収入に関すること
- (5) お住まいの地域に関すること
- (6) 自由意見 (質問総数51問)

4. 回収結果

- (1) 標本数 10,000人
- (2) 実回収総数 5,453人(回収率 54.5%)
- (3) 有効回答数 5,444人(有効回答率 54.4%)
- (4) 無効回答数 9人

図表 1-4-1 有効回答率の推移

	調査時期	有効回答率
第4回(今回)	平成27年1月～2月	54.4%
第3回(前回)	平成26年1月～2月	54.6%
第2回	平成25年1月～2月	54.3%
第1回	平成24年1月～2月	57.1%

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりです。

図表 1-4-2 調査地域区分と地域別標本数

居住地域	市町	標本数	有効回答数	有効回答率 (%)	構成比 (%)
北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、 亀山市、いなべ市、木曽岬町、 東員町、菰野町、朝日町、 川越町	4,488	2,392	53.3	43.9
伊賀地域	名張市、伊賀市	958	519	54.2	9.5
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、 大台町	2,702	1,543	57.1	28.3
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、 玉城町、度会町、大紀町、 南伊勢町	1,418	757	53.4	13.9
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、 御浜町、紀宝町	434	233	53.7	4.3
合計		10,000	5,444	54.4	100.0

5 . 報告書の見方

- (1) 報告書中の「n」は、その設問におけるサンプル数 (= 有効回答数) を表しています。
- (2) 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100% にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の比率は、回答数の合計をサンプル数 (n) で割った比率となっており、比率の合計は通常 100% を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現では、スペース等の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) スペースの関係で、図表に回答割合の低い数値を表示していない場合があります。
- (6) 属性項目間の比較で大きな差が見られない属性や第3回調査から大きな変化が見られない属性等については、記述を省略しています。
- (7) サンプル数 (n) が 50 未満の属性項目、ならびに主な職業の「その他の職業」、世帯構成の「その他」、世帯の年間収入の「わからない」の3つの属性項目については、原則として記述を省略しています。

6. 回答者の属性

- (1) 集計する際の基本的な属性は、地域、性別、年齢（10歳階級）、主な職業、配偶関係、世帯類型、世帯収入の7つとしています。
- (2) 世帯類型について、前回調査では世帯類型を質問していましたが、今回調査では同居家族の組み合わせにより判断していることから、前回調査との比較は行いません。
- (3) 回答者属性の構成比について、前回調査との差における主な特徴は次の通りです。
- ・地域別では、「中南勢」、「伊勢志摩」、「東紀州」の割合が前回調査より高く、「北勢」と「伊賀地域」は低くなっています。
 - ・性別では、「男性」の割合が前回調査より高く、「女性」が低くなっています。
 - ・年齢別では、「20歳代」、「60歳代」、「70歳以上」の割合が前回調査より高く、「30歳代～50歳代」は低くなっています。
 - ・主な職業別では、「学生」、「無職」の割合が前回調査より高く、「農林水産業」、「自営業・自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「パート・アルバイト・派遣社員など」、「専業主婦・主夫」が低くなっています。
 - ・配偶関係別では、「未婚」と「離別・死別」の割合が前回調査より高く、「有配偶」が低くなっています。
 - ・世帯収入別では、「500～800万円未満」の割合が前回調査より高く、「0～500万円未満」と「800万円以上」が前回調査より低くなっています。

図表 1-6-1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比(%)		(前回差)
			今回	前回	
地域	北勢	2,392	43.9	44.8	(-0.9)
	伊賀	519	9.5	9.8	(-0.3)
	中南勢	1,543	28.3	27.8	(0.5)
	伊勢志摩	757	13.9	13.5	(0.4)
	東紀州	233	4.3	4.1	(0.2)
性別	男性	2,378	43.7	43.0	(0.7)
	女性	2,961	54.4	55.8	(-1.4)
	不明	105	1.9	1.2	(0.7)
年齢	20歳代	401	7.4	6.9	(0.5)
	30歳代	651	12.0	12.1	(-0.1)
	40歳代	833	15.3	17.3	(-2.0)
	50歳代	920	16.9	18.2	(-1.3)
	60歳代	1,297	23.8	22.7	(1.1)
	70歳以上	1,221	22.4	21.2	(1.2)
	不明	121	2.2	1.5	(0.7)
主な職業	農林水産業	168	3.1	3.2	(-0.1)
	自営業・自由業	487	8.9	9.3	(-0.4)
	正規職員	1,314	24.1	25.2	(-1.1)
	パート・アルバイト・派遣	1,016	18.7	18.8	(-0.1)
	その他の職業	301	5.5	5.0	(0.5)
	学生	80	1.5	1.4	(0.1)
	専業主婦・主夫	758	13.9	14.5	(-0.6)
	無職	1,175	21.6	20.1	(1.5)
配偶関係	不明	145	2.7	2.5	(0.2)
	未婚	730	13.4	13.0	(0.4)
	有配偶	3,863	71.0	72.6	(-1.6)
	離別・死別	713	13.1	10.7	(2.4)
世帯類型	不明	138	2.5	3.8	(-1.3)
	単独世帯	460	8.4	-	-
	一世帯世帯	1,430	26.3	-	-
	二世帯世帯	2,337	42.9	-	-
	三世帯世帯	565	10.4	-	-
	その他世帯	402	7.4	-	-
世帯収入	不明	250	4.6	-	-
	～100万円未満	213	3.9	4.2	(-0.3)
	～200万円未満	514	9.4	10.0	(-0.6)
	～300万円未満	815	15.0	15.9	(-0.9)
	～400万円未満	709	13.0	13.4	(-0.4)
	～500万円未満	568	10.4	10.9	(-0.5)
	～600万円未満	540	9.9	9.7	(0.2)
	～800万円未満	693	12.7	11.8	(0.9)
	～1,000万円未満	418	7.7	8.2	(-0.5)
	1,000万円以上	390	7.2	7.5	(-0.3)
	わからない	393	7.2	6.0	(1.2)
不明	191	3.5	2.3	(1.2)	
有効回答数		5,444	100.0	100.0	

集計結果

1. 幸福感

問1-1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけで囲んでください。
(は1つだけ)

➤ 日ごろ感じている幸福感

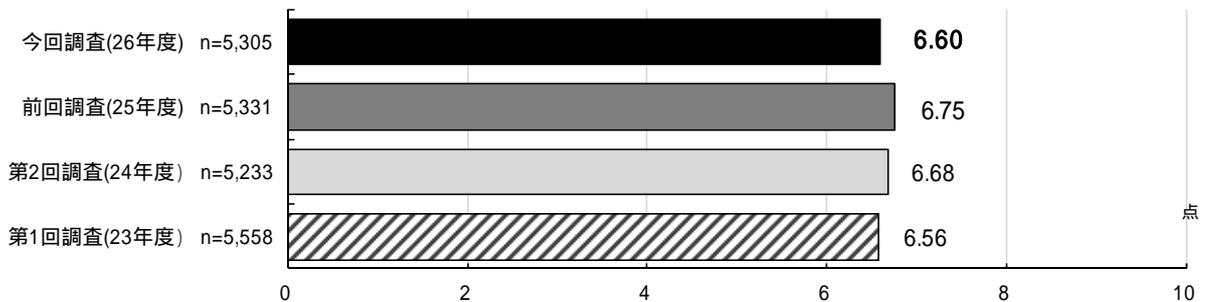
県民の皆さんが日ごろ感じている幸福感（以下、「幸福感」と記載）について10点満点で質問したところ、平均値は6.60点で、第1回調査より0.04点高くなっていますが、前回調査より0.15点、第2回調査より0.08点それぞれ低くなっています。

点数の分布をみると、「8点」の割合が22.2%と最も高く、次いで「5点」(19.4%)、「7点」(18.6%)となっており、M字型となっています。

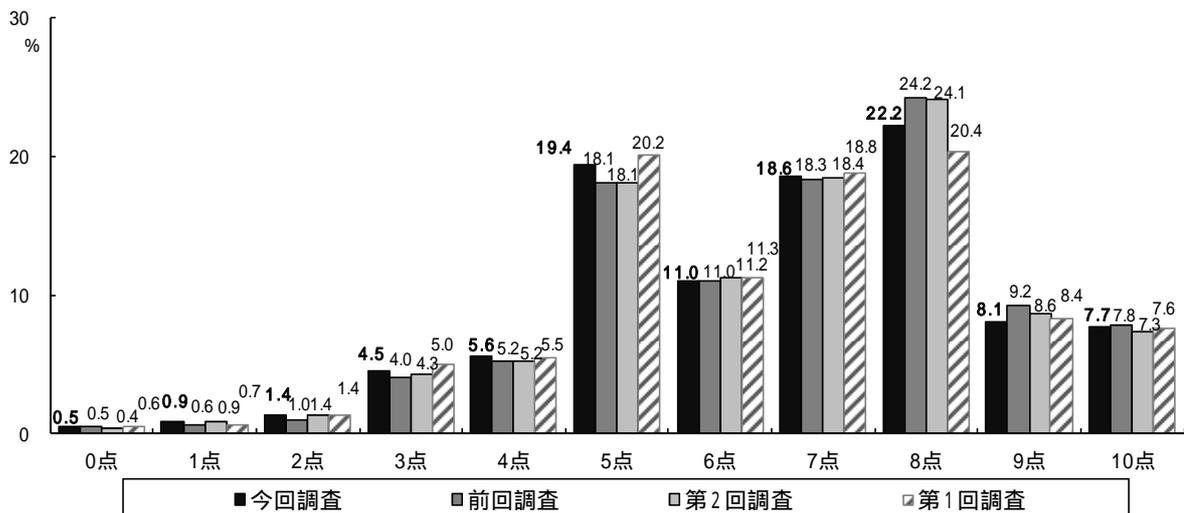
前回調査と比べると、「8点」の割合が2.0ポイント、「9点」の割合が1.1ポイントそれぞれ低く、「5点」の割合が1.3ポイント、「7点」の割合が0.3ポイントそれぞれ高くなっています。

第1回調査と比べると、「8点」の割合が1.8ポイント高く、「5点」の割合が0.8ポイント低くなっています。

図表2-1-1 日ごろ感じている幸福感の平均値



図表2-1-2 日ごろ感じている幸福感の分布



日ごろ感じている幸福感（属性別特徴）

地域別で幸福感平均値を見ると、北勢が6.69点で最も高く、次いで中南勢、伊勢志摩の順となっています。前回調査と比較すると、全ての地域で低くなっており、伊賀で0.23点、東紀州で0.18点、伊勢志摩で0.17点それぞれ低くなっています。第1回調査と比較すると、中南勢で0.13点、北勢で0.05点、伊勢志摩で0.02点それぞれ高く、東紀州で0.28点、伊賀で0.09点それぞれ低くなっています。

性別で幸福感平均値を見ると、女性が6.85点で男性の6.31点より0.54点高くなっています。前回調査と比較すると、男性で0.21点、女性で0.08点それぞれ低くなっています。第1回調査と比較すると、男性は0.01点低く、女性は0.05点高くなっています。

年齢（10歳階級）別で幸福感平均値を見ると、30歳代が6.81点で最も高く、次いで40歳代、50歳代の順となっています。前回調査と比較すると、全ての年齢階級で低くなっており、70歳以上で0.22点、20歳代で0.18点、30歳代で0.17点それぞれ低くなっています。第1回調査と比較すると、40歳代以上の年齢階級で高く、30歳代以下の年齢階級で低くなっています。

主な職業別で幸福感平均値を見ると、学生が7.04点で最も高く、次いで専業主婦・主夫、正規職員の順となっています。前回調査と比較すると、学生を除く全ての職業で低くなっており、農林水産業で0.32点、無職で0.23点、パート・バイト・派遣で0.14点、それぞれ低くなっています。第1回調査と比較すると、農林水産業、正規職員、パート・バイト・派遣、学生、無職で高くなっています。

配偶関係別で幸福感平均値を見ると、有配偶が6.83点で最も高く、次いで離別・死別が6.17点、未婚が5.87点となっています。前回調査と比較すると、未婚で0.24点、有配偶で0.11点、離別・死別で0.06点それぞれ低くなっています。第1回調査と比較すると、全ての配偶関係で高くなっています。

世帯類型別で幸福感平均値を見ると、一世代世帯、二世帯世帯がともに6.71点で最も高く、次いで三世帯世帯が6.68点、単独世帯が5.85点となっています。

世帯収入別では、600万円未満の世帯収入の階層において、世帯収入が高いほど幸福感平均値が高くなっています。前回調査と比較すると、100万円未満で0.53点、100万円以上～200万円未満で0.33点それぞれ低く、1000万円以上で0.29点高くなっています。

図表 2-1-3 日ごろ感じている幸福度の平均値(属性項目別)

	今回 点	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
合計	6.60	(-0.15)	<-0.04>
地域			
北勢	6.69	(-0.15)	<-0.05>
伊賀	6.42	(-0.23)	<-0.09>
中南勢	6.67	(-0.08)	<-0.13>
伊勢志摩	6.43	(-0.17)	<-0.02>
東紀州	6.19	(-0.18)	<-0.28>
性別			
男性	6.31	(-0.21)	<-0.01>
女性	6.85	(-0.08)	<-0.05>
年齢			
20歳代	6.51	(-0.18)	<-0.03>
30歳代	6.81	(-0.17)	<-0.04>
40歳代	6.68	(-0.11)	<-0.11>
50歳代	6.60	(-0.01)	<-0.10>
60歳代	6.54	(-0.15)	<-0.05>
70歳以上	6.58	(-0.22)	<-0.03>
主な職業			
農林水産業	6.61	(-0.32)	<-0.11>
自営業・自由業	6.64	(-0.10)	<-0.01>
正規職員	6.79	(-0.01)	<-0.10>
パート・アルバイト・派遣	6.53	(-0.14)	<-0.14>
その他の職業	6.27	(-0.39)	<-0.40>
学生	7.04	(0.25)	<-0.46>
専業主婦・主夫	7.03	(-0.12)	<-0.01>
無職	6.26	(-0.23)	<-0.03>
配偶関係			
未婚	5.87	(-0.24)	<-0.10>
有配偶	6.83	(-0.11)	<-0.05>
離別・死別	6.17	(-0.06)	<-0.07>
世帯類型			
単独世帯	5.85	(-)	<->
一世代世帯	6.71	(-)	<->
二世代世帯	6.71	(-)	<->
三世代世帯	6.68	(-)	<->
世帯収入			
~100万円未満	5.32	(-0.53)	<->
~200万円未満	5.75	(-0.33)	<->
~300万円未満	6.27	(-0.05)	<->
~400万円未満	6.55	(-0.23)	<->
~500万円未満	6.62	(-0.29)	<->
~600万円未満	6.98	(0.06)	<->
~800万円未満	6.97	(-0.19)	<->
~1,000万円未満	7.20	(-0.21)	<->
1,000万円以上	7.70	(0.29)	<->

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

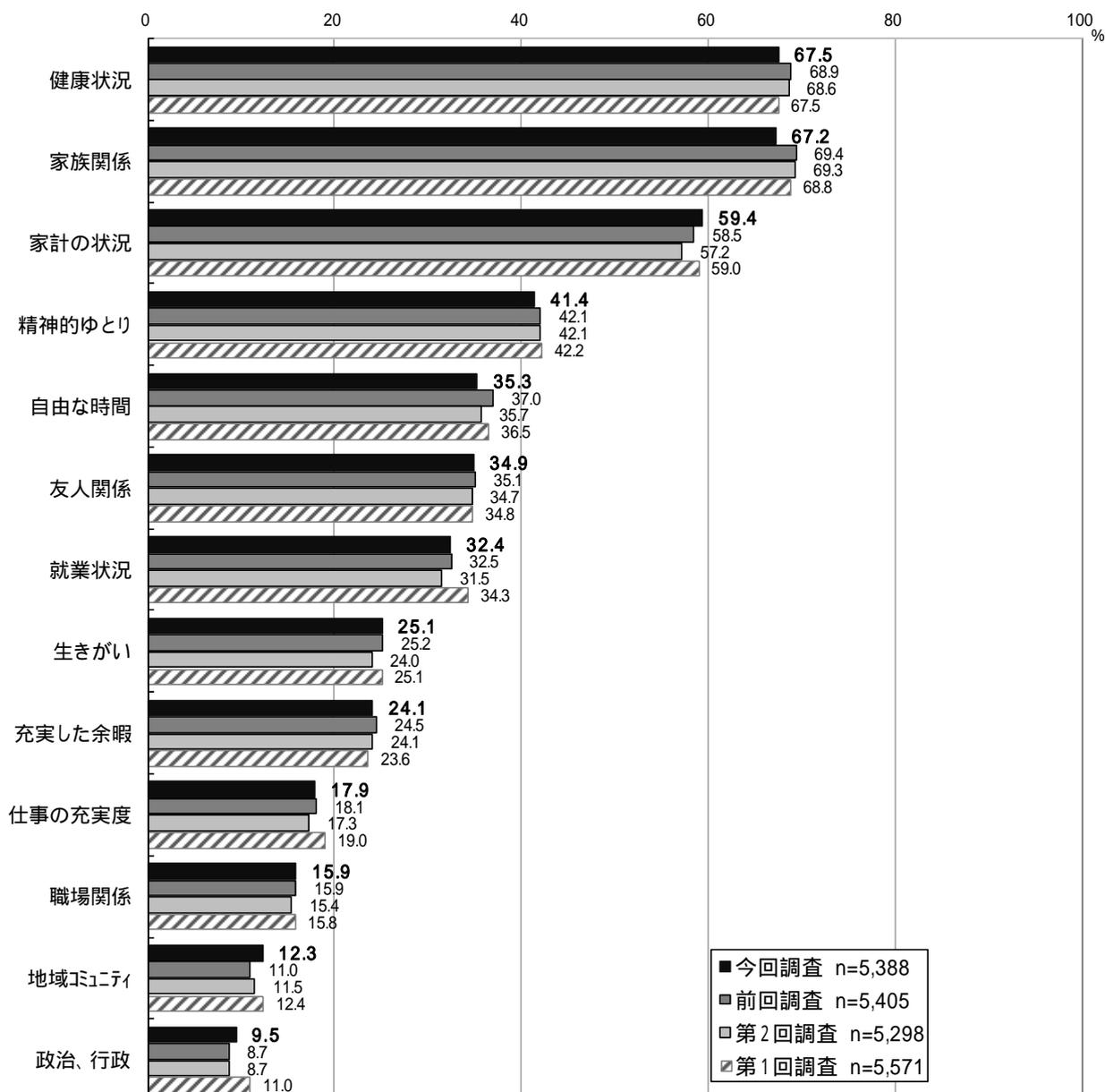
問1 - 2 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。(はいいくつでも)

➤ 幸福感を判断する際に重視した事項

幸福感を判断する際に重視した事項は「健康状況」の割合が67.5%で最も高く、次いで「家族関係」(67.2%)次いで、「家計の状況(所得・消費)」(59.4%)となっています。

前回調査までの3回の調査では「家族関係」が最も高くなっていましたが、今回調査では「健康状況」が最も高くなりました。「健康状況」と「家族関係」を除くと、前回調査の順位から変動はありません。

図表 2-1-4 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)



➤ 幸福感を判断する際に重視した事項（属性別特徴）

図表 2-1-5 幸福感を判断する際に重視した事項
(全体の上位 6 項目の属性別)

地域別では、伊賀、中南勢、東紀州では「健康状況」が、伊勢志摩は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。北勢は「健康状況」と「家族関係」が同率で最も高くなっています。

性別では、男性は「健康状況」が、女性は「家族関係」が最も高くなっています。

年齢(10歳階級)別では、50歳代以上は「健康状況」が、40歳代以下は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。20歳代は「友人関係」が3番目に高くなっています。

主な職業別では、農林水産業、パート・バイト・派遣、無職は「健康状況」が最も高く、自営業・自由業、正規職員、専業主婦・主夫は「家族関係」が最も高くなっています。

学生は「家族関係」と「友人関係」が同率で最も高くなっています。

配偶関係別では、未婚と離別・死別では「健康状況」が、有配偶は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯と一世代世帯は「健康状況」が、二世代世帯と三世代世帯は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯収入別では、300万円未満の層は「健康状況」が最も高く、300万円以上の層では「家族関係」が最も高くなっています。

100万円未満の層は「家計の状況」とともに「精神的ゆとり」が3番目に高くなっています。

1,000万円以上の層では「家計の状況」が2番目に高くなっています。

	健康状況	家族関係	家計の状況	精神的ゆとり	自由な時間	友人関係	
全体	67.5	67.2	59.4	41.4	35.3	34.9	
地域	北勢	68.0	68.0	59.4	41.3	35.6	36.3
	伊賀	67.6	63.5	60.8	41.2	34.7	32.7
	中南勢	69.3	69.0	60.0	42.3	35.9	34.9
	伊勢志摩	63.1	66.0	59.0	41.7	35.6	33.4
	東紀州	64.3	59.1	53.5	37.0	28.3	29.6
性別	男性	65.7	62.9	61.0	39.7	31.7	27.2
	女性	69.1	71.0	58.7	43.1	38.0	41.0
年齢	20歳代	55.4	62.6	51.4	44.4	43.1	53.9
	30歳代	58.0	71.8	62.0	44.3	28.6	38.6
	40歳代	63.1	73.0	68.8	43.3	27.2	31.0
	50歳代	70.0	68.8	65.9	42.6	29.3	28.6
	60歳代	73.0	65.6	59.7	41.2	37.2	30.4
	70歳以上	72.0	63.9	50.2	37.6	43.9	38.5
主な職業	農林水産業	69.3	68.1	50.6	30.1	39.2	32.5
	自営業・自由業	66.7	67.1	60.2	37.7	25.5	31.9
	正規職員	62.8	70.3	65.6	41.1	28.9	31.8
	パート・バイト・派遣	68.5	67.1	62.3	42.0	32.4	36.5
	その他の職業	68.8	62.5	59.5	40.9	29.2	30.2
	学生	58.8	70.0	35.0	41.3	50.0	70.0
	専業主婦・主夫	71.0	75.5	61.6	47.8	40.8	41.1
	無職	70.5	60.9	52.7	41.5	44.6	33.1
配偶関係	未婚	58.8	53.0	53.0	45.0	40.7	44.0
	有配偶	69.5	72.0	62.9	41.2	33.2	32.4
	離別・死別	66.8	57.7	50.9	41.2	39.5	38.7
世帯類型	単独世帯	62.8	42.9	46.9	41.2	44.0	42.5
	一世代世帯	70.1	68.2	61.3	42.1	39.5	34.1
	二世代世帯	67.7	71.2	62.3	41.9	31.3	32.8
	三世代世帯	68.7	73.7	61.8	41.7	30.7	34.3
世帯収入	100万円未満	66.7	45.4	42.0	42.0	35.7	29.0
	～200万円未満	65.0	52.7	50.7	38.2	38.4	30.2
	～300万円未満	70.3	62.0	58.2	37.6	35.9	32.3
	～400万円未満	66.3	68.6	61.9	41.9	37.8	33.0
	～500万円未満	66.3	73.4	59.8	45.1	34.2	37.4
	～600万円未満	66.6	71.4	63.1	45.1	31.2	36.2
	～800万円未満	67.1	71.6	66.8	39.8	30.0	34.5
	～1,000万円未満	75.2	77.8	69.4	48.0	30.4	36.1
	1,000万円以上	68.9	76.9	72.0	40.6	34.2	35.0

凡例： 第1位 第2位 第3位

問1 - 3 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものに2つまで をつけてください。(は2つまで)

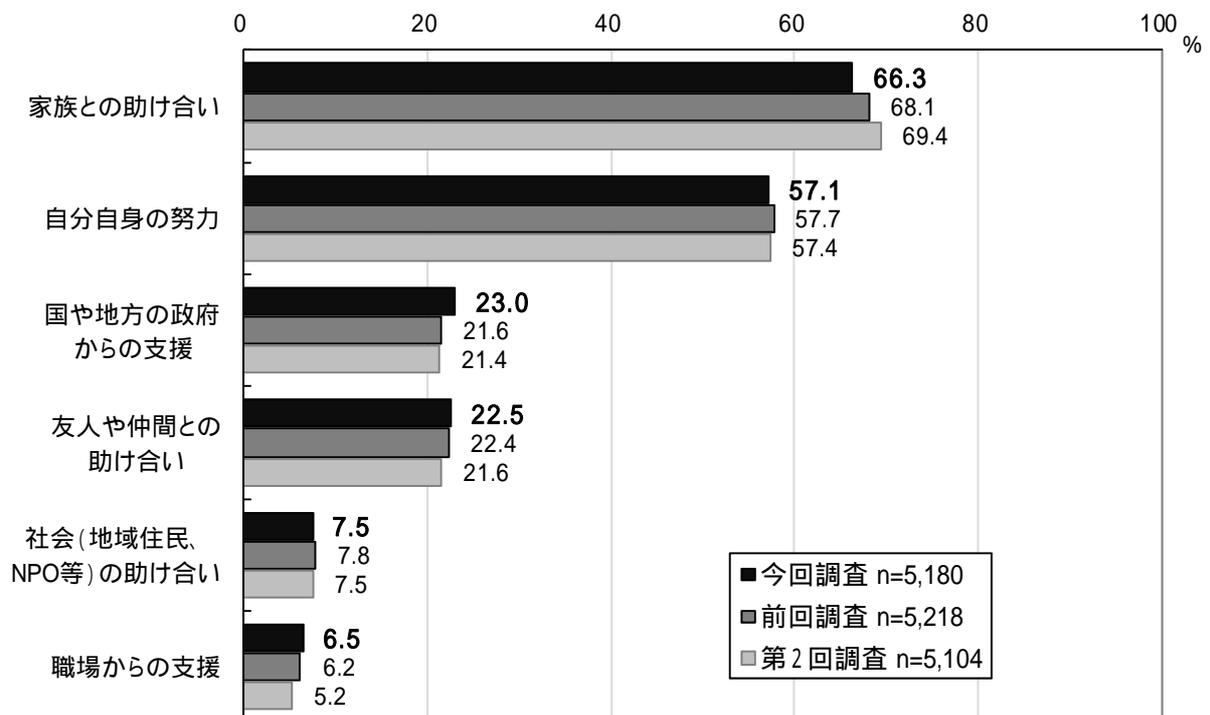
➤ 幸福感を高める手立て

幸福感を高める手立てについては、「家族との助け合い」が 66.3%と最も高く、次いで「自分自身の努力」(57.1%)、「国や地方の政府からの支援」(23.0%)となっています。

前回調査との比較では、「家族との助け合い」が1.8ポイント、「自分自身の努力」が0.6ポイントそれぞれ低くなった一方、「国や地方の政府からの支援」が1.4ポイント高くなり、順位も前回の4位から3位になっています。

「国や地方の政府からの支援」が「友人や仲間との助け合い」と入れ替わったことを除くと、前回調査及び第2回調査の順位から変動はありません。

図表 2-1-6 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)



➤ 幸福感を高める手立て（属性別特徴）

図表 2-1-7 幸福感を高める手立て（属性別）

地域別では、全ての地域で「家族との助け合い」が最も高く、次いで「自分自身の努力」の順となっています。

性別では、男女とも「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高く、3位は男性が「国や地方の政府からの支援」、女性は「友人や仲間との助け合い」となっています。

年齢（10歳階級）別では、30歳代以上では「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。20歳代は「自分自身の努力」の割合が最も高くなっています。

主な職業別に見ると、学生とその他の職業を除く全ての職業で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

学生は「友人や仲間との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

配偶関係別では、有配偶と離別・死別は「家族との助け合い」が最も高く、未婚は「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯を除く全ての世帯類型で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。単独世帯では「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯収入別では、100万円未満を除く全ての層で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。100万円未満では「自分自身の努力」が最も高くなっています。

	い家族との助け合い	自分自身の努力	か国や地方の政府からの支援	助友け人けや仲間との助け合い	の民社、NPO（地域等）の助け合い	職場からの支援	
全体	66.3	57.1	23.0	22.5	7.5	6.5	
地域	北勢	67.7	58.0	22.1	22.8	6.7	6.3
	伊賀	67.0	55.7	25.7	19.6	8.1	6.9
	中南勢	65.3	57.8	22.3	23.0	8.1	6.8
	伊勢志摩	64.2	56.3	24.1	22.0	8.5	6.8
	東紀州	63.4	48.7	27.2	22.8	8.0	6.3
性別	男性	62.6	60.1	23.7	18.0	9.1	7.8
	女性	69.5	54.9	22.6	25.6	6.2	5.6
年齢	20歳代	48.9	55.5	17.1	42.9	4.2	13.7
	30歳代	60.3	52.4	28.8	21.3	4.7	15.5
	40歳代	65.1	53.7	24.0	19.6	4.7	12.5
	50歳代	69.7	58.2	22.9	17.8	7.0	5.6
	60歳代	69.5	60.2	23.0	21.0	9.6	2.3
主な職業	70歳以上	70.5	58.9	21.4	22.4	9.9	0.7
	農林水産業	76.9	58.8	16.9	23.1	12.5	1.3
	自営業・自由業	67.0	62.0	21.4	20.5	6.6	3.1
	正規職員	62.8	56.3	20.8	22.5	4.7	14.7
	パート・アルバイト・派遣	68.0	56.7	24.6	20.9	6.5	7.3
	その他の職業	56.6	59.4	28.0	20.6	7.3	11.5
	学生	51.9	53.2	10.4	58.4	2.6	5.2
配偶関係	専業主婦・主夫	74.0	56.3	21.7	24.3	8.2	2.6
	無職	65.6	56.6	26.3	21.2	11.4	0.6
	未婚	36.8	62.3	22.9	34.6	6.3	14.1
世帯類型	有配偶	73.4	56.1	22.7	18.9	7.4	5.8
	離別・死別	58.3	58.1	25.4	27.5	8.9	3.4
	単独世帯	35.5	63.6	25.5	35.0	8.6	9.3
	一世帯世帯	70.8	60.0	21.5	19.4	8.8	4.0
世帯収入	二世帯世帯	69.3	55.4	23.4	20.7	7.2	7.5
	三世帯世帯	71.9	52.7	22.0	23.1	6.1	7.7
	100万円未満	48.0	54.0	32.5	23.5	12.0	2.0
	～200万円未満	60.6	55.1	30.5	22.2	8.9	4.7
	～300万円未満	64.8	58.5	24.3	21.5	9.4	5.7
	～400万円未満	65.9	60.5	24.5	18.5	9.3	5.3
	～500万円未満	67.4	53.5	25.9	22.8	5.8	9.7
	～600万円未満	69.4	52.4	21.3	26.3	6.4	7.0
	～800万円未満	67.4	57.6	21.8	21.8	6.2	8.8
～1,000万円未満	76.7	58.7	17.2	18.5	5.6	8.4	
1,000万円以上	76.4	63.1	10.0	23.0	3.8	6.5	

凡例： **第1位** 第2位 第3位

2. 地域や社会の状況についての実感

「地域や社会の状況についての実感」は、平成24年度に策定した「みえ県民カビジョン」で政策分野ごとに設定した16の「幸福実感指標」に対応した質問となっています。

「幸福実感指標」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる政策分野ごとの実感の推移を調べ、全体としての幸福実感を把握するための指標です。

なお、「幸福実感指標」と関連する県の政策分野は以下のとおりです。

問2	幸福実感指標	関連する県の政策分野
(1)	災害等の危機への備えが進んでいると感じる県民の割合	危機管理
(2)	必要な医療サービスが利用できていると感じる県民の割合	命を守る
(3)	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じる県民の割合	暮らしを守る
(4)	必要な福祉サービスが利用できていると感じる県民の割合	共生の福祉社会
(5)	身近な自然や環境を守る取組が広がっていると感じる県民の割合	環境を守る持続可能な社会
(6)	一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できていると感じる県民の割合	人権の尊重と多様性を認め合う社会
(7)	子どものためになる教育が行われていると感じる県民の割合	教育の充実
(8)	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合	子どもの育ちと子育て
(9)	スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じる県民の割合	スポーツの推進
(10)	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じる県民の割合	地域との連携
(11)	文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができると感じる県民の割合	文化と学び
(12)	三重県産の農林水産物を買いたいと感じる県民の割合	農林水産業
(13)	県内の産業活動が活発であると感じる県民の割合	強じんて多様な産業
(14)	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じる県民の割合	雇用の確保
(15)	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じる県民の割合	世界に開かれた三重
(16)	道路や公共交通機関等が整っていると感じる県民の割合	安心と活力を生み出す基盤

問2 次の(1)から(16)までの16の質問それぞれについて、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

➤ 地域や社会の状況についての実感(16項目全体の集計結果)

項目毎の集計結果は16ページから47ページに記載

『実感している層』の割合

地域や社会の状況についての実感を聞いたところ、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した『実感している層』の割合は、「(12)三重県産の農林水産物を買いたい」が84.5%で最も高く、次いで「(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい」(72.4%)、「(3)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(62.8%)の順で、これまでの4回の調査を通じて同順位となっています。

『実感していない層』の割合

「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した『実感していない層』の割合は「(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」が65.5%で最も高く、次いで「(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている」(59.9%)、「(1)災害等の危機への備えが進んでいる」(57.9%)の順で、第2回調査以降は同順位となっています。

前回調査との比較

前回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは16項目のうち6項目で、増加幅が最も大きかったのは「(16)道路や公共交通機関等が整っている」(+2.8ポイント)次いで「(3)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(+1.3ポイント)、「(1)災害等の危機への備えが進んでいる」(+1.0ポイント)の順となっています。また、低くなったのは9項目で、減少幅が最も大きかったのは「(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(-4.5ポイント)次いで「(13)県内の産業活動が活発である」(-2.5ポイント)、「(11)文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができる」(-1.3ポイント)の順となっています。

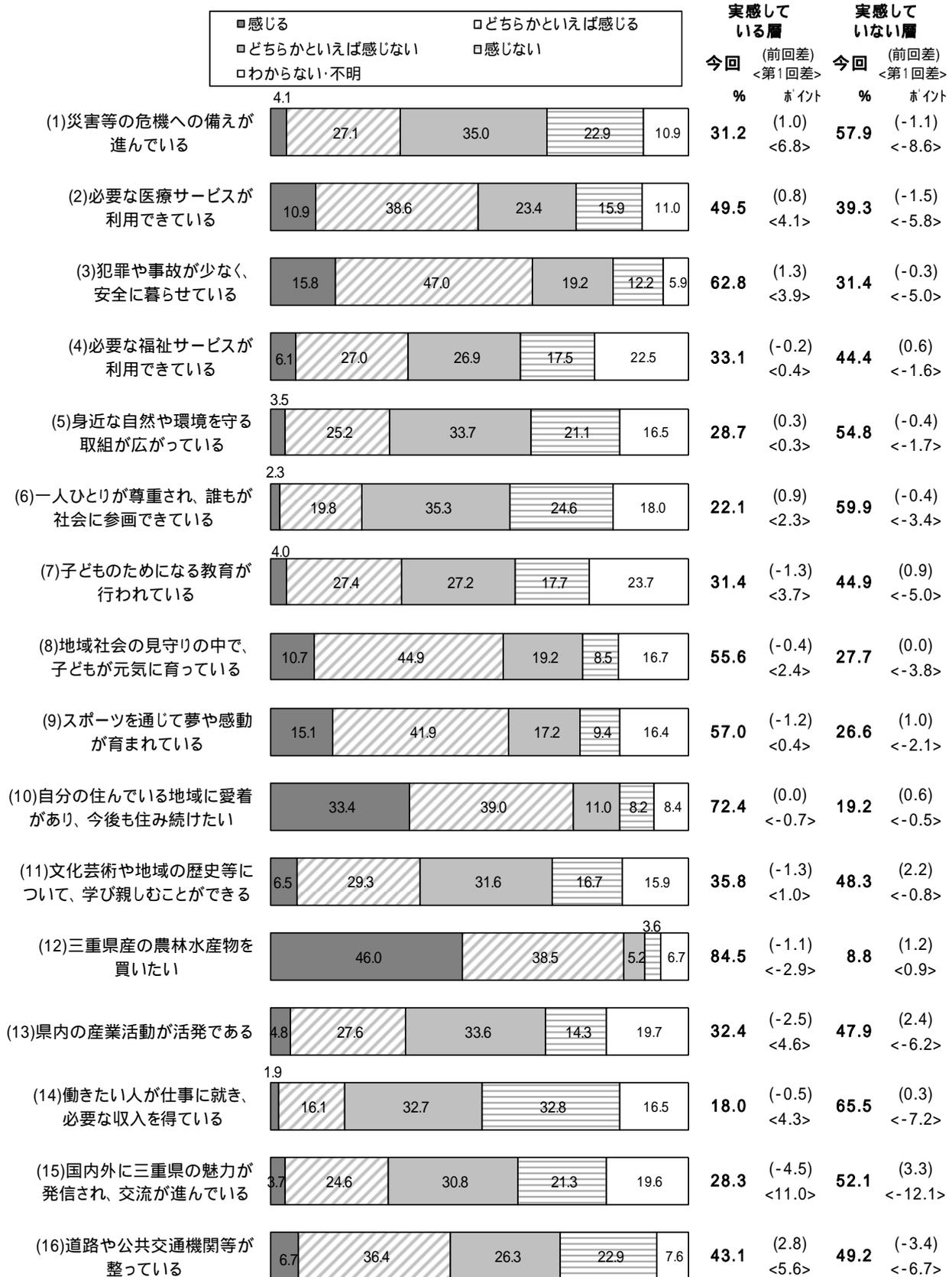
一方、『実感していない層』の割合が低くなったのは16項目のうち6項目で、「(16)道路や公共交通機関等が整っている」(-3.4ポイント)の減少幅が最も大きくなっています。また、高くなったのは9項目で、「(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(+3.3ポイント)の増加幅が最も大きくなっています。

第1回調査との比較

第1回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは16項目中14項目で、増加幅が最も大きかったのは「(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(+11.0ポイント)次いで「(1)災害等の危機への備えが進んでいる」(+6.8ポイント)、「(16)道路や公共交通機関等が整っている」(+5.6ポイント)、「(13)県内の産業活動が活発である」(+4.6ポイント)となっています。

一方、『実感していない層』の割合は「(12)三重県産の農林水産物を買いたい」(+0.9ポイント)を除く15項目で第1回調査より低くなっています。

図表 2-2-1 地域や社会の状況についての実感（一覧）



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

➤ 地域や社会の状況についての実感（項目毎の集計結果）

問2 - (1) 災害等の危機への備えが進んでいると感じますか。

（関連の政策分野：危機管理）

災害等の危機への備えが進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が31.2%で、『実感していない層』の割合（57.9%）より26.7ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感していない層』の割合が3番目に高くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.0ポイント高く、『実感していない層』が1.1ポイント低くなっています。問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ3番目に大きくなっています。

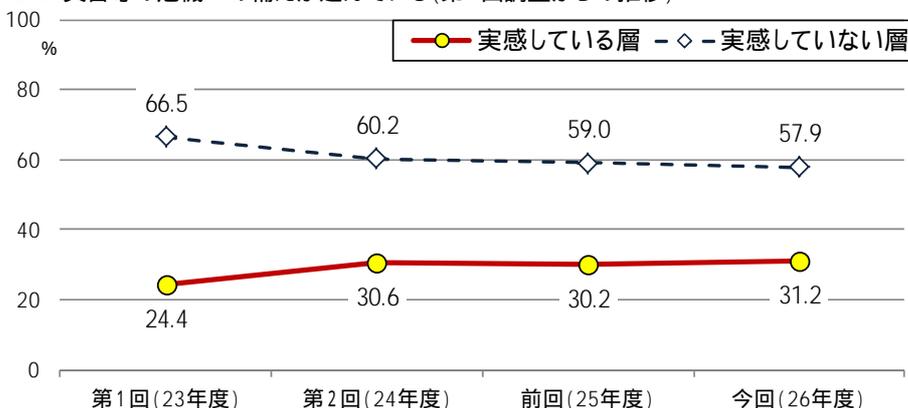
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が6.8ポイント高く、『実感していない層』は8.6ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ2番目に大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・東紀州の『実感している層』は全体より7.9ポイント高い。
- ・学生の『実感している層』は第1回調査より11.5ポイント高く、『実感していない層』は第1回調査より15.0ポイント低い。
- ・三世帯世帯の『実感していない層』は全体より6.9ポイント高い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は前回調査より11.2ポイント低く、属性項目の中で最も低い。『実感していない層』は前回調査より13.4ポイント高い。

図表 2-2-2 災害等の危機への備えが進んでいる（第1回調査からの推移）



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-3 災害等の危機への備えが進んでいる(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント		
全体	4.1	27.1	35.0	22.9	10.9	31.2	(1.0)	<6.8>	57.9	(-1.1)	<-8.6>
地域											
北勢	3.5	26.6	36.5	23.5	10.0	30.1	(0.8)	<7.2>	60.0	(0.1)	<-9.1>
伊賀	5.6	24.7	36.0	23.1	10.6	30.3	(2.3)	<5.8>	59.1	(-1.0)	<-5.4>
中南勢	3.9	26.2	35.3	22.7	11.9	30.1	(-0.5)	<5.3>	58.0	(-1.6)	<-7.0>
伊勢志摩	5.0	30.4	30.9	22.3	11.4	35.4	(4.3)	<9.5>	53.2	(-3.4)	<-11.0>
東紀州	5.6	33.5	27.5	19.7	13.7	39.1	(-0.3)	<6.9>	47.2	(-3.5)	<-12.2>
性別											
男性	4.2	26.5	34.3	26.0	9.0	30.7	(1.1)	<7.8>	60.3	(-1.7)	<-10.1>
女性	3.9	27.7	35.9	20.8	11.6	31.6	(0.7)	<5.7>	56.7	(-0.4)	<-6.5>
年齢											
20歳代	3.2	25.4	30.7	30.9	9.7	28.6	(1.7)	<7.9>	61.6	(-3.6)	<-9.8>
30歳代	2.6	26.7	34.9	28.0	7.8	29.3	(-0.3)	<7.0>	62.9	(1.4)	<-7.5>
40歳代	3.0	29.8	34.5	22.8	9.9	32.8	(2.5)	<6.9>	57.3	(-4.8)	<-11.5>
50歳代	3.7	25.2	38.7	23.7	8.7	28.9	(1.8)	<6.1>	62.4	(0.1)	<-8.2>
60歳代	4.3	28.3	36.8	22.7	7.9	32.6	(2.5)	<9.6>	59.5	(-0.9)	<-7.4>
70歳以上	5.9	26.2	33.1	18.3	16.5	32.1	(-2.7)	<3.2>	51.4	(1.7)	<-6.3>
主な職業											
農林水産業	6.0	22.6	33.9	22.0	15.5	28.6	(-7.6)	<-1.5>	55.9	(0.8)	<-3.3>
自営業・自由業	4.7	30.2	33.1	21.6	10.5	34.9	(5.6)	<9.2>	54.7	(-6.8)	<-12.8>
正規職員	3.5	25.7	36.6	26.4	7.8	29.2	(3.0)	<7.2>	63.0	(-3.5)	<-9.2>
パート・バイト・派遣	3.2	27.6	37.5	22.4	9.3	30.8	(0.2)	<7.1>	59.9	(1.3)	<-9.1>
その他の職業	4.7	22.3	31.6	29.2	12.3	27.0	(-1.6)	<1.3>	60.8	(-0.3)	<-4.3>
学生	2.5	35.0	30.0	20.0	12.5	37.5	(6.8)	<11.5>	50.0	(-11.3)	<-15.0>
専業主婦・主夫	3.4	30.5	37.9	18.3	9.9	33.9	(0.5)	<9.2>	56.2	(0.6)	<-7.4>
無職	5.4	26.8	32.3	21.4	14.0	32.2	(-0.2)	<6.2>	53.7	(0.6)	<-7.8>
配偶関係											
未婚	3.8	25.1	33.2	25.5	12.4	28.9	(3.0)	<10.0>	58.7	(-4.6)	<-13.8>
有配偶	3.9	28.3	36.6	22.6	8.7	32.2	(0.9)	<7.0>	59.2	(-0.8)	<-7.5>
離別・死別	5.3	23.4	30.7	23.7	16.8	28.7	(-0.5)	<2.6>	54.4	(0.9)	<-6.3>
世帯類型											
単独世帯	5.2	25.4	30.9	20.9	17.6	30.6	(-)	<>	51.8	(-)	<>
一世代世帯	3.8	27.9	35.5	22.8	10.1	31.7	(-)	<>	58.3	(-)	<>
二世代世帯	3.8	28.0	35.2	23.1	9.9	31.8	(-)	<>	58.3	(-)	<>
三世代世帯	2.7	26.0	39.3	25.5	6.6	28.7	(-)	<>	64.8	(-)	<>
世帯収入											
~100万円未満	4.7	20.2	27.7	25.8	21.6	24.9	(-11.2)	<>	53.5	(13.4)	<>
~200万円未満	4.7	26.7	30.9	23.0	14.8	31.4	(3.7)	<>	53.9	(-2.2)	<>
~300万円未満	4.0	27.9	36.0	20.7	11.4	31.9	(0.8)	<>	56.7	(-1.4)	<>
~400万円未満	3.0	26.8	37.4	23.1	9.8	29.8	(0.6)	<>	60.5	(-1.7)	<>
~500万円未満	4.4	26.2	37.5	25.4	6.5	30.6	(0.8)	<>	62.9	(-0.5)	<>
~600万円未満	3.3	25.0	35.9	26.7	9.1	28.3	(1.9)	<>	62.6	(-3.3)	<>
~800万円未満	3.5	31.3	36.5	21.4	7.3	34.8	(3.2)	<>	57.9	(-3.0)	<>
~1,000万円未満	3.1	28.7	36.4	24.4	7.4	31.8	(-1.2)	<>	60.8	(0.4)	<>
1,000万円以上	3.6	30.0	39.2	20.5	6.6	33.6	(0.9)	<>	59.7	(-1.2)	<>

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (2) 必要な医療サービスが利用できていると感じますか。

(関連の政策分野：命を守る)

必要な医療サービスが利用できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が49.5%で、『実感していない層』の割合(39.3%)より10.2ポイント高くなっています。

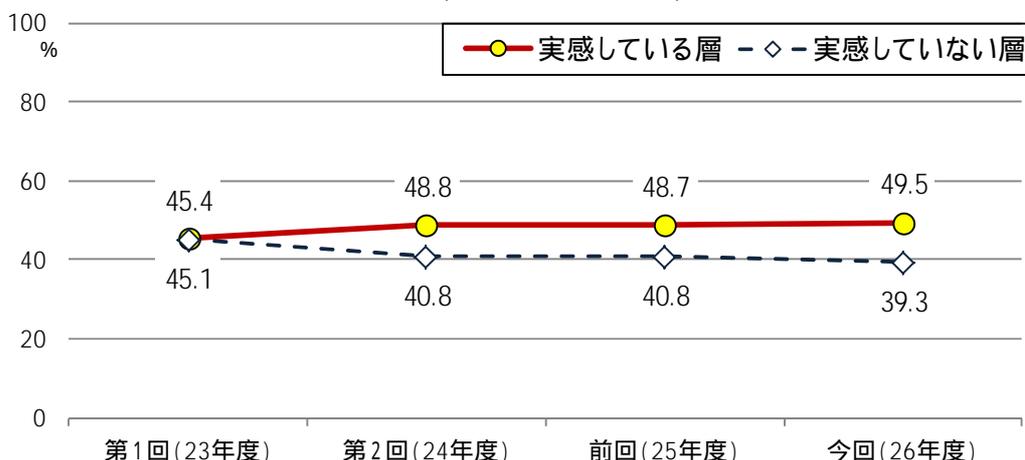
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』は0.8ポイント高く、『実感していない層』は1.5ポイント低くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が4.1ポイント高く、『実感していない層』は5.8ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感している層』は全体より4.4ポイント低いものの、前回調査より5.6ポイント、第1回調査より15.7ポイントそれぞれ高い。また、『実感していない層』も前回調査より7.7ポイント、第1回調査より18.8ポイントそれぞれ低い。
- ・東紀州の『実感している層』は全体より13.5ポイント低く、前回調査より1.1ポイント低い。
- ・50歳代の『実感している層』は全体より8.7ポイント低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より10.0ポイント高い。
- ・農林水産業、学生の『実感している層』は全体よりそれぞれ11ポイント以上高く、『実感していない層』は全体よりそれぞれ13ポイント以上低い。
- ・世帯収入が1000万円以上の層の『実感している層』は全体より6.4ポイント高い。

図表 2-2-4 必要な医療サービスが利用できている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-5 必要な医療サービスが利用できている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント					
全体	10.9	38.6	23.4	15.9	11.0	49.5	(0.8)	<4.1>	39.3	(-1.5)	<-5.8>
地域											
北勢	12.0	39.2	24.1	15.0	9.8	51.2	(0.5)	<3.1>	39.1	(0.1)	<-3.8>
伊賀	7.7	37.4	23.9	19.5	11.6	45.1	(5.6)	<15.7>	43.4	(-7.7)	<-18.8>
中南勢	11.4	41.2	21.3	14.5	11.7	52.6	(1.0)	<3.1>	35.8	(-1.5)	<-4.6>
伊勢志摩	10.3	35.4	25.4	17.3	11.7	45.7	(-0.7)	<4.0>	42.7	(0.4)	<-6.1>
東紀州	6.4	29.6	22.7	23.2	18.0	36.0	(-1.1)	<-1.0>	45.9	(-7.5)	<-5.4>
性別											
男性	11.6	39.3	22.8	16.6	9.8	50.9	(0.2)	<3.9>	39.4	(-1.9)	<-5.4>
女性	10.3	38.5	24.2	15.5	11.6	48.8	(1.6)	<4.8>	39.7	(-0.9)	<-6.2>
年齢											
20歳代	10.7	40.4	21.2	15.0	12.7	51.1	(1.5)	<2.8>	36.2	(-1.0)	<-6.2>
30歳代	8.8	40.2	23.7	18.0	9.4	49.0	(-1.2)	<7.2>	41.7	(1.6)	<-7.2>
40歳代	7.1	38.8	25.6	17.5	11.1	45.9	(2.4)	<6.0>	43.1	(-4.1)	<-8.9>
50歳代	6.1	34.7	30.1	19.3	9.8	40.8	(1.6)	<1.5>	49.4	(-1.6)	<-3.5>
60歳代	9.4	39.9	24.0	16.5	10.2	49.3	(-1.0)	<5.7>	40.5	(0.4)	<-5.9>
70歳以上	19.7	39.8	17.7	10.8	12.1	59.5	(0.8)	<1.7>	28.5	(-1.0)	<-3.5>
主な職業											
農林水産業	17.9	43.5	12.5	13.7	12.5	61.4	(3.4)	<8.8>	26.2	(-7.1)	<-14.1>
自営業・自由業	8.8	40.0	23.0	16.8	11.3	48.8	(3.7)	<3.4>	39.8	(-4.6)	<-6.3>
正規職員	8.1	39.3	25.4	17.8	9.3	47.4	(2.1)	<3.0>	43.2	(-2.8)	<-4.8>
パート・バイト・派遣	8.9	34.9	26.4	18.6	11.3	43.8	(0.2)	<6.8>	45.0	(0.4)	<-7.4>
その他の職業	8.6	30.9	24.6	22.6	13.3	39.5	(-3.7)	<0.0>	47.2	(-2.9)	<-5.4>
学生	17.5	48.8	18.8	6.3	8.8	66.3	(5.0)	<10.4>	25.1	(-2.9)	<-12.6>
専業主婦・主夫	10.0	42.5	24.0	12.4	11.0	52.5	(2.8)	<6.4>	36.4	(-2.7)	<-7.8>
無職	15.9	39.7	20.8	12.7	10.9	55.6	(-2.4)	<3.3>	33.5	(2.5)	<-3.8>
配偶関係											
未婚	9.6	36.0	24.7	15.1	14.7	45.6	(0.2)	<4.5>	39.8	(0.0)	<-8.3>
有配偶	10.6	40.3	23.9	15.9	9.4	50.9	(1.0)	<4.8>	39.8	(-1.8)	<-5.6>
離別・死別	13.3	34.9	20.9	17.1	13.8	48.2	(1.9)	<0.6>	38.0	(-2.1)	<-4.2>
世帯類型											
単独世帯	10.7	33.7	21.7	17.4	16.5	44.4	(-)	<->	39.1	(-)	<->
一世代世帯	10.6	38.8	23.8	16.0	10.7	49.4	(-)	<->	39.8	(-)	<->
二世帯世帯	9.8	40.7	23.8	15.8	9.8	50.5	(-)	<->	39.6	(-)	<->
三世帯世帯	11.2	38.2	25.8	14.2	10.6	49.4	(-)	<->	40.0	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	15.5	30.5	23.5	17.8	12.7	46.0	(-1.2)	<->	41.3	(6.5)	<->
~200万円未満	12.1	37.0	23.2	16.0	11.9	49.1	(7.0)	<->	39.2	(-4.4)	<->
~300万円未満	11.9	35.8	24.2	17.2	10.9	47.7	(-2.3)	<->	41.4	(1.1)	<->
~400万円未満	10.4	42.7	22.6	13.7	10.5	53.1	(1.4)	<->	36.3	(-3.5)	<->
~500万円未満	9.7	40.1	25.5	16.4	8.2	49.8	(-0.6)	<->	41.9	(0.0)	<->
~600万円未満	8.0	41.1	23.3	17.0	10.5	49.1	(-1.0)	<->	40.3	(-0.8)	<->
~800万円未満	8.4	39.8	26.3	16.2	9.4	48.2	(1.9)	<->	42.5	(-0.9)	<->
~1,000万円未満	11.0	39.5	23.7	16.5	9.3	50.5	(2.0)	<->	40.2	(-3.0)	<->
1,000万円以上	12.3	43.6	22.1	15.4	6.7	55.9	(2.5)	<->	37.5	(-2.8)	<->

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (3) 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じますか。

(関連の政策分野：暮らしを守る)

犯罪や事故が少なく、安全に暮らせているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が62.8%で、『実感していない層』の割合(31.4%)より31.4ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が3番目に高くなっています。

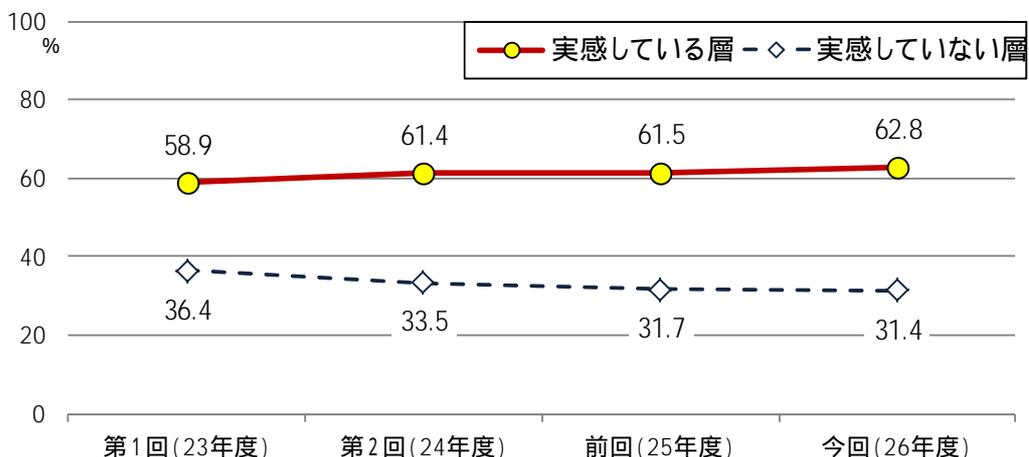
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.3ポイント高く、『実感していない層』は0.3ポイント低くなっています。問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅が2番目に大きくなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.9ポイント高く、『実感していない層』は5.0ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊勢志摩の『実感している層』は全体より5.3ポイント高い。
- ・東紀州の『実感している層』は前回調査より8.9ポイント低く、『実感していない層』は前回調査より10.0ポイント高い。
- ・30歳代の『実感していない層』は全体より6.1ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感していない層』は全体より11.8ポイント低い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は全体より10.2ポイント低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より9.5ポイント高い。

図表 2-2-6 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-7 犯罪や事故が少なく、安全に暮らしている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント		
全体	15.8	47.0	19.2	12.2	5.9	62.8	(1.3)	<3.9>	31.4	(-0.3)	<-5.0>
地域											
北勢	13.1	45.8	22.4	14.2	4.5	58.9	(2.5)	<2.7>	36.6	(-0.3)	<-3.7>
伊賀	15.0	48.4	17.0	12.3	7.3	63.4	(0.2)	<1.5>	29.3	(-0.4)	<-3.4>
中南勢	15.7	49.6	17.5	10.9	6.2	65.3	(2.5)	<7.7>	28.4	(-2.6)	<-7.6>
伊勢志摩	23.8	44.3	14.8	9.4	7.8	68.1	(-2.7)	<4.8>	24.2	(1.3)	<-7.4>
東紀州	18.5	47.2	15.9	9.4	9.0	65.7	(-8.9)	<-8.0>	25.3	(10.0)	<4.3>
性別											
男性	17.5	46.4	19.0	11.8	5.2	63.9	(0.9)	<3.4>	30.8	(-1.0)	<-4.9>
女性	14.5	47.6	19.5	12.6	5.8	62.1	(1.5)	<4.4>	32.1	(0.3)	<-4.8>
年齢											
20歳代	17.7	43.4	18.7	16.0	4.2	61.1	(5.4)	<-0.7>	34.7	(-4.6)	<-0.8>
30歳代	13.2	45.8	22.4	15.1	3.5	59.0	(-0.3)	<-1.6>	37.5	(1.7)	<0.6>
40歳代	12.5	52.5	18.6	12.0	4.4	65.0	(7.2)	<7.1>	30.6	(-7.1)	<-9.3>
50歳代	13.3	47.7	20.4	13.6	5.0	61.0	(-1.6)	<3.2>	34.0	(2.3)	<-5.2>
60歳代	16.0	49.3	18.4	10.9	5.4	65.3	(-0.2)	<6.7>	29.3	(0.9)	<-6.9>
70歳以上	20.6	42.7	18.3	10.0	8.4	63.3	(-0.1)	<3.8>	28.3	(2.4)	<-3.3>
主な職業											
農林水産業	22.0	48.8	10.7	8.9	9.5	70.8	(1.2)	<5.1>	19.6	(-5.1)	<-6.2>
自営業・自由業	17.0	48.5	15.6	13.6	5.3	65.5	(2.2)	<6.0>	29.2	(-0.8)	<-7.7>
正規職員	15.0	48.8	19.0	12.6	4.5	63.8	(3.0)	<2.0>	31.6	(-2.9)	<-4.4>
パート・アルバイト・派遣	13.9	46.1	21.6	14.1	4.5	60.0	(1.1)	<4.7>	35.7	(-0.2)	<-5.4>
その他の職業	15.0	43.5	22.6	12.6	6.4	58.5	(-2.0)	<-2.7>	35.2	(1.9)	<3.0>
学生	20.0	48.8	17.5	10.0	3.8	68.8	(2.1)	<7.7>	27.5	(-3.1)	<-8.9>
専業主婦・主夫	13.3	51.5	18.9	10.7	5.7	64.8	(4.0)	<7.7>	29.6	(-2.0)	<-8.2>
無職	18.5	44.2	19.5	10.6	7.3	62.7	(-1.6)	<4.1>	30.1	(3.1)	<-4.1>
配偶関係											
未婚	17.1	44.2	18.5	14.9	5.2	61.3	(2.3)	<4.9>	33.4	(-0.5)	<-6.0>
有配偶	15.2	48.8	19.6	11.5	4.8	64.0	(1.4)	<3.4>	31.1	(-0.8)	<-4.4>
離別・死別	17.7	42.5	18.0	13.2	8.6	60.2	(-2.2)	<6.2>	31.2	(1.2)	<-6.9>
世帯類型											
単独世帯	13.7	45.2	18.0	12.8	10.2	58.9	(-)	<>	30.8	(-)	<>
一世代世帯	15.7	47.6	19.6	11.3	5.8	63.3	(-)	<>	30.9	(-)	<>
二世代世帯	15.0	47.7	19.8	12.4	5.2	62.7	(-)	<>	32.2	(-)	<>
三世代世帯	15.4	51.2	16.8	12.9	3.7	66.6	(-)	<>	29.7	(-)	<>
世帯収入											
~100万円未満	16.4	36.2	18.3	17.4	11.8	52.6	(-1.2)	<>	35.7	(7.5)	<>
~200万円未満	16.7	45.3	16.9	14.4	6.6	62.0	(7.9)	<>	31.3	(-3.6)	<>
~300万円未満	14.8	47.1	20.7	12.0	5.3	61.9	(1.5)	<>	32.7	(0.2)	<>
~400万円未満	16.2	50.6	19.7	8.7	4.6	66.8	(3.2)	<>	28.4	(-3.5)	<>
~500万円未満	14.4	46.1	21.8	12.9	4.8	60.5	(-3.5)	<>	34.7	(2.7)	<>
~600万円未満	16.3	48.1	17.4	11.9	6.3	64.4	(-0.8)	<>	29.3	(-0.9)	<>
~800万円未満	15.4	50.6	17.6	11.8	4.5	66.0	(2.9)	<>	29.4	(-2.7)	<>
~1,000万円未満	16.3	47.4	20.3	11.5	4.5	63.7	(-1.1)	<>	31.8	(1.1)	<>
1,000万円以上	17.2	55.1	17.9	7.4	3.3	72.3	(-0.4)	<>	25.3	(0.4)	<>

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (4) 必要な福祉サービスが利用できていると感じますか。

(関連の政策分野：共生の福祉社会)

必要な福祉サービスが利用できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が33.1%で、『実感していない層』の割合(44.4%)より11.3ポイント低くなっています。また、「わからない・不明」の割合(22.5%)が高くなっています。

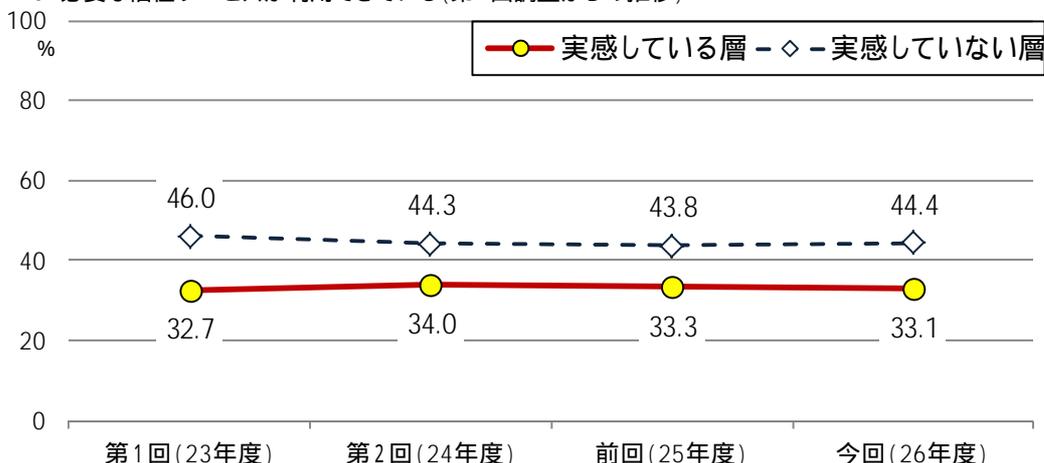
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.2ポイント低く、『実感していない層』は0.6ポイント高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.4ポイント高く、『実感していない層』は1.6ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感している層』は前回調査より8.0ポイント低く、『実感していない層』は前回調査より9.0ポイント高い。
- ・20歳代の『実感している層』は全体より6.2ポイント低く、年齢(10歳階級)別では最も低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より11.5ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感している層』は全体より18.1ポイント高い。
- ・正規職員の『実感していない層』は全体より5.7ポイント高い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より7.8ポイント低い。

図表 2-2-8 必要な福祉サービスが利用できている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-9 必要な福祉サービスが利用できている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント		
全体	6.1	27.0	26.9	17.5	22.5	33.1	(-0.2)	<0.4>	44.4	(0.6)	<-1.6>
地域											
北勢	5.6	26.2	26.3	18.8	23.1	31.8	(0.3)	<1.1>	45.1	(-0.2)	<-2.1>
伊賀	5.0	27.7	28.9	17.3	21.0	32.7	(0.8)	<0.3>	46.2	(-0.3)	<-0.3>
中南勢	6.7	28.5	27.2	16.1	21.6	35.2	(1.6)	<0.9>	43.3	(0.0)	<-1.8>
伊勢志摩	6.9	26.9	28.3	15.6	22.3	33.8	(-3.6)	<0.6>	43.9	(2.7)	<-1.4>
東紀州	7.7	24.5	23.2	18.9	25.7	32.2	(-8.0)	<-10.6>	42.1	(9.0)	<3.7>
性別											
男性	6.1	27.0	29.1	17.5	20.4	33.1	(-0.6)	<0.7>	46.6	(0.9)	<-2.2>
女性	6.2	27.1	25.4	17.6	23.6	33.3	(0.3)	<0.4>	43.0	(0.6)	<-0.7>
年齢											
20歳代	5.2	21.7	25.2	16.2	31.7	26.9	(-1.1)	<0.2>	41.4	(0.8)	<3.2>
30歳代	4.0	24.7	27.2	17.8	26.3	28.7	(-0.7)	<0.2>	45.0	(4.0)	<0.1>
40歳代	3.6	23.9	28.8	19.2	24.4	27.5	(2.2)	<3.5>	48.0	(-2.7)	<-4.6>
50歳代	4.3	23.7	30.8	21.7	19.4	28.0	(-0.4)	<-2.2>	52.5	(2.9)	<0.5>
60歳代	6.8	27.1	27.6	17.9	20.6	33.9	(-3.3)	<-0.2>	45.5	(2.6)	<-1.7>
70歳以上	10.0	34.6	23.3	13.0	19.1	44.6	(0.3)	<1.2>	36.3	(-0.9)	<-2.2>
主な職業											
農林水産業	9.5	41.7	16.1	13.1	19.6	51.2	(9.3)	<1.5>	29.2	(-7.0)	<-7.4>
自営業・自由業	6.6	28.7	25.7	17.9	21.2	35.3	(1.4)	<-0.3>	43.6	(2.5)	<0.1>
正規職員	3.7	23.7	31.1	19.0	22.5	27.4	(-1.0)	<-0.8>	50.1	(0.5)	<-0.6>
パート・バイト・派遣	4.2	23.7	29.0	19.5	23.6	27.9	(-0.6)	<0.2>	48.5	(0.6)	<-0.6>
その他の職業	5.3	17.6	32.6	20.9	23.6	22.9	(-2.3)	<-5.4>	53.5	(3.0)	<2.9>
学生	12.5	23.8	18.8	10.0	35.0	36.3	(9.6)	<11.6>	28.8	(-5.8)	<-10.2>
専業主婦・主夫	6.7	29.7	24.3	14.2	25.1	36.4	(-0.4)	<3.3>	38.5	(-0.8)	<-4.0>
無職	8.9	31.0	23.7	16.7	19.7	39.9	(-1.4)	<1.5>	40.4	(1.5)	<-3.2>
配偶関係											
未婚	5.2	20.1	27.4	16.8	30.4	25.3	(-2.2)	<-1.0>	44.2	(-0.5)	<-3.5>
有配偶	6.0	27.8	28.1	17.4	20.7	33.8	(0.1)	<0.0>	45.5	(1.2)	<-0.5>
離別・死別	7.9	30.4	21.5	18.8	21.4	38.3	(1.7)	<5.2>	40.3	(-2.2)	<-5.7>
世帯類型											
単独世帯	6.3	28.3	23.9	15.4	26.1	34.6	(-)	<->	39.3	(-)	<->
一世帯世帯	6.1	24.4	29.4	17.9	22.2	30.5	(-)	<->	47.3	(-)	<->
二世帯世帯	5.7	27.5	26.8	17.6	22.4	33.2	(-)	<->	44.4	(-)	<->
三世帯世帯	5.3	27.8	29.7	17.3	19.8	33.1	(-)	<->	47.0	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	8.0	25.4	23.5	18.8	24.4	33.4	(1.3)	<->	42.3	(5.8)	<->
~200万円未満	8.0	29.6	24.9	20.4	17.1	37.6	(6.9)	<->	45.3	(1.0)	<->
~300万円未満	6.3	26.1	26.4	19.4	21.8	32.4	(-3.7)	<->	45.8	(0.2)	<->
~400万円未満	7.1	29.1	27.1	16.2	20.6	36.2	(1.5)	<->	43.3	(-0.6)	<->
~500万円未満	4.2	24.5	31.9	17.6	21.8	28.7	(-5.9)	<->	49.5	(6.3)	<->
~600万円未満	5.4	28.7	25.9	17.2	22.7	34.1	(-2.0)	<->	43.1	(1.7)	<->
~800万円未満	3.9	27.0	30.2	17.0	22.0	30.9	(1.0)	<->	47.2	(0.8)	<->
~1,000万円未満	6.9	25.1	28.7	14.8	24.4	32.0	(2.8)	<->	43.5	(-5.1)	<->
1,000万円以上	5.9	29.5	28.7	16.4	19.5	35.4	(2.2)	<->	45.1	(1.7)	<->

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (5) 身近な自然や環境を守る取組が広がっていると感じますか。

(関連の政策分野：環境を守る持続可能な社会)

身近な自然や環境を守る取組が広がっているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が28.7%で、『実感していない層』の割合(54.8%)より26.1ポイント低くなっています。

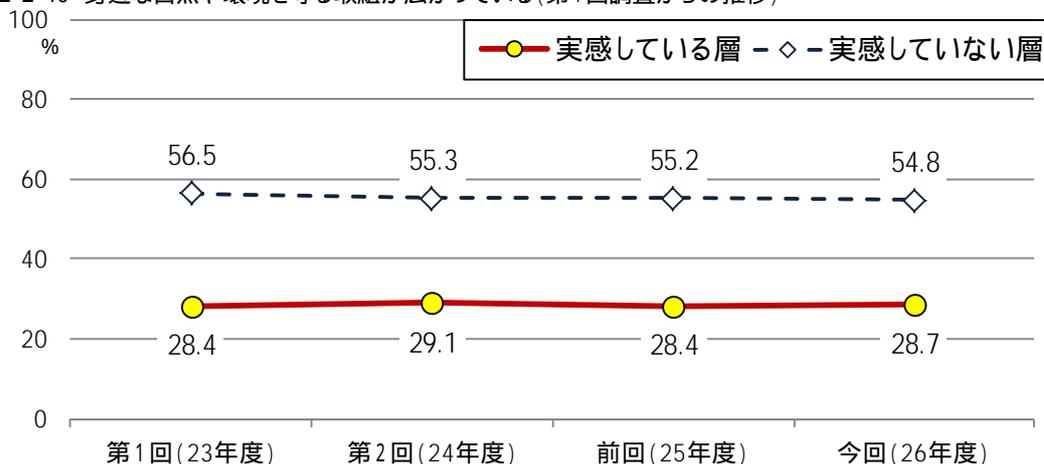
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.3ポイント高く、『実感していない層』が0.4ポイント低くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.3ポイント高く、『実感していない層』は1.7ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊勢志摩の『実感していない層』は前回調査より6.5ポイント低い。
- ・東紀州の『実感している層』は前回調査より6.4ポイント低い。
- ・20歳代の『実感している層』は第1回調査より6.3ポイント低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より4.4ポイント高い。
- ・離別・死別の『実感していない層』は全体より5.9ポイント低い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感していない層』は前回調査より5.2ポイント高い。

図表 2-2-10 身近な自然や環境を守る取組が広がっている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-11 身近な自然や環境を守る取組が広がっている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント		
全体	3.5	25.2	33.7	21.1	16.5	28.7	(0.3)	<0.3>	54.8	(-0.4)	<-1.7>
地域											
北勢	3.1	25.0	33.3	22.4	16.3	28.1	(-0.7)	<-0.1>	55.7	(0.7)	<-1.8>
伊賀	3.5	26.2	34.9	20.4	15.0	29.7	(1.0)	<-1.3>	55.3	(-1.6)	<3.1>
中南勢	4.1	24.2	36.0	19.1	16.5	28.3	(-0.4)	<0.1>	55.1	(0.3)	<-1.6>
伊勢志摩	4.0	28.3	30.1	20.2	17.5	32.3	(6.3)	<4.8>	50.3	(-6.5)	<-5.0>
東紀州	3.0	22.3	31.3	25.8	17.6	25.3	(-6.4)	<-3.7>	57.1	(6.0)	<-2.3>
性別											
男性	3.9	24.9	34.0	23.8	13.4	28.8	(0.0)	<1.0>	57.8	(-0.4)	<-3.3>
女性	3.3	25.5	33.8	19.2	18.2	28.8	(0.5)	<-0.3>	53.0	(-0.2)	<0.3>
年齢											
20歳代	3.0	21.2	31.9	24.4	19.5	24.2	(1.5)	<-6.3>	56.3	(-1.5)	<3.7>
30歳代	3.1	26.0	33.5	23.3	15.3	27.8	(-1.7)	<0.6>	56.8	(3.0)	<-2.2>
40歳代	3.4	23.2	35.1	22.3	16.1	26.6	(-0.8)	<-2.2>	57.4	(-0.7)	<0.7>
50歳代	2.1	24.2	37.5	23.0	13.2	26.3	(-0.5)	<-2.9>	60.5	(1.5)	<0.8>
60歳代	4.0	25.7	34.4	21.4	14.5	29.7	(1.7)	<2.7>	55.8	(-2.9)	<-3.2>
70歳以上	5.5	27.6	31.0	16.8	19.1	33.1	(0.2)	<3.5>	47.8	(1.5)	<-3.8>
主な職業											
農林水産業	4.2	28.0	31.5	23.2	13.1	32.2	(-1.7)	<-2.1>	54.7	(2.9)	<-2.1>
自営業・自由業	6.2	23.6	32.9	22.6	14.8	29.8	(1.6)	<2.0>	55.5	(0.2)	<-3.6>
正規職員	2.4	23.4	35.2	24.6	14.3	25.8	(-2.5)	<-3.7>	59.8	(1.0)	<-0.5>
パート・バイト・派遣	2.6	27.0	35.5	19.3	15.7	29.6	(1.4)	<2.8>	54.8	(-1.7)	<-1.5>
その他の職業	3.7	22.9	30.6	25.6	17.3	26.6	(5.0)	<2.3>	56.2	(-9.4)	<-7.6>
学生	2.4	30.0	32.5	16.3	18.8	32.5	(-2.2)	<0.0>	48.8	(3.4)	<2.0>
専業主婦・主夫	2.4	27.8	34.0	17.4	18.0	30.6	(2.4)	<1.4>	51.4	(-2.5)	<-2.0>
無職	5.0	24.1	33.1	19.7	18.1	29.1	(-0.6)	<1.0>	52.8	(1.6)	<-1.6>
配偶関係											
未婚	1.1	20.8	32.2	25.5	19.6	22.7	(-0.9)	<-4.6>	57.7	(-0.5)	<-0.2>
有配偶	3.5	26.3	35.3	20.7	14.1	29.8	(0.4)	<0.9>	56.0	(-0.3)	<-1.2>
離別・死別	5.2	24.7	28.8	20.1	21.3	29.9	(-0.1)	<2.4>	48.9	(0.2)	<-4.5>
世帯類型											
単独世帯	3.5	24.6	27.0	19.3	25.6	28.1	(-)	<->	46.3	(-)	<->
一世帯世帯	3.5	25.9	35.2	19.7	15.7	29.4	(-)	<->	54.9	(-)	<->
二世帯世帯	3.4	25.1	35.2	20.9	15.5	28.5	(-)	<->	56.1	(-)	<->
三世帯世帯	2.3	28.0	36.1	21.6	12.0	30.3	(-)	<->	57.7	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	1.1	23.0	25.8	22.5	26.8	24.9	(-5.0)	<->	48.3	(5.2)	<->
~200万円未満	5.4	24.1	31.3	22.6	16.5	29.5	(4.3)	<->	53.9	(0.2)	<->
~300万円未満	3.6	26.9	32.8	20.0	16.8	30.5	(2.4)	<->	52.8	(-4.3)	<->
~400万円未満	3.1	26.2	36.1	19.9	14.7	29.3	(0.2)	<->	56.0	(-2.0)	<->
~500万円未満	2.6	22.7	38.0	21.8	14.8	25.3	(-5.3)	<->	59.8	(2.0)	<->
~600万円未満	3.3	27.4	32.8	21.7	14.8	30.7	(2.1)	<->	54.5	(-3.5)	<->
~800万円未満	4.4	26.0	36.9	19.6	13.3	30.2	(1.0)	<->	56.5	(0.6)	<->
~1,000万円未満	3.6	24.4	35.6	23.7	12.7	28.0	(-1.8)	<->	59.3	(2.8)	<->
1,000万円以上	2.6	27.7	35.9	21.3	12.5	30.3	(2.5)	<->	57.2	(-1.6)	<->

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (6) 一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できていると感じますか。
 (関連の政策分野：人権の尊重と多様性を認め合う社会)

一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が22.1%で、『実感していない層』の割合(59.9%)より37.8ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が2番目に低く、『実感していない層』が2番目に高くなっています。

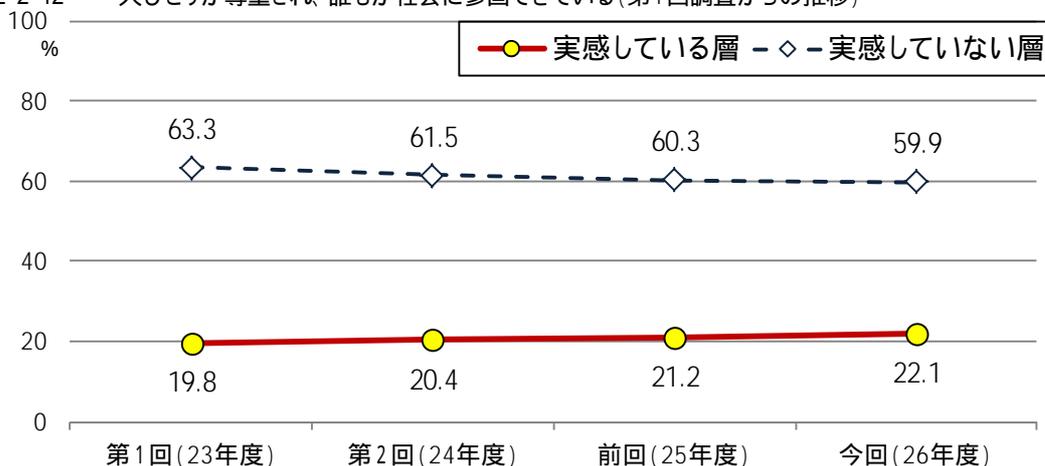
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.9ポイント高く、『実感していない層』は0.4ポイント低くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.3ポイント高く、『実感していない層』は3.4ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・男性の『実感していない層』は第1回調査より5.1ポイント低い。
- ・40歳代の『実感していない層』は第1回調査より7.7ポイント低い。
- ・農林水産業の『実感している層』は全体より9.5ポイント高い。
- ・正規職員の『実感していない層』は第1回調査より6.8ポイント低い。
- ・パート・バイト・派遣の『実感していない層』は全体より5.9ポイント高い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より4.1ポイント低い。

図表 2-2-12 一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-13 一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	23					今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	23	19.8	35.3	24.6	18.0	22.1	(0.9)	<2.3>	59.9	(-0.4)	<-3.4>
地域											
北勢	22	19.4	35.2	25.8	17.4	21.6	(-0.3)	<2.4>	61.0	(1.8)	<-3.9>
伊賀	33	18.1	35.1	25.0	18.5	21.4	(0.1)	<1.6>	60.1	(-3.5)	<-0.9>
中南勢	21	21.6	36.0	22.2	18.2	23.7	(2.8)	<2.6>	58.2	(-2.4)	<-4.0>
伊勢志摩	26	19.4	34.1	24.7	19.1	22.0	(1.9)	<2.9>	58.8	(-2.2)	<-3.3>
東紀州		17.2	35.6	26.6	19.7	18.1	(-0.9)	<-0.6>	62.2	(2.5)	<0.2>
性別											
男性	26	22.1	35.8	25.1	14.4	24.7	(2.5)	<4.2>	60.9	(-1.4)	<-5.1>
女性		18.0	35.2	24.8	20.1	19.9	(-0.6)	<0.6>	60.0	(1.2)	<-0.9>
年齢											
20歳代	27	18.7	31.7	27.9	19.0	21.4	(-0.5)	<2.6>	59.6	(-2.4)	<-3.5>
30歳代		18.7	32.1	32.4	16.2	19.2	(-0.1)	<1.2>	64.5	(2.5)	<-1.6>
40歳代		19.4	35.2	26.9	16.8	21.1	(2.0)	<5.4>	62.1	(0.1)	<-7.7>
50歳代		18.3	39.5	27.4	14.3	18.8	(1.0)	<1.6>	66.9	(-0.4)	<-1.6>
60歳代	20	18.1	39.2	23.8	16.9	20.1	(-0.3)	<1.2>	63.0	(-0.3)	<-2.9>
70歳以上	4.9	23.9	32.0	17.6	21.5	28.8	(0.4)	<1.1>	49.6	(1.5)	<-0.4>
主な職業											
農林水産業		29.8	28.6	23.2	16.6	31.6	(-0.5)	<2.0>	51.8	(2.4)	<-1.7>
自営業・自由業	29	19.9	35.1	25.7	16.4	22.8	(2.3)	<-1.1>	60.8	(-0.1)	<-2.0>
正規職員		20.9	35.9	26.6	14.9	22.6	(2.2)	<5.5>	62.5	(-2.5)	<-6.8>
パート・バイト・派遣		16.7	38.5	27.3	16.3	18.0	(-1.4)	<1.5>	65.8	(1.5)	<-2.7>
その他の職業		17.6	34.2	27.9	19.0	18.9	(1.0)	<1.1>	62.1	(-2.7)	<-3.0>
学生		28.8	31.3	16.3	22.5	30.1	(-1.9)	<6.7>	47.6	(-0.4)	<-8.3>
専業主婦・主夫	24	18.5	35.1	23.9	20.2	20.9	(1.0)	<1.1>	59.0	(0.4)	<-1.2>
無職	3.5	20.8	34.4	20.9	20.4	24.3	(0.9)	<2.1>	55.3	(0.8)	<-1.3>
配偶関係											
未婚		16.2	33.0	28.9	20.1	18.0	(-1.6)	<0.6>	61.9	(2.1)	<-6.0>
有配偶	22	21.0	37.0	24.2	15.6	23.2	(1.2)	<2.7>	61.2	(-0.1)	<-2.4>
離別・死別	2.8	17.1	31.0	25.2	23.8	19.9	(1.5)	<0.3>	56.2	(-4.0)	<-1.8>
世帯類型											
単独世帯	20	17.4	33.3	22.2	25.2	19.4	(-)	<>	55.5	(-)	<>
一世代世帯	25	19.9	36.9	23.1	17.5	22.4	(-)	<>	60.0	(-)	<>
二世帯世帯	21	19.7	36.3	24.9	16.9	21.8	(-)	<>	61.2	(-)	<>
三世帯世帯		20.9	35.9	25.8	16.5	21.8	(-)	<>	61.7	(-)	<>
世帯収入											
~100万円未満		18.3	25.4	29.1	26.3	19.2	(-0.6)	<>	54.5	(4.7)	<>
~200万円未満	35	16.3	33.9	25.9	20.4	19.8	(1.2)	<>	59.8	(1.6)	<>
~300万円未満	22	19.1	38.4	22.1	18.1	21.3	(-0.3)	<>	60.5	(-1.0)	<>
~400万円未満	27	22.0	36.0	23.4	15.9	24.7	(4.2)	<>	59.4	(-4.7)	<>
~500万円未満		16.7	40.0	24.3	17.1	18.6	(-7.2)	<>	64.3	(4.6)	<>
~600万円未満		22.0	33.3	25.9	17.0	23.7	(0.9)	<>	59.2	(-1.5)	<>
~800万円未満		22.9	33.3	28.1	14.2	24.3	(5.5)	<>	61.4	(-3.9)	<>
~1,000万円未満		20.3	40.2	24.9	13.2	21.7	(-0.6)	<>	65.1	(3.8)	<>
1,000万円以上	23	23.6	38.7	23.1	11.8	26.4	(3.7)	<>	61.8	(-0.2)	<>

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (7) 子どものためになる教育が行われていると感じますか。

(関連の政策分野：教育の充実)

子どものためになる教育が行われているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が31.4%で、『実感していない層』の割合(44.9%)より13.5ポイント低くなっています。また、「わからない・不明」の割合(23.7%)が高くなっています。

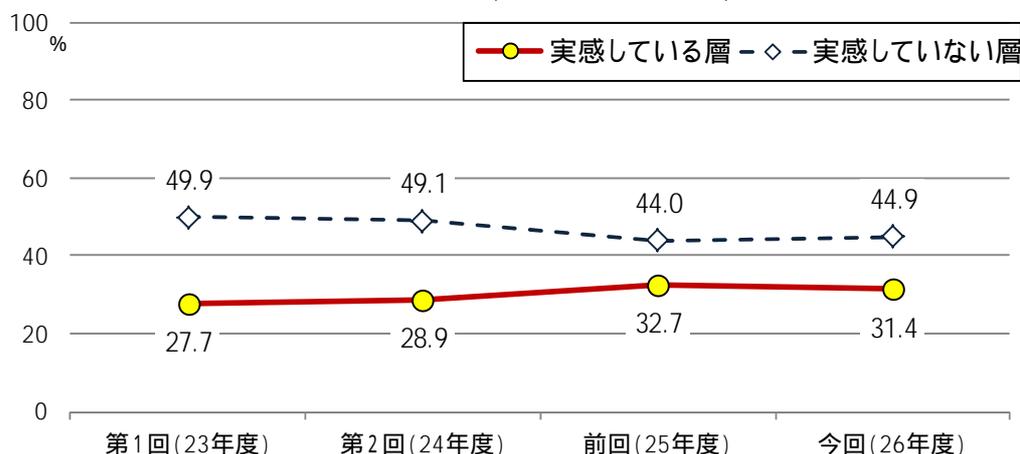
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.3ポイント低く、『実感していない層』が0.9ポイント高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.7ポイント高く、『実感していない層』は5.0ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・中南勢の『実感していない層』は第1回調査より7.0ポイント低い。
- ・50歳代の『実感している層』は第1回調査より7.2ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感していない層』は全体より14.6ポイント低い。
- ・学生の『実感していない層』は前回調査より10.0ポイント高い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より11.3ポイント低い。
- ・単独世帯及び世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は全体より7ポイント以上低く、また『実感していない層』も全体より5ポイント以上低く、「わからない・不明」の割合が高い。

図表 2-2-14 子どものためになる教育が行われている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-15 子どものためになる教育が行われている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント		
全体	4.0	27.4	27.2	17.7	23.7	31.4	(-1.3)	<3.7>	44.9	(0.9)	<-5.0>
地域											
北勢	4.2	27.8	27.7	18.2	22.0	32.0	(-1.2)	<4.2>	45.9	(1.9)	<-4.8>
伊賀	3.9	22.0	30.3	17.0	26.9	25.9	(-3.6)	<-0.5>	47.3	(0.6)	<-0.7>
中南勢	4.0	30.3	25.1	17.0	23.6	34.3	(0.6)	<5.2>	42.1	(0.0)	<-7.0>
伊勢志摩	4.2	25.6	28.3	16.2	25.6	29.8	(-2.5)	<3.6>	44.5	(-1.1)	<-6.5>
東紀州	2.1	21.5	26.2	22.3	27.9	23.6	(-4.5)	<-1.0>	48.5	(4.1)	<1.6>
性別											
男性	4.3	26.2	28.2	20.5	20.8	30.5	(-1.6)	<3.8>	48.7	(1.1)	<-5.8>
女性	3.7	28.4	26.5	15.6	25.7	32.1	(-1.0)	<3.6>	42.1	(0.7)	<-4.0>
年齢											
20歳代	2.5	22.9	27.2	21.9	25.4	25.4	(-4.1)	<-0.3>	49.1	(0.1)	<0.6>
30歳代	3.5	28.7	28.4	20.0	19.3	32.2	(-4.3)	<1.7>	48.4	(6.6)	<-1.9>
40歳代	4.0	31.7	29.9	16.1	18.3	35.7	(-0.8)	<5.1>	46.0	(-1.0)	<-9.1>
50歳代	2.2	26.5	30.8	21.2	19.3	28.7	(0.8)	<7.2>	52.0	(0.3)	<-7.9>
60歳代	2.9	25.8	27.8	18.5	25.0	28.7	(-1.0)	<4.6>	46.3	(0.6)	<-4.7>
70歳以上	7.2	27.8	21.7	13.0	30.2	35.0	(-1.0)	<1.2>	34.7	(1.6)	<-3.3>
主な職業											
農林水産業	8.3	35.7	19	11.3	25.6	44.0	(4.4)	<4.1>	30.3	(-8.8)	<-10.1>
自営業・自由業	5.5	24.6	27.9	23.8	18.1	30.1	(-0.8)	<1.1>	51.7	(2.6)	<-1.0>
正規職員	2.7	27.7	31.1	19.1	19.4	30.4	(-3.1)	<6.2>	50.2	(1.9)	<-8.0>
パート・バイト・派遣	3.3	28.9	28.6	18.5	20.6	32.2	(-0.5)	<5.5>	47.1	(0.3)	<-6.2>
その他の職業	2.4	24.3	29.6	21.3	23.6	25.6	(-5.5)	<2.5>	50.9	(1.1)	<0.3>
学生	2.5	27.5	36.3	16.3	17.5	30.0	(-7.3)	<-2.5>	52.6	(10.0)	<1.9>
専業主婦・主夫	3.8	31	25.9	13.9	25.5	34.8	(2.9)	<3.7>	39.8	(-1.0)	<-3.2>
無職	5.4	24.4	22.6	16.2	31.4	29.8	(-2.3)	<1.7>	38.8	(1.9)	<-4.7>
配偶関係											
未婚	2.3	17.8	26.4	21.6	31.7	20.1	(-5.5)	<-0.2>	48.0	(2.3)	<-4.7>
有配偶	4.1	29.6	28.1	17.8	20.4	33.7	(-0.6)	<4.3>	45.9	(0.6)	<-4.6>
離別・死別	4.9	25.9	24.7	14	30.5	30.8	(-1.1)	<5.4>	38.7	(0.6)	<-6.8>
世帯類型											
単独世帯	3.9	19.1	24.1	15.2	37.6	23.0	(-)	<->	39.3	(-)	<->
一世代世帯	3.7	23.8	26.6	17.2	28.6	27.5	(-)	<->	43.8	(-)	<->
二世帯世帯	3.6	30.8	28.6	17.5	19.5	34.4	(-)	<->	46.1	(-)	<->
三世帯世帯	3.9	31.3	31.3	19.1	14.4	35.2	(-)	<->	50.4	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	6.6	16.9	21.1	16.9	38.5	23.5	(-3.4)	<->	38.0	(1.8)	<->
~200万円未満	3.5	22.6	24.7	19.3	30.0	26.1	(-1.4)	<->	44.0	(1.0)	<->
~300万円未満	4.9	24.8	26.7	17.4	26.2	29.7	(-1.5)	<->	44.1	(-0.4)	<->
~400万円未満	4.5	27.6	29.5	15.1	23.3	32.1	(-0.8)	<->	44.6	(1.5)	<->
~500万円未満	3.5	28.9	29.4	21.1	17.1	32.4	(-3.4)	<->	50.5	(5.0)	<->
~600万円未満	3.5	30.9	29.3	16.5	19.8	34.4	(-4.0)	<->	45.8	(2.1)	<->
~800万円未満	2.7	31.9	29.1	17.7	18.5	34.6	(0.2)	<->	46.8	(0.2)	<->
~1,000万円未満	4.3	31.1	30.9	17.5	16.3	35.4	(-1.4)	<->	48.4	(2.9)	<->
1,000万円以上	4.1	33.6	28.7	20	13.6	37.7	(5.5)	<->	48.7	(-1.1)	<->

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (8) 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。

(関連の政策分野：子どもの育ちと子育て)

地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が55.6%で、『実感していない層』の割合(27.7%)より27.9ポイント高くなっています。

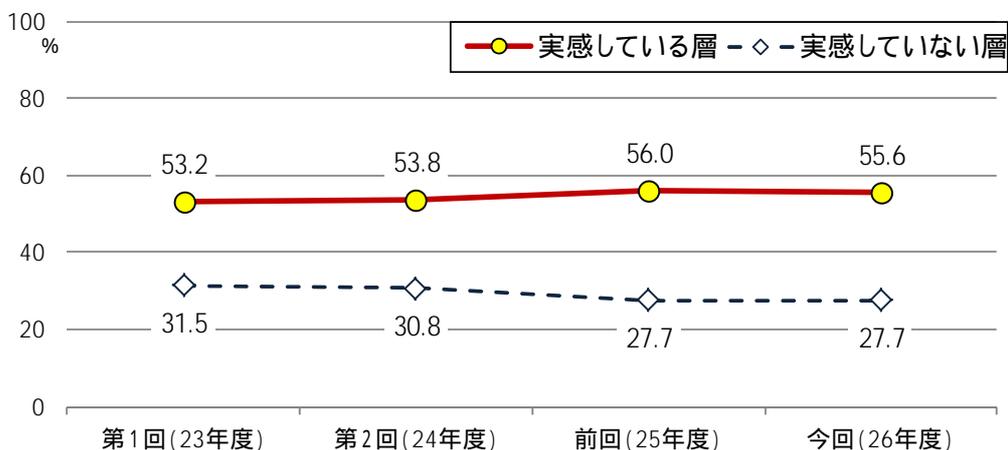
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.4ポイント低く、『実感していない層』は同率となっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.4ポイント高く、『実感していない層』は3.8ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊勢志摩の『実感していない層』は、第1回調査より6.7ポイント低い。
- ・東紀州の『実感している層』は前回調査より5.8ポイント低い。
- ・40歳代の『実感していない層』は、第1回調査より7.5ポイント低い。
- ・50歳代の『実感していない層』は全体より9.9ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感している層』は全体より11.1ポイント高いが、前回調査より7.4ポイント低い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より12.9ポイント低い。

図表 2-2-16 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-17 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント		
全体	10.7	44.9	19.2	8.5	16.7	55.6	(-0.4)	<2.4>	27.7	(0.0)	<-3.8>
地域											
北勢	10.5	46.1	19.5	9.2	14.8	56.6	(1.3)	<4.0>	28.7	(-0.1)	<-3.9>
伊賀	9.1	44.9	19.8	8.3	17.9	54.0	(-5.1)	<-1.2>	28.1	(1.9)	<-1.2>
中南勢	11.4	44.4	18.7	8.8	16.7	55.8	(-1.2)	<2.5>	27.5	(1.3)	<-3.5>
伊勢志摩	11.9	43.2	18.9	5.7	20.3	55.1	(1.1)	<2.6>	24.6	(-4.1)	<-6.7>
東紀州	8.2	42.1	18.5	9.0	22.3	50.3	(-5.8)	<-5.0>	27.5	(1.7)	<0.2>
性別											
男性	9.6	43.6	21.8	10.0	15.1	53.2	(-0.8)	<2.3>	31.8	(0.0)	<-4.5>
女性	11.5	46.2	17.3	7.4	17.5	57.7	(0.0)	<2.1>	24.7	(0.1)	<-2.6>
年齢											
20歳代	9.7	41.9	19.2	10.2	19.0	51.6	(0.5)	<-2.2>	29.4	(-0.7)	<2.4>
30歳代	9.2	43.3	21.2	11.4	14.9	52.5	(-4.1)	<-1.5>	32.6	(3.1)	<1.0>
40歳代	9.6	47.9	18.5	9.6	14.4	57.5	(0.3)	<2.9>	28.1	(-1.8)	<-7.5>
50歳代	4.5	43.3	26.1	11.5	14.7	47.8	(0.0)	<3.4>	37.6	(2.3)	<-4.4>
60歳代	8.9	47.7	19.5	7.1	16.8	56.6	(1.0)	<4.3>	26.6	(-1.3)	<-4.9>
70歳以上	18.9	43.7	13.4	5.1	18.9	62.6	(-2.2)	<2.3>	18.5	(1.0)	<-3.1>
主な職業											
農林水産業	23.2	43.5	11.9	4.8	16.6	66.7	(-7.4)	<-2.3>	16.7	(-0.5)	<-4.4>
自営業・自由業	10.5	45.8	19.3	10.5	14.0	56.3	(0.9)	<3.2>	29.8	(0.0)	<-5.0>
正規職員	6.8	43.8	24.2	10.7	14.5	50.6	(0.8)	<3.2>	34.9	(-0.3)	<-4.7>
パート・バイト・派遣	8.9	47.4	19.9	8.9	15.0	56.3	(0.3)	<4.5>	28.8	(-0.1)	<-5.0>
その他の職業	8.6	37.9	23.9	9.6	19.9	46.5	(-7.0)	<-6.1>	33.5	(3.1)	<6.5>
学生	11.3	46.3	16.3	10.0	16.3	57.6	(5.6)	<-4.8>	26.3	(-7.0)	<5.5>
専業主婦・主夫	10.7	51.3	16.4	6.9	14.8	62.0	(2.4)	<3.8>	23.3	(0.9)	<-2.2>
無職	15.1	41.8	15.2	6.4	21.5	56.9	(-3.0)	<1.1>	21.6	(0.3)	<-3.9>
配偶関係											
未婚	7.4	35.3	21.2	11.0	25.1	42.7	(-3.9)	<-1.3>	32.2	(2.3)	<0.9>
有配偶	10.4	47.6	20.0	8.2	13.8	58.0	(0.2)	<2.4>	28.2	(0.0)	<-3.8>
離別・死別	14.7	42.4	14.2	8.1	20.6	57.1	(0.3)	<8.5>	22.3	(-2.2)	<-7.7>
世帯類型											
単独世帯	10.7	37.8	15.7	9.8	26.1	48.5	(-)	<->	25.5	(-)	<->
一世代世帯	10.1	44.7	18.7	7.2	19.4	54.8	(-)	<->	25.9	(-)	<->
二世帯世帯	10.1	47.5	19.9	8.9	13.5	57.6	(-)	<->	28.8	(-)	<->
三世帯世帯	10.6	50.4	19.5	8.7	10.7	61.0	(-)	<->	28.2	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	15.5	33.8	10.8	9.4	30.5	49.3	(0.0)	<->	20.2	(-1.9)	<->
~200万円未満	11.9	45.1	16.7	8.8	17.5	57.0	(3.5)	<->	25.5	(-0.8)	<->
~300万円未満	12.3	45.6	17.5	7.5	17.1	57.9	(-0.6)	<->	25.0	(-0.6)	<->
~400万円未満	10.0	45.4	21.0	7.3	16.3	55.4	(-1.2)	<->	28.3	(0.5)	<->
~500万円未満	9.2	48.2	21.0	7.7	13.9	57.4	(-5.1)	<->	28.7	(2.9)	<->
~600万円未満	10.2	45.0	22.2	8.7	13.9	55.2	(-2.3)	<->	30.9	(1.9)	<->
~800万円未満	9.2	46.2	19.9	10.5	14.2	55.4	(3.0)	<->	30.4	(-0.8)	<->
~1,000万円未満	9.3	46.4	22.5	8.9	12.9	55.7	(-3.5)	<->	31.4	(2.6)	<->
1,000万円以上	7.4	50.0	24.4	7.9	10.2	57.4	(4.9)	<->	32.3	(-3.3)	<->

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (9) スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じますか。

(関連の政策分野：スポーツの推進)

スポーツを通じて夢や感動が育まれているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が57.0%で、『実感していない層』の割合(26.6%)より30.4ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『実感していない層』の割合が3番目に低くなっています。

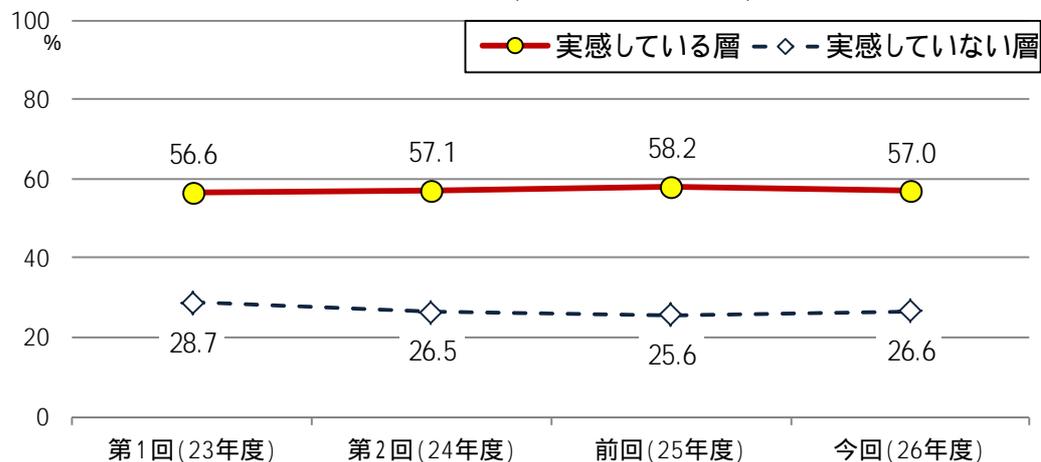
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.2ポイント低く、『実感していない層』は1.0ポイント高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.4ポイント高く、『実感していない層』は2.1ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感している層』は前回調査より7.6ポイント低い。
- ・中南勢の『実感していない層』は第1回調査より5.1ポイント低い。
- ・農林水産業の『実感している層』は前回調査より7.9ポイント低い。
- ・単独世帯の『実感している層』は全体より5.7ポイント低く、世帯類型別では最も低い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は全体より19.5ポイント低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より8.1ポイント高い。

図表 2-2-18 スポーツを通じて夢や感動が育まれている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-19 スポーツを通じて夢や感動が育まれている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	15.1	41.9	17.2	9.4	16.4	57.0	(-1.2)	<0.4>	26.6	(1.0)	<-2.1>
地域											
北勢	14.9	42.7	17.9	10.2	14.3	57.6	(-0.7)	<-0.9>	28.1	(1.8)	<-0.4>
伊賀	11.6	40.3	18.9	7.3	22.0	51.9	(-7.6)	<-1.7>	26.2	(1.2)	<-2.2>
中南勢	16.0	43.1	16.1	8.9	15.9	59.1	(1.2)	<4.8>	25.0	(0.0)	<-5.1>
伊勢志摩	16.6	38.0	16.4	9.4	19.5	54.6	(-3.6)	<-2.6>	25.8	(-0.2)	<-1.0>
東紀州	14.6	41.6	16.7	8.6	18.5	56.2	(1.4)	<-0.1>	25.3	(1.8)	<-3.7>
性別											
男性	14.6	40.6	19.3	11.5	14.1	55.2	(-1.0)	<0.5>	30.8	(-0.1)	<-2.7>
女性	15.6	43.3	15.7	7.8	17.5	58.9	(-1.2)	<-0.2>	23.5	(2.0)	<-0.8>
年齢											
20歳代	25.7	37.2	14.5	10.2	12.5	62.9	(-1.3)	<-4.2>	24.7	(-1.4)	<0.6>
30歳代	17.2	40.9	17.7	11.1	13.2	58.1	(-0.9)	<-3.4>	28.8	(2.4)	<1.8>
40歳代	17.2	43.9	15.7	11.4	11.8	61.1	(-5.6)	<-4.0>	27.1	(4.4)	<0.5>
50歳代	12.2	47.7	17.2	11.1	11.8	59.9	(2.1)	<4.4>	28.3	(0.6)	<-4.7>
60歳代	12.6	42.7	20.0	8.2	16.5	55.3	(-0.3)	<4.5>	28.2	(0.8)	<-4.2>
70歳以上	14.2	38.2	16.5	6.8	24.3	52.4	(-1.0)	<-0.9>	23.3	(-0.2)	<-1.5>
主な職業											
農林水産業	13.7	40.5	19.0	6.5	20.2	54.2	(-7.9)	<2.1>	25.5	(2.5)	<-5.4>
自営業・自由業	18.7	42.9	17.5	7.8	13.2	61.6	(4.2)	<2.2>	25.3	(-1.2)	<-4.0>
正規職員	16.1	44.0	18.7	10.9	10.3	60.1	(-1.5)	<0.3>	29.6	(1.7)	<-1.0>
パート・バイト・派遣	16.5	44.8	16.0	9.3	13.4	61.3	(-1.9)	<0.3>	25.3	(1.5)	<-2.1>
その他の職業	12.6	38.2	19.6	13.0	16.6	50.8	(-6.4)	<-11.7>	32.6	(4.4)	<11.6>
学生	33.8	31.3	13.8	8.8	12.5	65.1	(-2.9)	<-7.7>	22.6	(1.3)	<-2.1>
専業主婦・主夫	13.3	45.9	13.7	9.0	18.1	59.2	(2.4)	<3.5>	22.7	(0.6)	<-3.9>
無職	12.8	36.6	17.9	8.5	24.3	49.4	(-1.1)	<-0.2>	26.4	(-1.2)	<-2.8>
配偶関係											
未婚	18.9	37.3	16.0	11.0	16.8	56.2	(-1.4)	<-2.0>	27.0	(1.4)	<-1.6>
有配偶	14.9	43.9	18.0	9.1	14.2	58.8	(-0.7)	<1.0>	27.1	(1.0)	<-1.8>
離別・死別	12.6	39.0	15.0	9.4	24.0	51.6	(-4.4)	<1.0>	24.4	(-0.3)	<-2.8>
世帯類型											
単独世帯	13.5	37.8	14.6	9.8	24.4	51.3	(-)	<->	24.4	(-)	<->
一世帯世帯	13.8	43.6	17.1	8.3	17.1	57.4	(-)	<->	25.4	(-)	<->
二世帯世帯	14.5	43.2	17.8	9.7	14.8	57.7	(-)	<->	27.5	(-)	<->
三世帯世帯	16.5	45.5	18.4	8.0	11.7	62.0	(-)	<->	26.4	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	15.0	22.5	13.6	13.6	35.2	37.5	(-7.0)	<->	27.2	(2.1)	<->
~200万円未満	12.8	39.9	16.9	8.9	21.4	52.7	(4.3)	<->	25.8	(-3.4)	<->
~300万円未満	14.0	43.6	17.2	9.1	16.2	57.6	(1.3)	<->	26.3	(0.4)	<->
~400万円未満	13.7	42.5	20.5	8.0	15.4	56.2	(-1.8)	<->	28.5	(1.9)	<->
~500万円未満	15.5	46.7	18.1	7.9	11.8	62.2	(1.9)	<->	26.0	(-1.0)	<->
~600万円未満	16.3	43.9	16.3	11.3	12.2	60.2	(-3.8)	<->	27.6	(3.3)	<->
~800万円未満	15.7	45.0	16.7	10.0	12.5	60.7	(-5.5)	<->	26.7	(5.3)	<->
~1,000万円未満	16.0	44.3	19.9	10.0	9.8	60.3	(-3.8)	<->	29.9	(4.5)	<->
1,000万円以上	16.9	48.2	17.4	9.5	8.0	65.1	(3.9)	<->	26.9	(-1.6)	<->

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (10) 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じますか。

(関連の政策分野：地域との連携)

自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいかどうかの実感については、『実感している層』の割合が72.4%で、『実感していない層』の割合(19.2%)より53.2ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が2番目に高く、『実感していない層』が2番目に低くなっています。

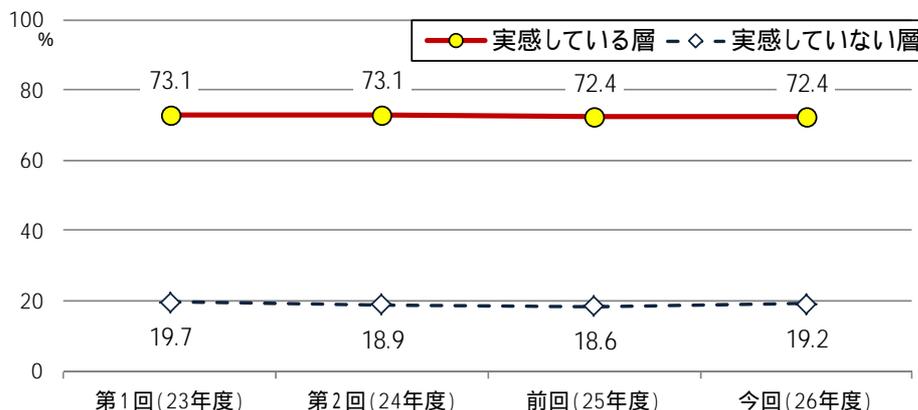
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』は同率で、『実感していない層』が0.6ポイント高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.7ポイント、『実感していない層』が0.5ポイントそれぞれ低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感している層』は全体より6.1ポイント低い。
- ・20歳代の『実感していない層』は第1回調査より5.7ポイント高い。
- ・40歳代の『実感している層』は全体より5.3ポイント低い。
- ・農林水産業の『実感している層』は全体より7.4ポイント高い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は全体より11.3ポイント低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より7.1ポイント高い。

図表 2-2-20 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-21 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	33.4	39.0	11.0	8.2	8.4	72.4	(0.0)	<-0.7>	19.2	(0.6)	<-0.5>
地域											
北勢	32.7	40.5	12.0	8.2	6.7	73.2	(0.6)	<-0.9>	20.2	(1.4)	<0.3>
伊賀	29.9	36.4	14.1	9.2	10.5	66.3	(-3.5)	<-1.2>	23.3	(2.2)	<-1.4>
中南勢	34.9	39.9	9.2	6.7	9.2	74.8	(1.0)	<1.6>	15.9	(-1.3)	<-3.1>
伊勢志摩	35.1	35.1	10.3	9.6	9.8	70.2	(-1.3)	<-3.4>	19.9	(1.1)	<2.2>
東紀州	32.6	36.9	9.0	10.7	10.7	69.5	(-0.6)	<-3.7>	19.7	(-0.7)	<0.9>
性別											
男性	34.8	38.4	11.6	7.6	7.7	73.2	(-1.3)	<-2.8>	19.2	(1.3)	<1.3>
女性	32.4	39.8	10.7	8.8	8.3	72.2	(1.2)	<1.4>	19.5	(0.0)	<-2.0>
年齢											
20歳代	33.7	35.2	12.5	10.7	8.0	68.9	(-0.2)	<-4.8>	23.2	(0.5)	<5.7>
30歳代	31.6	39.2	8.8	11.7	8.7	70.8	(0.7)	<1.0>	20.5	(-0.1)	<-2.2>
40歳代	27.4	39.7	13.3	10.4	9.1	67.1	(-3.1)	<-1.7>	23.7	(3.3)	<-0.4>
50歳代	26.4	43.6	13.6	8.4	8.1	70.0	(1.4)	<-0.3>	22.0	(0.0)	<0.2>
60歳代	35.2	39.7	11.4	7.2	6.5	74.9	(0.5)	<-0.6>	18.6	(0.8)	<-0.8>
70歳以上	42.2	35.9	8.2	5.1	8.7	78.1	(-0.3)	<-0.4>	13.3	(-0.4)	<-1.3>
主な職業											
農林水産業	51.8	28.0	6.0	5.4	8.9	79.8	(-1.8)	<-5.7>	11.4	(1.0)	<1.0>
自営業・自由業	37.4	40.5	9.4	6.8	6.0	77.9	(3.9)	<1.1>	16.2	(-0.8)	<-1.3>
正規職員	32.9	40.4	11.9	7.3	7.6	73.3	(-1.4)	<-0.3>	19.2	(1.2)	<-0.4>
パート・バイト・派遣	27.5	40.0	13.5	10.8	8.3	67.5	(-0.9)	<-1.7>	24.3	(1.8)	<-0.1>
その他の職業	29.6	36.9	12.3	11.0	10.3	66.5	(-4.2)	<-9.2>	23.3	(4.3)	<6.9>
学生	28.8	43.8	11.3	5.0	11.3	72.6	(0.6)	<3.7>	16.3	(-1.0)	<-4.5>
専業主婦・主夫	30.9	42.1	9.5	9.4	8.2	73.0	(3.7)	<3.5>	18.9	(-1.8)	<-3.2>
無職	37.8	36.0	10.5	6.9	8.9	73.8	(-1.3)	<-1.1>	17.4	(0.6)	<-0.8>
配偶関係											
未婚	31.1	36.7	13.6	9.6	9.0	67.8	(-1.8)	<-4.8>	23.2	(2.4)	<4.1>
有配偶	33.2	40.8	10.8	7.9	7.2	74.0	(0.5)	<0.2>	18.7	(0.0)	<-1.3>
離別・死別	37.2	33.5	9.8	8.7	10.8	70.7	(-1.0)	<-2.1>	18.5	(0.5)	<-0.9>
世帯類型											
単独世帯	27.8	37.0	13.5	10.4	11.3	64.8	(-)	<->	23.9	(-)	<->
一世帯世帯	32.3	40.6	10.8	7.5	8.8	72.9	(-)	<->	18.3	(-)	<->
二世帯世帯	32.6	39.9	10.9	8.5	8.2	72.5	(-)	<->	19.4	(-)	<->
三世帯世帯	37.9	39.6	9.4	8.1	4.9	77.5	(-)	<->	17.5	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	28.2	32.9	11.3	13.1	14.6	61.1	(-5.9)	<->	24.4	(5.5)	<->
~200万円未満	37.0	33.5	10.9	10.5	8.2	70.5	(3.7)	<->	21.4	(0.9)	<->
~300万円未満	31.8	40.7	12.0	7.0	8.5	72.5	(0.6)	<->	19.0	(-0.9)	<->
~400万円未満	32.7	42.0	12.0	6.8	6.5	74.7	(0.9)	<->	18.8	(-1.2)	<->
~500万円未満	32.6	39.4	11.8	10.0	6.1	72.0	(-2.7)	<->	21.8	(3.7)	<->
~600万円未満	32.6	39.6	9.4	8.3	10.0	72.2	(-2.8)	<->	17.7	(0.6)	<->
~800万円未満	31.0	42.6	12.1	7.2	7.1	73.6	(0.4)	<->	19.3	(1.0)	<->
~1,000万円未満	33.7	40.2	10.0	8.6	7.4	73.9	(-0.1)	<->	18.6	(-0.1)	<->
1,000万円以上	34.1	45.4	10.0	6.2	4.3	79.5	(1.2)	<->	16.2	(-0.3)	<->

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (11) 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができますか。

(関連の政策分野：文化と学び)

文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が35.8%で、『実感していない層』の割合(48.3%)より12.5ポイント低くなっています。

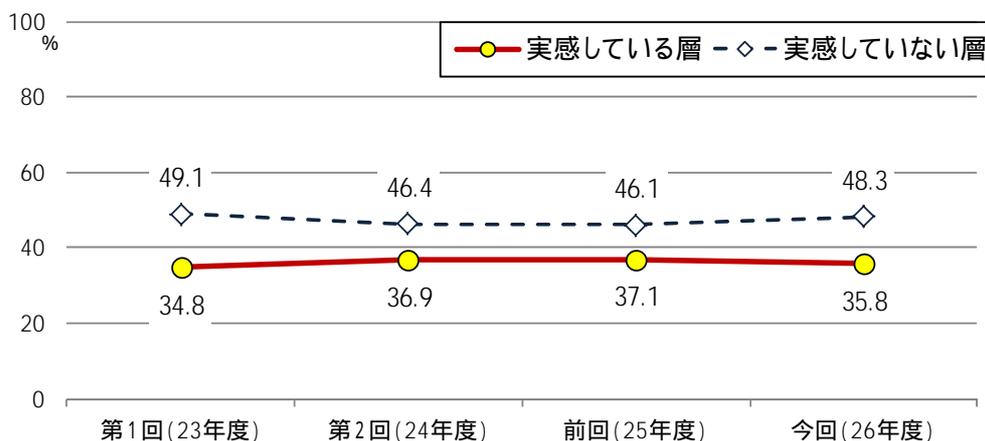
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.3ポイント低く、『実感していない層』は2.2ポイント高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.0ポイント高く、『実感していない層』は0.8ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感している層』は全体より8.8ポイント低い。
- ・30歳代の『実感していない層』は前回調査より7.5ポイント高い。
- ・70歳以上の『実感していない層』は全体より7.8ポイント低い。
- ・学生の『実感していない層』は前回調査より12.7ポイント高い。
- ・単独世帯の『実感している層』は全体より5.4ポイント低く、世帯類型別では最も低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より5.3ポイント高く、属性項目の中で最も高い。

図表 2-2-22 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができる(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-23 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができる(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	6.5	29.3	31.6	16.7	15.9	35.8	(-1.3)	<-1.0>	48.3	(2.2)	<-0.8>
地域											
北勢	5.6	28.8	32.4	18.6	14.5	34.4	(-0.8)	<-2.0>	51.0	(2.3)	<-1.0>
伊賀	5.8	29.3	34.7	14.8	15.4	35.1	(-4.4)	<-2.8>	49.5	(5.3)	<-0.8>
中南勢	8.2	31.4	29.6	14.6	16.1	39.6	(2.0)	<0.3>	44.2	(-0.7)	<-0.7>
伊勢志摩	7.0	28.7	30.5	15.6	18.3	35.7	(-5.9)	<-1.2>	46.1	(3.3)	<-1.9>
東紀州	4.7	22.3	33.9	17.6	21.4	27.0	(-6.9)	<-2.9>	51.5	(9.0)	<1.5>
性別											
男性	5.8	29.5	33.3	18.5	12.9	35.3	(-1.5)	<-0.1>	51.8	(1.9)	<0.7>
女性	7.0	29.3	30.7	15.5	17.5	36.3	(-1.3)	<1.8>	46.2	(2.8)	<-1.4>
年齢											
20歳代	8.2	26.2	32.4	20.2	13.0	34.4	(-1.0)	<-2.2>	52.6	(0.9)	<4.0>
30歳代	6.6	25.7	32.4	22.7	12.6	32.3	(-5.8)	<1.1>	55.1	(7.5)	<-0.1>
40歳代	5.3	29.1	32.1	20.0	13.5	34.4	(1.9)	<3.0>	52.1	(-1.6)	<-3.1>
50歳代	3.6	29.3	36.5	16.3	14.2	32.9	(-0.1)	<1.3>	52.8	(2.2)	<-2.6>
60歳代	5.8	31.2	32.2	14.9	15.9	37.0	(-1.8)	<1.2>	47.1	(1.4)	<-1.3>
70歳以上	9.5	30.4	27.7	12.8	19.6	39.9	(-3.1)	<-1.0>	40.5	(5.7)	<2.9>
主な職業											
農林水産業	8.3	32.7	28.6	12.5	17.8	41.0	(0.8)	<-5.0>	41.1	(-2.6)	<1.2>
自営業・自由業	8.4	29.6	33.5	14.6	14.0	38.0	(1.7)	<-1.8>	48.1	(1.1)	<1.4>
正規職員	5.3	29.4	34.3	19.6	11.4	34.7	(-0.8)	<2.3>	53.9	(0.6)	<-1.5>
パート・バイト・派遣	4.8	29.4	33.1	17.8	14.9	34.2	(-0.7)	<2.2>	50.9	(3.3)	<-2.2>
その他の職業	5.0	25.6	35.2	17.9	16.3	30.6	(-0.9)	<-3.6>	53.1	(0.0)	<3.8>
学生	11.3	28.8	40.0	10.0	10.0	40.1	(-9.2)	<7.6>	50.0	(12.7)	<-4.6>
専業主婦・主夫	8.3	29.2	28.2	17.4	16.9	37.5	(-2.3)	<4.1>	45.6	(3.2)	<-3.6>
無職	7.6	29.3	28.8	13.7	20.6	36.9	(-4.1)	<-0.4>	42.5	(3.9)	<0.6>
配偶関係											
未婚	6.8	26.2	33.0	20.1	13.8	33.0	(-3.7)	<-4.3>	53.1	(6.2)	<4.7>
有配偶	6.4	30.8	32.2	16.2	14.5	37.2	(-0.7)	<2.7>	48.4	(1.0)	<-1.9>
離別・死別	6.6	25.9	29.6	17.3	20.6	32.5	(-3.2)	<-3.5>	46.9	(4.7)	<2.9>
世帯類型											
単独世帯	5.2	25.2	31.3	17.8	20.4	30.4	(-)	<->	49.1	(-)	<->
一世帯世帯	7.6	29.9	31.3	15.8	15.5	37.5	(-)	<->	47.1	(-)	<->
二世帯世帯	5.9	30.2	32.1	16.9	14.9	36.1	(-)	<->	49.0	(-)	<->
三世帯世帯	6.9	30.4	34.5	15.4	12.8	37.3	(-)	<->	49.9	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	6.6	23.0	25.4	19.7	25.4	29.6	(-6.1)	<->	45.1	(8.5)	<->
~200万円未満	5.6	27.8	29.2	17.3	20.0	33.4	(0.4)	<->	46.5	(2.1)	<->
~300万円未満	6.9	27.6	32.4	16.1	17.0	34.5	(-3.9)	<->	48.5	(3.0)	<->
~400万円未満	7.1	31.6	32.2	14.2	14.9	38.7	(0.2)	<->	46.4	(-0.8)	<->
~500万円未満	7.0	31.7	32.2	17.8	11.2	38.7	(-1.3)	<->	50.0	(2.6)	<->
~600万円未満	6.9	30.4	31.5	17.8	13.5	37.3	(-3.2)	<->	49.3	(3.2)	<->
~800万円未満	5.1	28.6	37.4	16.9	12.1	33.7	(-0.9)	<->	54.3	(2.7)	<->
~1,000万円未満	6.2	32.3	33.3	17.5	10.8	38.5	(4.0)	<->	50.8	(-1.5)	<->
1,000万円以上	7.2	34.1	33.1	16.7	9.0	41.3	(3.5)	<->	49.8	(-1.4)	<->

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (12) 三重県産の農林水産物を買いたいと感じますか。

(関連の政策分野：農林水産業)

三重県産の農林水産物を買いたいかどうかの実感については、『実感している層』の割合が84.5%で、『実感していない層』の割合(8.8%)より75.7ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が最も高く、『実感していない層』が最も低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.1ポイント低く、『実感していない層』が1.2ポイント高くなっています。

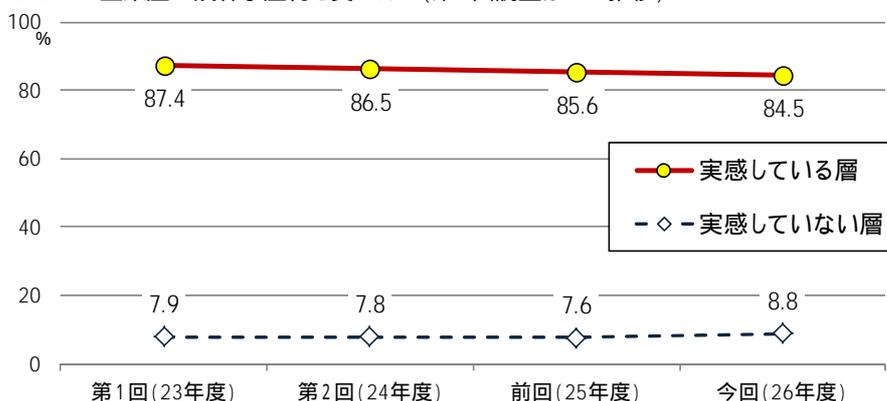
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.9ポイント低く、『実感していない層』が0.9ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の減少幅と『実感していない層』の増加幅が最も大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感している層』は全体より6.8ポイント低く、前回調査より4.2ポイント、第1回調査より9.4ポイントそれぞれ低い。
- ・20歳代の『実感している層』は全体より4.2ポイント低く、年齢(10歳階級)別では最も低い。
- ・学生の『実感している層』は前回調査より15.7ポイント低い。
- ・専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より3.5ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・単独世帯の『実感していない層』は全体より3.6ポイント高く、世帯類型別では最も高い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は前回調査より4.6ポイント高い。

図表 2-2-24 三重県産の農林水産物を買いたい(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-25 三重県産の農林水産物を買いたい(属性別)

	感じる					実感している層					実感していない層				
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント				
全体	46.0	38.5	5.2	3.6	6.6	84.5	(-1.1)	<-2.9>	8.8	(1.2)	<0.9>				
地域															
北勢	43.2	41.4	5.9	4.2	5.3	84.6	(-0.3)	<-2.4>	10.1	(1.6)	<0.9>				
伊賀	39.3	42.4	6.7	3.3	8.2	81.7	(1.3)	<-5.4>	10.0	(-1.5)	<2.0>				
中南勢	51.1	34.9	4.2	2.3	7.0	86.0	(-2.3)	<-1.1>	7.0	(1.3)	<-0.2>				
伊勢志摩	49.8	35.3	4.2	3.3	7.4	85.1	(-3.0)	<-4.1>	7.5	(2.2)	<1.5>				
東紀州	42.9	34.8	4.7	5.6	12.0	77.7	(-4.2)	<-9.4>	10.3	(1.7)	<3.6>				
性別															
男性	40.8	42.0	6.3	4.9	6.0	82.8	(-0.7)	<-2.9>	11.2	(1.2)	<1.3>				
女性	50.6	36.0	4.4	2.7	6.3	86.6	(-1.2)	<-2.7>	7.1	(1.5)	<1.0>				
年齢															
20歳代	41.9	38.4	7.5	5.0	7.2	80.3	(-3.1)	<-7.3>	12.5	(3.3)	<5.3>				
30歳代	50.2	35.9	4.5	4.5	4.9	86.1	(-1.3)	<-2.3>	9.0	(1.8)	<0.9>				
40歳代	49.7	37.6	4.2	2.3	6.0	87.3	(-2.8)	<-1.6>	6.7	(1.1)	<-0.5>				
50歳代	40.7	43.5	5.9	5.0	5.0	84.2	(-1.9)	<-5.0>	10.9	(3.4)	<2.7>				
60歳代	47.0	39.2	4.9	3.5	5.4	86.2	(-0.9)	<-1.4>	8.4	(1.1)	<-0.2>				
70歳以上	46.4	36.8	5.7	2.7	8.4	83.2	(1.8)	<-1.4>	8.4	(-0.3)	<0.8>				
主な職業															
農林水産業	54.2	29.2	5.4	3.0	8.3	83.4	(-3.3)	<-9.1>	8.4	(2.1)	<5.1>				
自営業・自由業	48.9	37.2	3.9	3.3	6.8	86.1	(3.9)	<-1.6>	7.2	(-2.8)	<-0.5>				
正規職員	45.3	39.6	5.1	4.5	5.5	84.9	(-3.2)	<-3.6>	9.6	(2.7)	<1.4>				
パート・バイト・派遣	45.2	40.4	5.8	3.3	5.4	85.6	(-3.5)	<-2.9>	9.1	(2.4)	<1.4>				
その他の職業	40.5	44.5	4.7	3.0	7.4	85.0	(3.3)	<5.4>	7.7	(-1.8)	<-2.8>				
学生	45.0	30.0	12.5	3.8	8.8	75.0	(-15.7)	<-16.0>	16.3	(8.3)	<12.4>				
専業主婦・主夫	54.1	33.9	4.0	3.2	4.9	88.0	(-0.1)	<-2.6>	7.2	(1.9)	<1.2>				
無職	41.7	40.1	5.8	3.9	8.5	81.8	(-0.1)	<-2.1>	9.7	(0.6)	<0.1>				
配偶関係															
未婚	41.9	40.7	5.2	5.3	6.9	82.6	(-0.9)	<-2.6>	10.5	(1.8)	<1.2>				
有配偶	47.8	38.4	5.2	3.3	5.4	86.2	(-1.7)	<-2.8>	8.5	(1.7)	<1.2>				
離別・死別	42.4	38.6	5.8	3.9	9.3	81.0	(-0.3)	<-2.2>	9.7	(0.6)	<-0.6>				
世帯類型															
単独世帯	40.2	37.0	7.2	5.2	10.4	77.2	(-)	<->	12.4	(-)	<->				
一世代世帯	45.4	39.0	5.5	3.4	6.7	84.4	(-)	<->	8.9	(-)	<->				
二世帯世帯	48.4	37.9	5.1	3.3	5.4	86.3	(-)	<->	8.4	(-)	<->				
三世帯世帯	46.7	40.9	4.1	4.1	4.2	87.6	(-)	<->	8.2	(-)	<->				
世帯収入															
~100万円未満	39.4	35.7	5.6	4.7	14.5	75.1	(4.6)	<->	10.3	(-3.4)	<->				
~200万円未満	43.4	38.7	7.2	3.7	7.0	82.1	(3.8)	<->	10.9	(0.2)	<->				
~300万円未満	41.5	41.6	6.1	4.9	5.9	83.1	(-3.0)	<->	11.0	(3.3)	<->				
~400万円未満	46.3	40.5	5.4	4.0	5.8	86.8	(-1.3)	<->	7.5	(0.1)	<->				
~500万円未満	48.9	37.9	4.6	4.0	4.6	86.8	(-1.7)	<->	8.6	(1.9)	<->				
~600万円未満	49.1	39.3	3.3	3.7	4.6	88.4	(-2.2)	<->	7.0	(2.1)	<->				
~800万円未満	49.4	38.8	5.3	2.7	3.7	88.2	(-1.3)	<->	8.0	(2.2)	<->				
~1,000万円未満	46.7	40.0	5.0	3.3	5.0	86.7	(-1.8)	<->	8.3	(1.6)	<->				
1,000万円以上	53.6	35.1	5.1	3.3	3.1	88.7	(-2.2)	<->	8.2	(2.1)	<->				

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (13) 県内の産業活動が活発であると感じますか。

(関連の政策分野：強じんて多様な産業)

県内の産業活動が活発であるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 32.4% で、『実感していない層』の割合 (47.9%) より 15.5 ポイント低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 2.5 ポイント低く、『実感していない層』は 2.4 ポイント高くなっています。

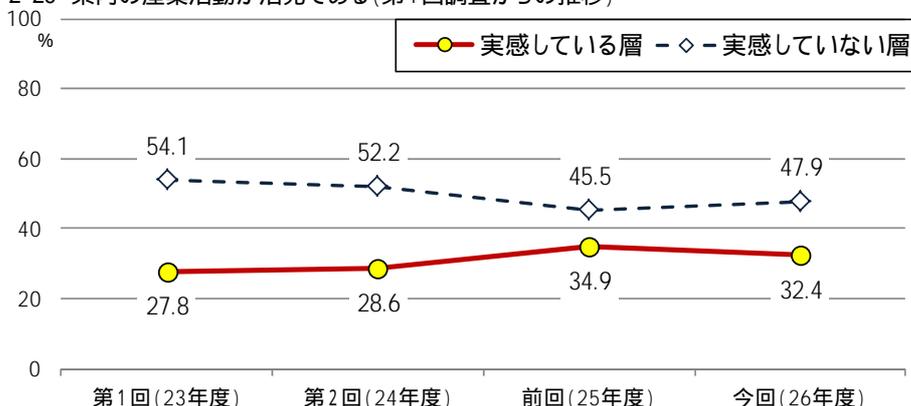
問2の16項目の中では、『実感している層』の減少幅及び『実感していない層』の増加幅が2番目に大きくなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 4.6 ポイント高く、『実感していない層』は 6.2 ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴 (全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等) は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・北勢の『実感している層』は全体より 4.7 ポイント、第1回調査より 5.9 ポイントそれぞれ高い。
- ・東紀州の『実感している層』は全体より 13.1 ポイント、第1回調査より 5.2 ポイントそれぞれ低い。
- ・女性は男性より『実感していない層』が 9.5 ポイント低く、「わからない・不明」が 8.5 ポイント高い。
- ・70歳以上の『実感していない層』は全体より 7.2 ポイント低い。
- ・自営業・自由業の『実感している層』は第1回調査より 8.5 ポイント高い。
- ・正規職員の『実感している層』は第1回調査より 7.8 ポイント高い。
- ・世帯収入が 100 万円未満の層の『実感している層』は前回調査より 9.1 ポイント低い。
- ・世帯収入が 1,000 万円以上の層の『実感している層』は全体より 6.6 ポイント高い。

図表 2-2-26 県内の産業活動が活発である (第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-27 県内の産業活動が活発である(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	4.8	27.6	33.6	14.3	19.7	32.4	(-2.5)	<4.6>	47.9	(2.4)	<-6.2>
地域											
北勢	5.4	31.7	32.1	11.5	19.2	37.1	(-3.0)	<5.9>	43.6	(2.4)	<-8.1>
伊賀	3.1	23.1	35.6	17.3	20.8	26.2	(-2.5)	<4.3>	52.9	(2.9)	<-2.8>
中南勢	4.9	26.8	33.4	14.4	20.5	31.7	(-0.4)	<4.3>	47.8	(1.1)	<-5.8>
伊勢志摩	4.5	22.7	37.1	16.9	18.8	27.2	(-4.3)	<5.0>	54.0	(3.8)	<-6.3>
東紀州	2.6	16.7	33.0	26.6	21.1	19.3	(-2.4)	<-5.2>	59.6	(2.1)	<-0.3>
性別											
男性	4.7	27.3	35.4	18.0	14.6	32.0	(-0.9)	<6.7>	53.4	(0.3)	<-8.8>
女性	5.0	28.0	32.3	11.6	23.1	33.0	(-3.5)	<2.8>	43.9	(4.2)	<-3.3>
年齢											
20歳代	7.5	27.4	32.7	13.0	19.4	34.9	(-2.3)	<3.9>	45.7	(3.8)	<-3.1>
30歳代	5.5	24.9	35.0	18.1	16.4	30.4	(-6.4)	<1.5>	53.1	(9.2)	<-3.5>
40歳代	5.4	28.3	32.8	15.4	18.1	33.7	(-2.8)	<6.7>	48.2	(1.5)	<-10.7>
50歳代	3.4	25.8	37.9	16.6	16.3	29.2	(-3.0)	<3.1>	54.5	(3.3)	<-5.2>
60歳代	3.8	29.0	34.6	14.2	18.7	32.5	(0.7)	<6.9>	48.8	(-1.0)	<-6.9>
70歳以上	5.9	28.8	30.1	10.6	24.6	34.7	(-3.3)	<3.8>	40.7	(3.3)	<-4.8>
主な職業											
農林水産業	6.0	29.8	33.9	12.5	17.8	35.8	(-2.2)	<2.0>	46.4	(3.3)	<-4.8>
自営業・自由業	4.3	29.2	31.6	18.7	16.2	33.5	(0.0)	<8.5>	50.3	(1.0)	<-10.4>
正規職員	5.6	28.5	36.4	16.0	13.6	34.1	(-0.4)	<7.8>	52.4	(0.0)	<-9.4>
パート・バイト・派遣	4.0	26.1	35.4	15.2	19.3	30.1	(-7.0)	<0.0>	50.6	(6.7)	<-2.6>
その他の職業	4.3	22.3	34.6	17.3	21.6	26.6	(-5.6)	<1.6>	51.9	(2.8)	<-2.7>
学生	3.8	35.0	31.3	11.3	18.8	38.8	(-1.2)	<3.7>	42.6	(5.3)	<-10.7>
専業主婦・主夫	4.9	29.8	31.5	10.8	22.9	34.7	(-1.3)	<3.0>	42.3	(3.2)	<-3.1>
無職	4.8	26.5	32.1	12.3	24.4	31.3	(-2.1)	<5.4>	44.4	(1.8)	<-5.3>
配偶関係											
未婚	5.1	22.2	35.9	17.3	19.6	27.3	(-5.4)	<0.3>	53.2	(7.4)	<-3.0>
有配偶	4.9	29.2	34.6	13.8	17.5	34.1	(-1.9)	<5.7>	48.4	(2.0)	<-6.5>
離別・死別	4.9	25.7	27.9	14.7	26.8	30.6	(-2.5)	<4.9>	42.6	(-0.8)	<-6.4>
世帯類型											
単独世帯	4.3	23.5	28.7	15.9	27.6	27.8	(-)	<->	44.6	(-)	<->
一世代世帯	5.0	28.8	33.0	13.8	19.5	33.8	(-)	<->	46.8	(-)	<->
二世帯世帯	4.7	27.6	34.9	14.9	17.8	32.3	(-)	<->	49.8	(-)	<->
三世帯世帯	4.1	30.4	36.1	13.3	16.1	34.5	(-)	<->	49.4	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	4.7	18.3	25.4	16.9	34.7	23.0	(-9.1)	<->	42.3	(6.2)	<->
~200万円未満	3.1	26.7	31.5	15.4	23.4	29.8	(2.6)	<->	46.9	(-1.1)	<->
~300万円未満	4.5	25.8	35.2	14.2	20.2	30.3	(-5.5)	<->	49.4	(4.4)	<->
~400万円未満	6.2	25.7	35.3	15.1	17.8	31.9	(-1.4)	<->	50.4	(2.5)	<->
~500万円未満	4.2	30.3	33.6	15.7	16.2	34.5	(-4.4)	<->	49.3	(1.2)	<->
~600万円未満	4.3	32.6	32.0	15.4	15.7	36.9	(1.7)	<->	47.4	(-1.6)	<->
~800万円未満	6.1	29.7	34.6	14.9	14.7	35.8	(-2.5)	<->	49.5	(3.4)	<->
~1,000万円未満	4.1	29.7	37.6	14.8	13.8	33.8	(-4.1)	<->	52.4	(5.2)	<->
1,000万円以上	7.2	31.8	36.7	12.6	11.8	39.0	(1.0)	<->	49.3	(1.7)	<->

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (14) 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じますか。

(関連の政策分野：雇用の確保)

働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が18.0%で、『実感していない層』の割合(65.5%)より47.5ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が最も低く、『実感していない層』が最も高くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.5ポイント低く、『実感していない層』が0.3ポイント高くなっています。

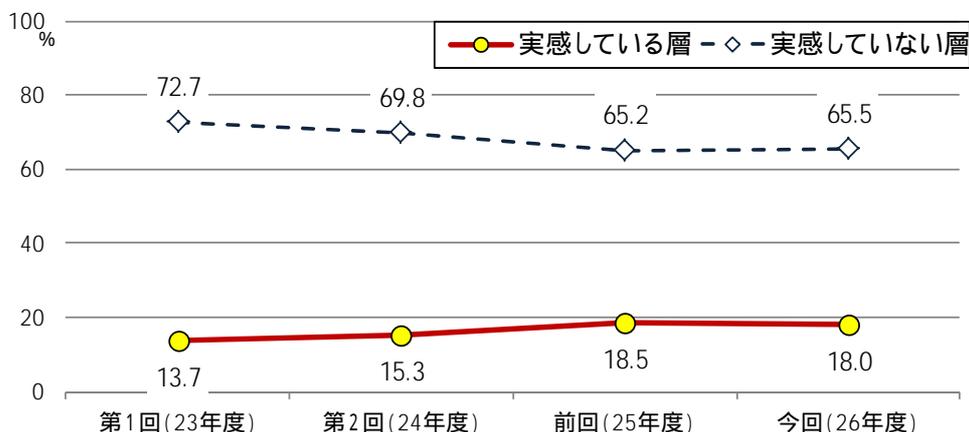
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が4.3ポイント高く、『実感していない層』は7.2ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感していない層』の減少幅が3番目に大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊勢志摩の『実感していない層』は第1回調査より10.9ポイント低い。
- ・東紀州の『実感していない層』は全体より14.8ポイント高い。
- ・40歳代の『実感していない層』は第1回調査より10.8ポイント低い。
- ・農林水産業の『実感している層』は全体より8.2ポイント高い。
- ・正規職員の『実感していない層』は第1回調査より9.0ポイント低い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は全体より7.7ポイント、前回調査より7.4ポイントそれぞれ低い。

図表 2-2-28 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-29 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている(属性別)

	感じる				実感している層			実感していない層			
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	
全体	16.1	32.7	32.8	16.5	18.0	(-0.5)	<4.3>	65.5	(0.3)	<-7.2>	
地域											
北勢	14.3	18.4	33.1	31.1	15.2	20.7	(-0.1)	<4.8>	64.2	(2.1)	<-7.1>
伊賀	14.1	29.7	36.6	18.3	15.4	(0.5)	<6.1>	66.3	(-3.1)	<-7.9>	
中南勢	20	16.4	34.0	29.8	17.7	18.4	(-0.6)	<4.2>	63.8	(-1.3)	<-7.1>
伊勢志摩	13.3	31.0	37.0	17.8	14.1	(-1.9)	<4.4>	68.0	(-1.1)	<-10.9>	
東紀州	5.2	32.2	48.1	13.8	6.1	(-1.2)	<-3.7>	80.3	(2.5)	<2.1>	
性別											
男性	16.5	34.3	33.6	13.8	18.3	(-0.3)	<4.1>	67.9	(-1.0)	<-8.1>	
女性	16.1	31.8	32.2	18.0	18.0	(-0.4)	<4.7>	64.0	(1.2)	<-6.4>	
年齢											
20歳代	4.5	17.0	30.9	15.4	19.5	(-1.9)	<2.0>	65.1	(-4.0)	<-5.4>	
30歳代	17.1	31.0	38.7	11.8	18.5	(-2.9)	<2.5>	69.7	(3.3)	<-3.6>	
40歳代	17.0	34.6	34.9	11.7	18.7	(-0.6)	<6.1>	69.5	(1.9)	<-10.8>	
50歳代	13.9	36.2	37.7	11.1	15.0	(-0.9)	<3.9>	73.9	(1.1)	<-7.5>	
60歳代	13.8	34.5	35.0	15.3	15.1	(-0.9)	<2.7>	69.5	(0.6)	<-3.8>	
70歳以上	3.0	19.2	29.8	26.3	22.2	(2.1)	<6.4>	51.4	(-0.7)	<-10.0>	
主な職業											
農林水産業	3.0	23.2	27.4	17.2	26.2	(3.3)	<6.0>	56.6	(-2.1)	<-7.7>	
自営業・自由業	13.1	33.9	36.1	15.6	14.3	(-2.7)	<1.1>	70.0	(2.6)	<-5.2>	
正規職員	21	19.6	34.6	10.8	21.7	(0.4)	<5.8>	67.5	(-2.3)	<-9.0>	
パート・バイト・派遣	15.2	34.0	39.4	10.0	16.8	(-1.3)	<5.5>	73.4	(4.0)	<-5.7>	
その他の職業	13.6	32.9	37.5	15.0	14.6	(-4.0)	<-0.6>	70.4	(1.5)	<0.0>	
学生	18.8	38.8	15.0	26.3	20.1	(0.1)	<4.5>	53.8	(-14.2)	<-11.2>	
専業主婦・主夫	14.9	31.5	31.5	20.4	16.5	(1.2)	<3.7>	63.0	(-1.2)	<-8.5>	
無職	2.2	14.7	30.6	24.6	16.9	(-0.3)	<4.4>	58.4	(1.3)	<-8.4>	
配偶関係											
未婚	15.1	31.2	37.0	14.9	16.9	(-2.3)	<3.2>	68.2	(0.1)	<-6.5>	
有配偶	16.7	34.5	32.1	15.1	18.3	(-0.4)	<4.4>	66.6	(0.2)	<-7.3>	
離別・死別	2.9	15.6	27.8	21.0	18.5	(1.5)	<5.9>	60.5	(0.1)	<-6.2>	
世帯類型											
単独世帯	2.2	13.9	29.3	23.1	16.1	(-)	<->	60.8	(-)	<->	
一世代世帯	14.7	33.4	31.3	19.2	16.1	(-)	<->	64.7	(-)	<->	
二世帯世帯	16.6	34.1	34.1	13.6	18.3	(-)	<->	68.2	(-)	<->	
三世帯世帯	19.6	31.9	33.3	13.5	21.4	(-)	<->	65.2	(-)	<->	
世帯収入											
~100万円未満	2.8	8.0	25.4	24.4	10.3	(-7.4)	<->	65.3	(11.1)	<->	
~200万円未満	13.0	29.8	35.8	20.2	14.2	(0.9)	<->	65.6	(-2.1)	<->	
~300万円未満	2	13.3	29.7	17.0	15.5	(1.6)	<->	67.5	(-1.5)	<->	
~400万円未満	4.0	15.7	34.8	14.8	17.7	(-0.9)	<->	67.5	(0.5)	<->	
~500万円未満	13.7	36.6	37.5	11.3	14.6	(-4.3)	<->	74.1	(3.6)	<->	
~600万円未満	16.7	33.7	32.2	16.2	17.8	(-1.4)	<->	65.9	(-1.7)	<->	
~800万円未満	20.1	34.9	32.0	12.2	21.0	(-1.5)	<->	66.9	(3.3)	<->	
~1,000万円未満	2.2	20.1	39.5	11.5	22.3	(-0.9)	<->	66.3	(3.5)	<->	
1,000万円以上	2.1	25.9	37.4	11.0	28.0	(2.9)	<->	61.0	(-1.9)	<->	

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (15) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じますか。

(関連の政策分野：世界に開かれた三重)

国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が28.3%で、『実感していない層』の割合(52.1%)より23.8ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が3番目に低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が4.5ポイント低く、『実感していない層』は3.3ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の減少幅と『実感していない層』の増加幅が最も大きくなっています。

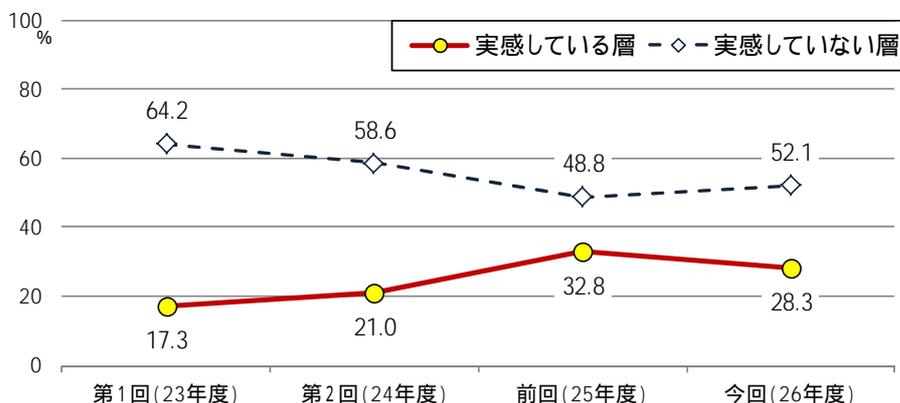
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が11.0ポイント高く、『実感していない層』は12.1ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅と『実感していない層』の減少幅が最も大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊勢志摩の『実感している層』は前回調査より9.0ポイント低いが、第1回調査より14.0ポイント高く、全体よりも3.0ポイント高い。
- ・女性の『実感していない層』は男性より8.1ポイント低い。
- ・30歳代の『実感していない層』は全体より9.2ポイント、前回調査より10.1ポイントそれぞれ高い。
- ・70歳以上の『実感していない層』は全体より11.4ポイント、第1回調査より10.0ポイントそれぞれ低い。
- ・学生の『実感している層』は全体より4.5ポイント、前回調査より17.5ポイントそれぞれ低い。

図表 2-2-30 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-31 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	3.7	24.6	30.8	21.3	19.6	28.3	(-4.5)	<11.0>	52.1	(3.3)	<-12.1>
地域											
北勢	3.5	23.2	31.5	23.6	18.2	26.7	(-5.0)	<9.5>	55.1	(3.9)	<-10.3>
伊賀	2.5	21.2	31.6	22.7	21.9	23.7	(-3.9)	<9.4>	54.3	(0.8)	<-12.2>
中南勢	4.3	27.5	30.6	18.1	19.4	31.8	(-2.0)	<12.8>	48.7	(2.0)	<-13.1>
伊勢志摩	4.2	27.1	28.8	18.6	21.3	31.3	(-9.0)	<14.0>	47.4	(6.3)	<-17.4>
東紀州	2.1	20.6	28.8	24.0	24.5	22.7	(-2.2)	<8.9>	52.8	(3.0)	<-8.4>
性別											
男性	2.9	23.9	32.3	24.6	16.2	26.8	(-3.5)	<10.9>	56.9	(2.4)	<-11.9>
女性	4.4	25.3	30.0	18.8	21.4	29.7	(-5.2)	<11.1>	48.8	(4.4)	<-11.9>
年齢											
20歳代	4.5	24.7	31.7	26.7	12.5	29.2	(-6.1)	<11.1>	58.4	(6.9)	<-11.6>
30歳代	3.4	20.9	32.0	29.3	14.4	24.3	(-8.3)	<6.5>	61.3	(10.1)	<-8.8>
40歳代	3.7	25.3	31.9	22.7	16.4	29.0	(-5.9)	<11.9>	54.6	(2.4)	<-14.7>
50歳代	2.1	25.1	32.5	23.6	16.7	27.2	(-5.3)	<13.2>	56.1	(4.5)	<-16.4>
60歳代	3.0	24.9	32.1	21.2	18.8	27.9	(-0.8)	<11.7>	53.3	(0.5)	<-10.1>
70歳以上	5.5	25.6	27.8	12.9	28.1	31.1	(-4.5)	<10.0>	40.7	(3.7)	<-10.0>
主な職業											
農林水産業	3.6	28.0	30.4	17.9	20.2	31.6	(-5.2)	<9.5>	48.3	(0.6)	<-12.7>
自営業・自由業	3.1	26.5	26.1	25.3	19.1	29.6	(-1.3)	<14.0>	51.4	(2.7)	<-16.2>
正規職員	3.1	25.9	30.2	26.5	14.3	29.0	(-3.7)	<13.5>	56.7	(0.3)	<-16.0>
パート・アルバイト派遣	3.2	24.1	32.6	22.0	18.1	27.3	(-6.8)	<10.0>	54.6	(6.8)	<-11.3>
その他の職業	2.0	23.6	29.9	22.6	21.9	25.6	(-7.7)	<11.8>	52.5	(0.5)	<-16.6>
学生	3.8	20.0	42.5	26.3	7.5	23.8	(-17.5)	<4.3>	68.8	(18.1)	<-1.2>
専業主婦・主夫	4.9	24.7	33.1	18.2	19.2	29.6	(-4.6)	<11.8>	51.3	(6.7)	<-10.7>
無職	4.3	22.9	30.6	16.1	26.1	27.2	(-3.1)	<7.7>	46.7	(2.9)	<-7.2>
配偶関係											
未婚	3.6	20.7	31.9	28.4	15.5	24.3	(-7.5)	<6.8>	60.3	(9.5)	<-8.8>
有配偶	3.6	26.0	31.6	21.0	17.8	29.6	(-4.1)	<12.5>	52.6	(2.7)	<-12.8>
離別・死別	4.3	22.2	27.9	17.4	28.2	26.5	(-4.0)	<7.7>	45.3	(0.3)	<-8.8>
世帯類型											
単独世帯	4.6	19.8	29.1	20.2	26.3	24.4	(-)	<>	49.3	(-)	<>
一世代世帯	3.8	25.7	30.6	19.3	20.5	29.5	(-)	<>	49.9	(-)	<>
二世帯世帯	3.3	25.1	32.2	22.5	16.9	28.4	(-)	<>	54.7	(-)	<>
三世帯世帯	2.7	26.9	29.0	24.1	17.3	29.6	(-)	<>	53.1	(-)	<>
世帯収入											
~100万円未満	5.6	15.5	24.9	18.8	35.2	21.1	(-7.5)	<>	43.7	(2.7)	<>
~200万円未満	4.9	21.2	30.7	17.5	25.7	26.1	(-2.2)	<>	48.2	(2.0)	<>
~300万円未満	4.8	23.3	30.9	19.1	21.8	28.1	(-6.2)	<>	50.0	(1.8)	<>
~400万円未満	3.2	25.5	33.0	22.1	16.1	28.7	(-4.0)	<>	55.1	(3.5)	<>
~500万円未満	1.1	28.2	35.2	21.3	13.4	30.1	(-1.4)	<>	56.5	(4.2)	<>
~600万円未満	2.0	26.7	29.6	23.5	18.1	28.7	(-8.8)	<>	53.1	(4.5)	<>
~800万円未満	2.5	27.3	33.3	21.8	15.1	29.8	(-3.4)	<>	55.1	(4.2)	<>
~1,000万円未満	3.3	25.6	31.6	24.9	14.6	28.9	(-7.7)	<>	56.5	(4.8)	<>
1,000万円以上	5.4	29.2	30.8	23.8	10.8	34.6	(0.2)	<>	54.6	(0.2)	<>

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (16) 道路や公共交通機関等が整っていると感じますか。

(関連の政策分野：安心と活力を生み出す基盤)

道路や公共交通機関等が整っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が43.1%で、『実感していない層』の割合(49.2%)より6.1ポイント低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.8ポイント高く、『実感していない層』は3.4ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅と『実感していない層』の減少幅が最も大きくなっています。

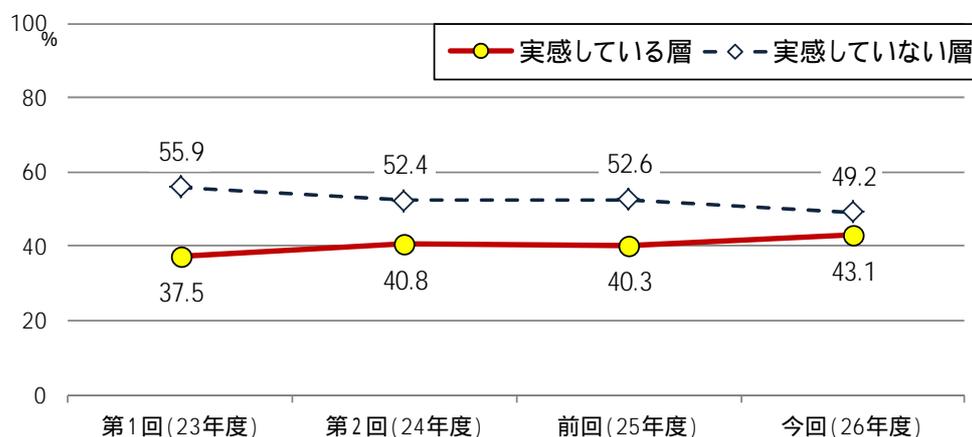
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が5.6ポイント高く、『実感していない層』は6.7ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅が3番目に大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感している層』は全体より13.8ポイント低い。
- ・東紀州の『実感していない層』は第1回調査より19.7ポイント低い。
- ・農林水産業の『実感していない層』は第1回調査より14.1ポイント低い。
- ・パート・バイト・派遣の『実感している層』は全体より4.7ポイント低い。
- ・学生の『実感していない層』は前回調査より10.4ポイント、第1回調査より22.2ポイントそれぞれ低い。
- ・世帯収入が500万円以上600万円未満の層の『実感していない層』は前回調査より10.0ポイント低い。

図表 2-2-32 道路や公共交通機関等が整っている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-33 道路や公共交通機関等が整っている(属性別)

□感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明						実感している層			実感していない層		
						今回	(前回差)	<第1回差>	今回	(前回差)	<第1回差>
						%	ポイント	ポイント	%	ポイント	ポイント
全体	6.7	36.4	26.3	22.9	7.6	43.1	(2.8)	<5.6>	49.2	(-3.4)	<-6.7>
地域											
北勢	7.3	39.3	24.7	22.8	5.9	46.6	(3.7)	<4.3>	47.5	(-2.7)	<-4.8>
伊賀	3.9	25.4	32.8	28.9	9.0	29.3	(0.9)	<3.8>	61.7	(-2.3)	<-6.4>
中南勢	7.1	38.7	25.3	20.5	8.4	45.8	(3.7)	<5.9>	45.8	(-5.3)	<-6.3>
伊勢志摩	5.7	33.6	27.5	23.5	9.8	39.3	(2.0)	<8.6>	51.0	(-4.0)	<-10.1>
東紀州	7.7	25.8	30.9	25.8	9.9	33.5	(-5.8)	<14.8>	56.7	(4.2)	<-19.7>
性別											
男性	6.4	38.4	25.1	24.1	5.9	44.8	(4.6)	<6.9>	49.2	(-5.9)	<-8.3>
女性	7.0	35.1	27.5	22.1	8.3	42.1	(1.5)	<4.9>	49.6	(-1.4)	<-5.1>
年齢											
20歳代	8.5	34.9	24.9	26.4	5.2	43.4	(4.9)	<5.2>	51.3	(-5.5)	<-5.0>
30歳代	6.8	35.6	26.1	26.4	5.1	42.4	(2.3)	<4.9>	52.5	(-1.1)	<-7.2>
40歳代	5.6	34.3	30.1	24.0	5.8	39.9	(0.0)	<4.1>	54.1	(-1.2)	<-4.9>
50歳代	5.2	34.1	28.8	25.9	6.0	39.3	(4.2)	<3.5>	54.7	(-4.8)	<-5.4>
60歳代	5.6	39.2	25.8	21.7	7.7	44.8	(3.9)	<7.3>	47.5	(-4.8)	<-8.9>
70歳以上	9.2	38.3	23.6	18.6	10.3	47.5	(1.9)	<7.7>	42.2	(-1.5)	<-5.7>
主な職業											
農林水産業	9.5	35.7	22.6	19.6	12.5	45.2	(3.8)	<8.6>	42.2	(-7.2)	<-14.1>
自営業・自由業	9.0	37.8	24.2	21.1	7.8	46.8	(7.4)	<4.7>	45.3	(-8.2)	<-6.9>
正規職員	5.6	36.2	27.1	26.3	4.7	41.8	(3.1)	<3.2>	53.4	(-3.6)	<-5.0>
パート・アルバイト・派遣	5.1	33.3	28.1	26.7	6.9	38.4	(-0.7)	<1.8>	54.8	(0.6)	<-3.5>
その他の職業	5.0	35.5	29.6	21.9	8.0	40.5	(2.0)	<7.7>	51.5	(-4.9)	<-7.8>
学生	12.5	46.3	21.3	15.0	5.0	58.8	(8.2)	<19.8>	36.3	(-10.4)	<-22.2>
専業主婦・主夫	7.3	35.5	28.2	21.8	7.2	42.8	(1.9)	<8.3>	50.0	(0.1)	<-7.8>
無職	7.3	38.8	24.2	19.5	10.3	46.1	(2.6)	<8.7>	43.7	(-4.6)	<-8.4>
配偶関係											
未婚	8.2	32.5	26.4	26.7	6.2	40.7	(1.1)	<1.7>	53.1	(-0.3)	<-2.4>
有配偶	6.3	38.0	26.8	22.4	6.5	44.3	(3.6)	<6.7>	49.2	(-4.2)	<-7.4>
離別・死別	7.4	33.8	25.2	22.7	10.8	41.2	(1.8)	<4.8>	47.9	(-2.2)	<-5.3>
世帯類型											
単独世帯	5.7	30.9	27.0	25.2	11.3	36.6	(-)	<>	52.2	(-)	<>
一世代世帯	6.3	38.0	24.6	23.5	7.6	44.3	(-)	<>	48.1	(-)	<>
二世帯世帯	6.2	35.9	27.8	23.4	6.6	42.1	(-)	<>	51.2	(-)	<>
三世帯世帯	6.7	39.5	28.0	20.5	5.3	46.2	(-)	<>	48.5	(-)	<>
世帯収入											
~100万円未満	8.5	29.6	22.5	24.9	14.5	38.1	(-2.9)	<>	47.4	(6.9)	<>
~200万円未満	8.0	34.0	25.7	23.5	8.7	42.0	(4.7)	<>	49.2	(-2.7)	<>
~300万円未満	6.7	38.4	25.4	22.0	7.4	45.1	(4.9)	<>	47.4	(-5.9)	<>
~400万円未満	7.8	34.0	29.6	22.1	6.5	41.8	(-2.1)	<>	51.7	(0.6)	<>
~500万円未満	5.8	38.0	28.9	23.2	4.0	43.8	(2.2)	<>	52.1	(-1.8)	<>
~600万円未満	5.6	40.6	22.8	23.5	7.6	46.2	(6.8)	<>	46.3	(-10.0)	<>
~800万円未満	5.6	39.7	26.3	23.7	4.7	45.3	(5.8)	<>	50.0	(-5.0)	<>
~1,000万円未満	6.2	35.6	28.9	23.4	5.7	41.8	(0.2)	<>	52.3	(-1.4)	<>
1,000万円以上	6.2	36.9	29.2	23.6	4.1	43.1	(1.4)	<>	52.8	(-3.0)	<>

世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

3. ご家族に関すること

これまでの調査で家族と県民の幸福実感には密接な関連が見られることがわかりました。これまでは、主に結婚、子どもという面から分析をしてきましたが、高齢者介護の問題など、異なる視点から分析をしていくことも必要と考えています。

ここでは、「ご家族に関すること」をテーマとして質問した「同居の家族の人数」、「介護が必要な家族の有無」、「近所付き合いや地域での活動の状況」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
同居の家族の人数	・現在、一緒に暮らしているご家族は、あなた自身をふくめて全員で何人ですか。 (問3)
同居の家族との関係	・現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたから見てどのような関係ですか。 (問4)
別居の家族の有無	・ご家族のうち、単身赴任など一時的に別に生活している方はいますか。 (問5) (別居の家族がいらっしゃる方へ) ・その方は、あなたから見てどのような関係ですか。 (問5 - 2)
介護が必要な家族の有無	・現在、あなたをふくめて、ご家族のうち、介護が必要な方はいますか。 (問6)
子どもの人数	・お子さんは何人いらっしゃいますか。 (問7)
近所付き合いや地域での活動の状況	・あなたは、日ごろ、ご近所付き合いや地域での活動(自治会、青年団、子供会など)をされていますか。 (問8)

現在、一緒に暮らしているご家族は、あなた自身をふくめて全員で何人ですか。一人暮らしの方は「1」とご記入ください。

問3

➤ 同居の家族の人数

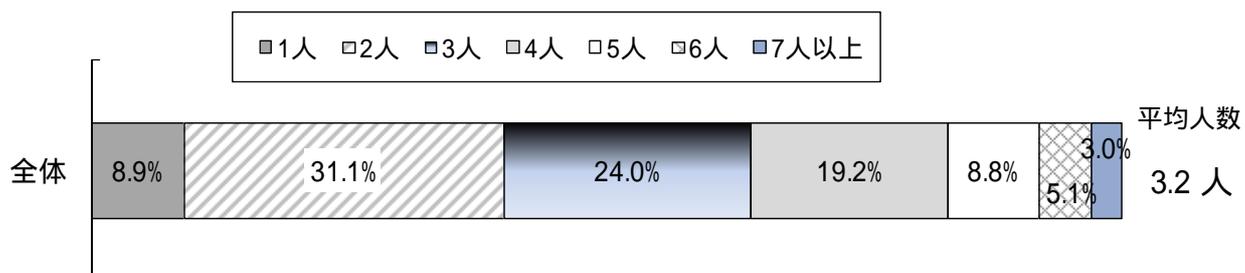
同居する家族の数を質問したところ、「2人」の割合が31.1%で最も高く、次いで「3人」(24.0%)、「4人」(19.2%)、「1人」(8.9%)、「5人」(8.8%)の順となっています。

また、家族の平均人数はご自身も含め3.2人となっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

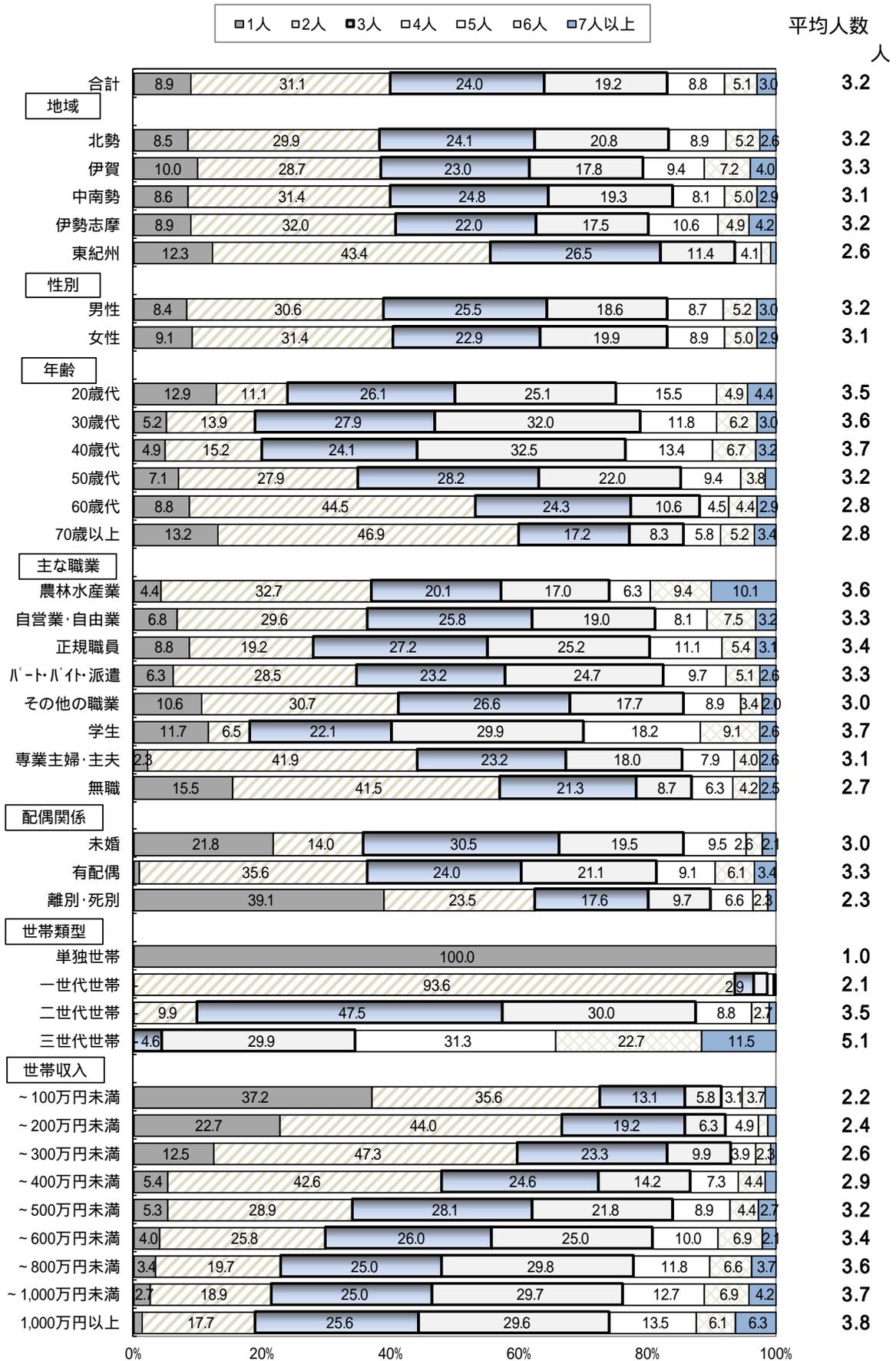
- ・東紀州は「1人」の割合が全体より3.4ポイント、「2人」の割合が全体より12.3ポイント、「3人」の割合が全体より2.5ポイントそれぞれ高く、地域別では最も高い。
- ・60歳代は「1人」と「2人」を合計した割合が50%を超え、70歳以上は「1人」と「2人」を合計した割合が60%を超えている。
- ・世帯収入の階層が高いほど、「1人」の割合及び「1人」と「2人」を合計した割合が低い。

図表 2-3-1 同居の家族の人数



「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出しています。

図表 2-3-2 同居の家族の人数(属性別)



「不明」(未回答など)を除いて回答割合を算出しています。

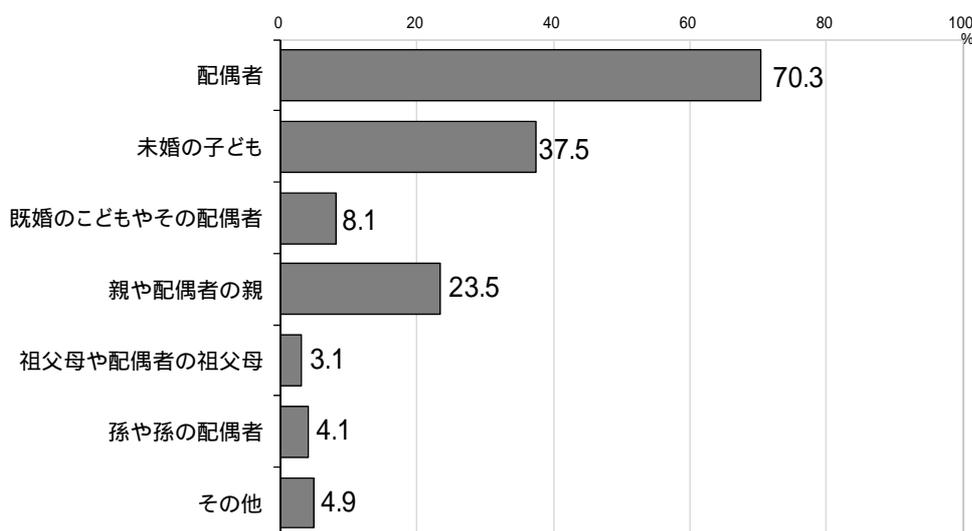
現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたから見てどのような関係ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。(はいくつでも)

問4

➤ 同居の家族との関係

同居している家族との関係を質問したところ、「配偶者」の割合が70.3%で最も高く、次いで「未婚の子ども」(37.5%)、「親や配偶者の親」(23.5%)となっています。

図表 2-3-3 一緒に暮らしている家族(世帯年収別)



ご家族のうち、単身赴任など一時的に別に生活している方はいますか。(○は1つだけ)

問5

(問5で「一時的に別に生活している家族がいる」と回答した方に)

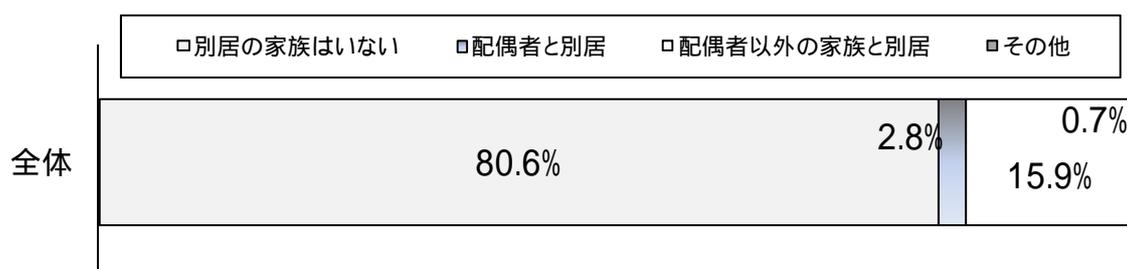
その方は、あなたから見てどのような関係ですか。

問5 - 2

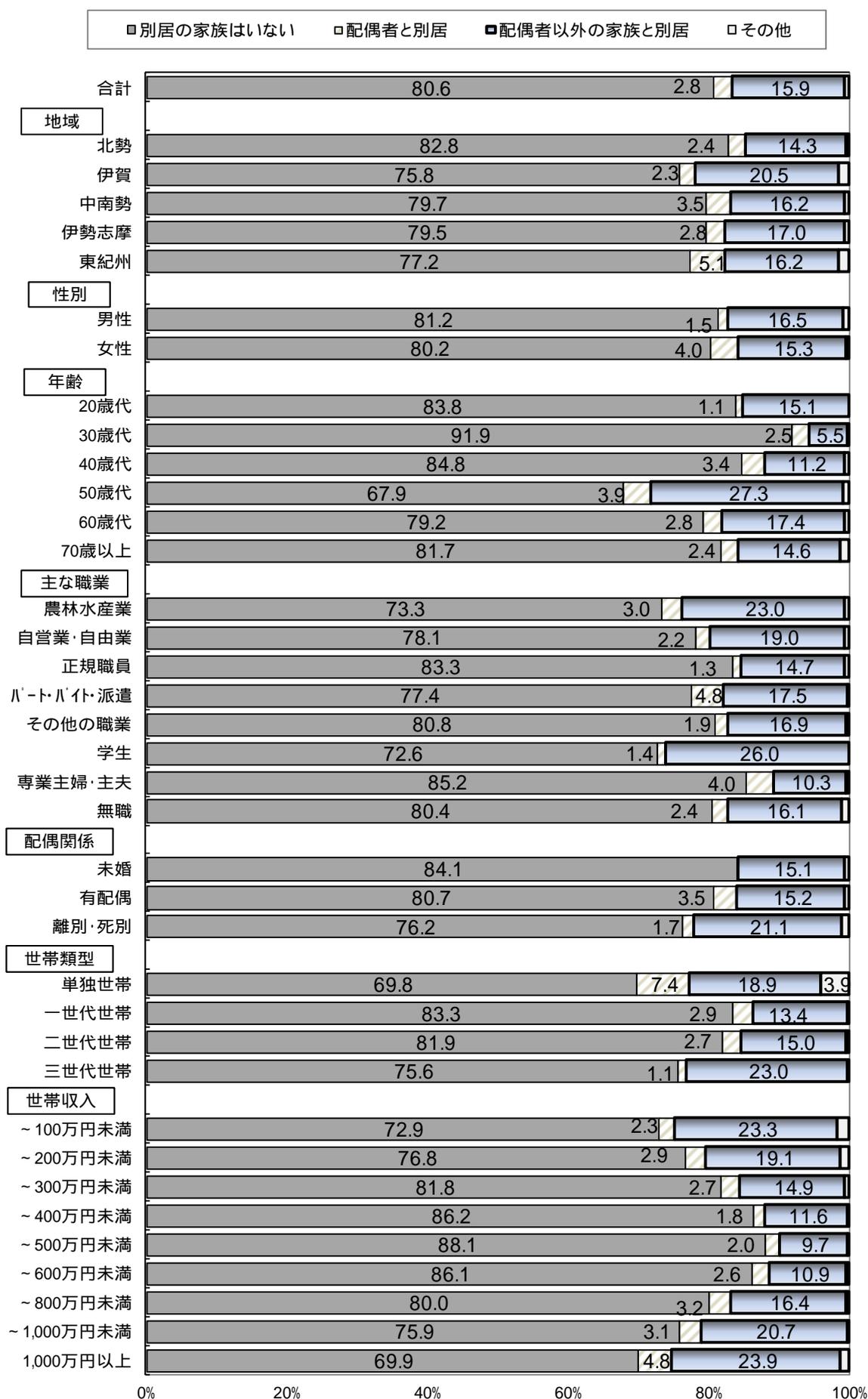
➤ 別居の家族の有無とその関係

別居の家族の有無と別居家族との関係を質問したところ、「一時的に別に生活している家族がない」の割合が80.6%、「配偶者と別居」が2.8%、「配偶者以外の家族と別居」が15.9%となっています。

図表 2-3-4 別居の家族の有無、関係



図表 2-3-5 別居の家族の有無、関係(属性別)



現在、あなたをふくめて、ご家族のうち、介護が必要な方はいますか。(○は1つだけ)

問6

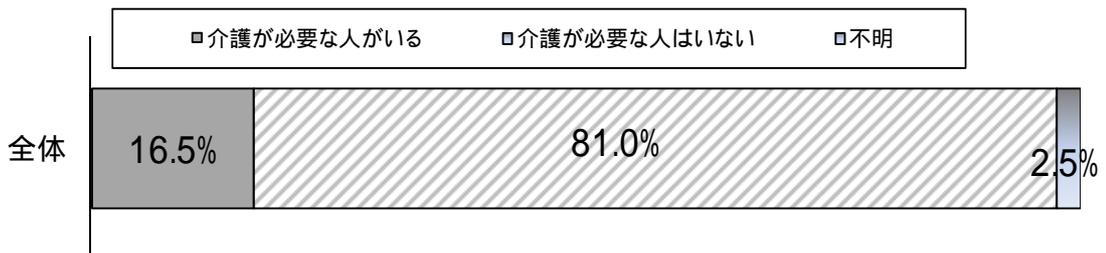
➤ 介護が必要な家族の有無

介護が必要な方の有無を質問したところ、「介護が必要な人がいる」の割合が 16.5%、「介護が必要な人はいない」が 81.0%で、「介護が必要な人はいない」の割合が高くなっています。

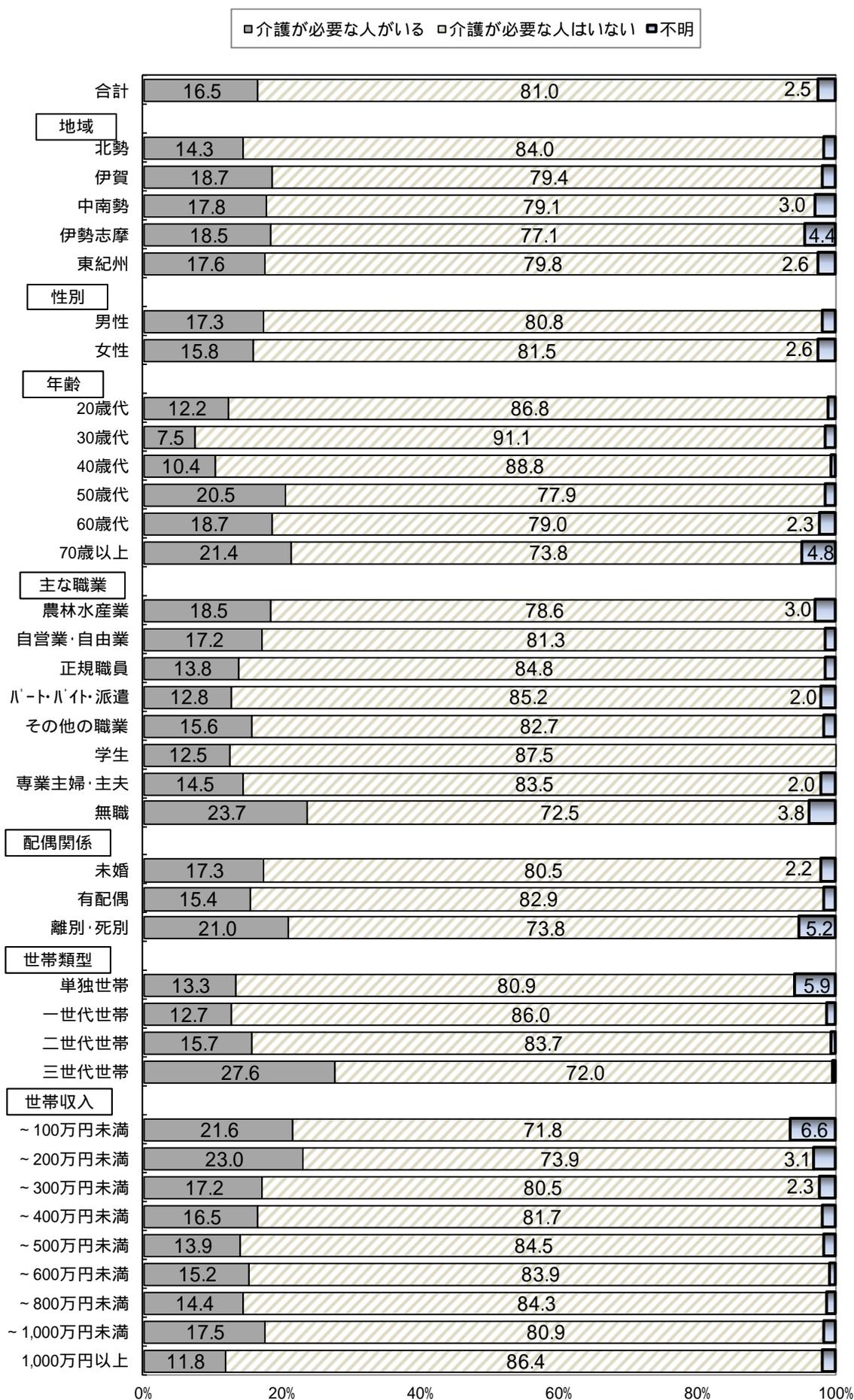
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・ 50 歳代以上は「介護が必要な人がいる」の割合が全体より 2 ポイント以上高く、50 歳代と 70 歳以上は 20%を超えている。
- ・ 無職は「介護が必要な人がいる」の割合が 23.7%で、全体より 7.2 ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・ 離別・死別は「介護が必要な人がいる」の割合が 21.0%で、全体より 4.5 ポイント高く、配偶関係では最も高い。
- ・ 三世帯世帯は「介護が必要な人がいる」の割合が 27.6%で、全体より 11.1 ポイント高く、属性項目の中で最も高い。

図表 2-3-6 介護が必要な家族の有無



図表 2-3-7 介護が必要な家族の有無(属性別)



お子さんは何人いらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。いない方は「0」とご記入ください。いない方は「0」とお答えください。

問7

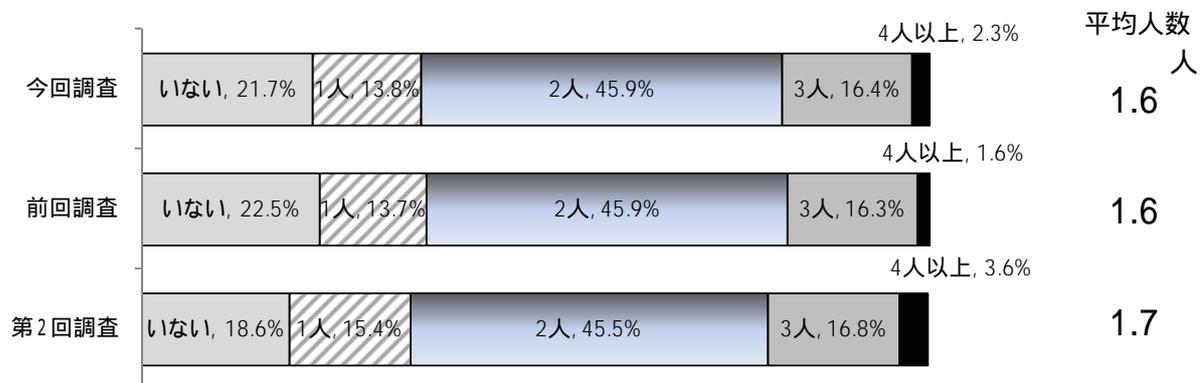
➤ 子どもの人数

子どもの人数は、「2人」が45.9%、「いない」が21.7%、「3人」が16.4%、「1人」が13.8%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.6人となっています。

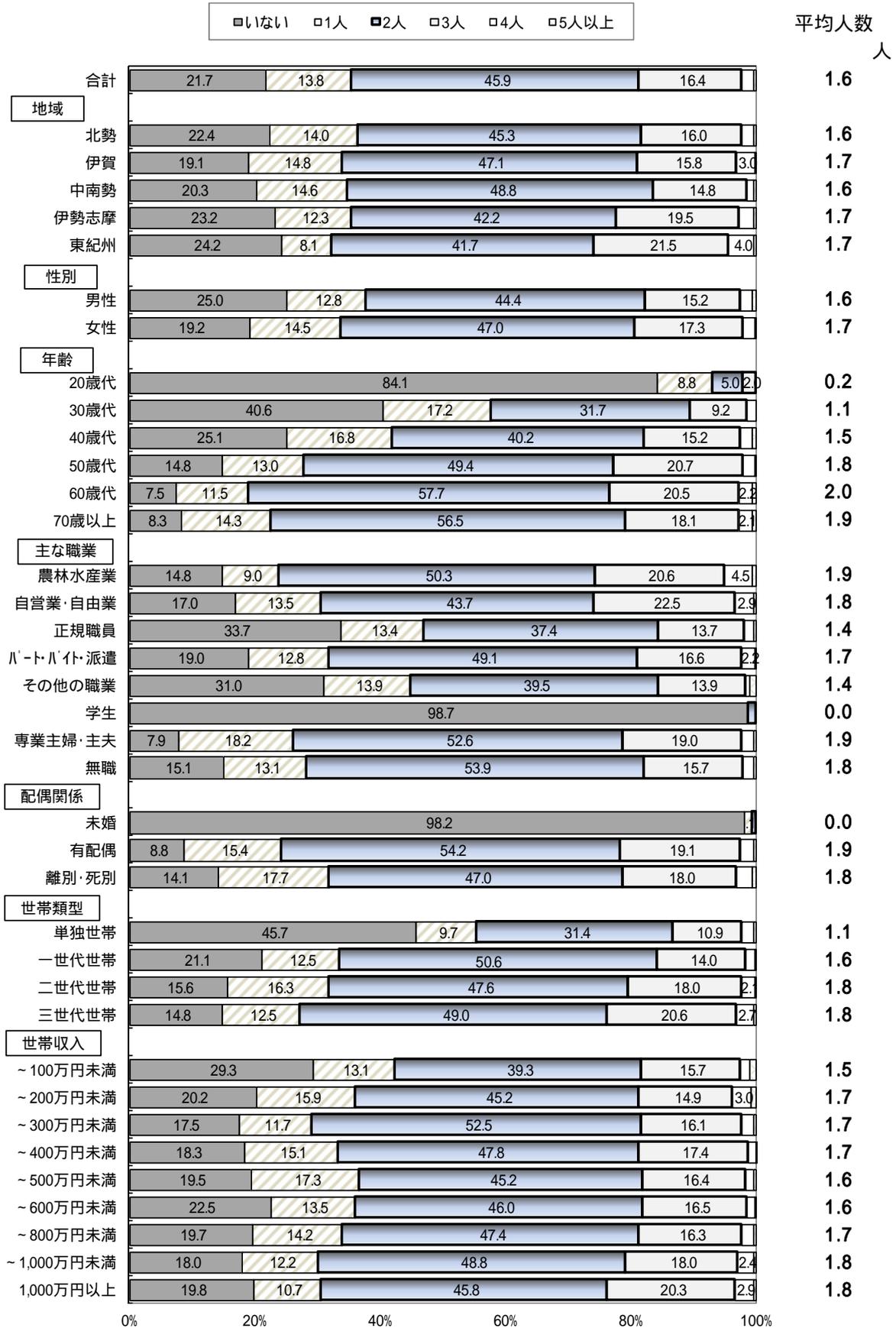
また、子どもの人数については、第2回調査以降、継続して質問していますが、大きな変化は見られません。

図表 2-3-8 子どもの人数



「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出しています。

図表 2-3-9 子どもの人数(属性別)



「不明」(未回答など)を除いて回答割合を算出しています。

あなたは、日ごろ、ご近所付き合いや地域での活動（自治会、青年団、子供会など）をされていますか。次の中から、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。（は1つだけ）

問8

➤ 近所付き合いや地域での活動の状況

近所付き合いや地域での活動の状況を質問したところ、「している」と「どちらかといえばしている」を合計した『肯定的回答』の割合が 55.3%で、「していない」と「どちらかといえばしていない」を合計した『否定的回答』の割合（40.8%）より 14.5 ポイント高くなっています。

第1回調査と比較すると『肯定的回答』の割合が 0.4 ポイント低く、『否定的回答』の割合は 2.0 ポイント高くなっています。

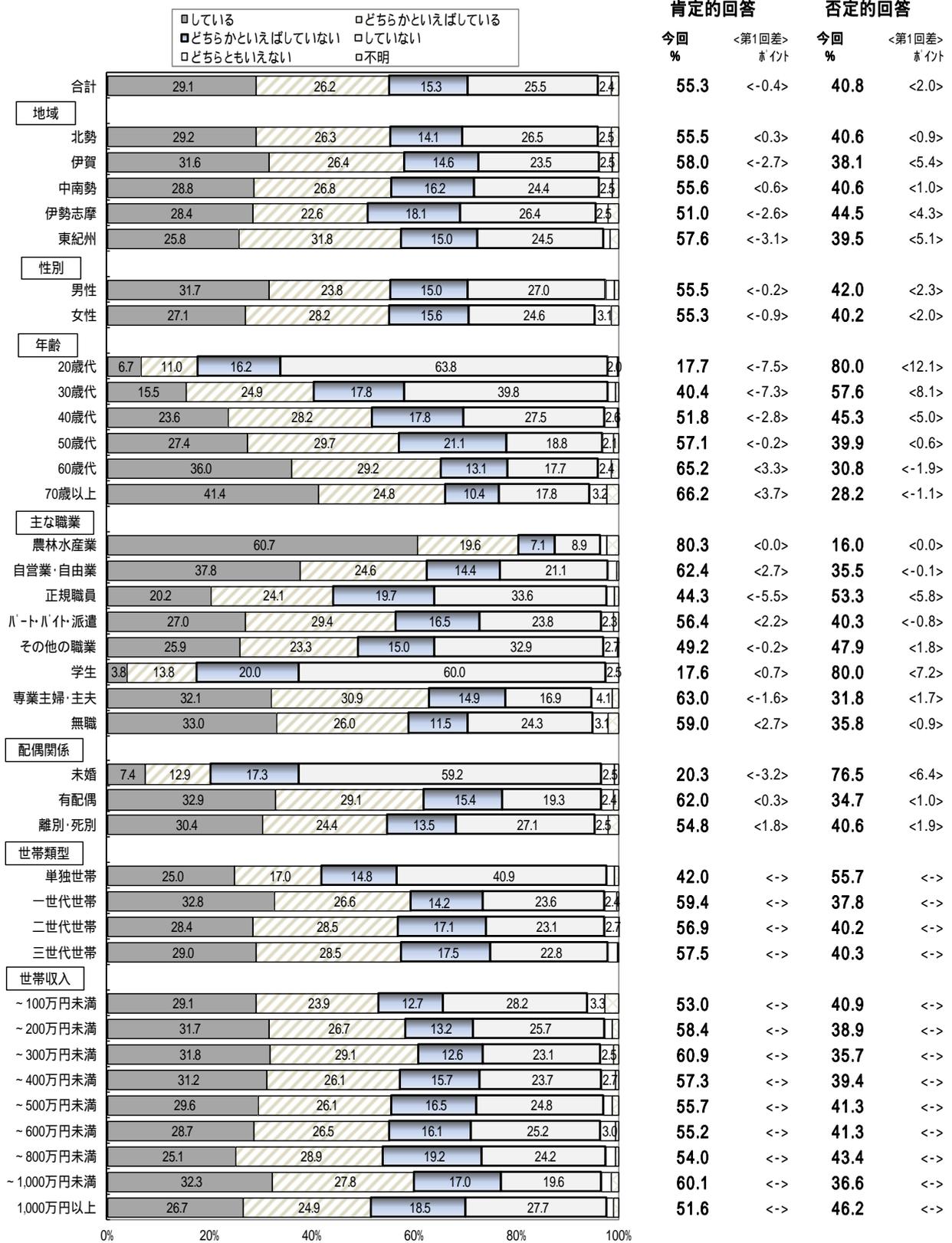
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・年齢層が上がるほど「している」と「どちらかといえばしている」を合計した『肯定的回答』の割合が高い。
- ・農林水産業は『肯定的回答』の割合が 80.3%で、全体より 25.0 ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・正規職員は『肯定的回答』の割合が 44.3%で、全体より 11.0 ポイント低い。
- ・未婚は『肯定的回答』の割合が 20.3%で、全体より 35.0 ポイント低く、配偶関係では最も低い。

図表 2-3-10 近所付き合いや地域での活動の状況



図表 2-3-11 近所付き合いや地域での活動の状況(属性別)



4．仕事や収入に関すること

これまでの調査で就労や収入と県民の幸福実感には関連があり、男性は就労の不安定さや収入の少なさが結婚のハードルとなること、高齢者や専業主婦の高い就労意欲などが見られました。県民の幸福実感向上のためには、就労と収入それぞれがどのように幸福実感と関連するかなどの分析も必要と考えています。また、これら分析は人口減少問題、特に社会減の課題である「働く場」の議論にも資すると考えられます。

ここでは、「仕事や収入に関すること」をテーマとして質問した「希望する就業時間」、「働くにあたって重視すること」、「生活費の不足感」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
希望する就業時間	・もしあなたが希望する時間だけ働く（収入のある仕事をする）ことができるとすれば、あなたは一週間に何時間くらい働きたいですか。現在働いている方も、そうでない方も全員お答えください。（問9）
働くにあたって重視すること	・あなたが働く（収入のある仕事をする）にあたり、最も重視することは何ですか。現在働いている方も、そうでない方も、全員お答えください。（問10）
生活費の不足感	・あなたは、生活費が足りないと感じる時はありますか。（問11）
主な職業	・あなたの主な職業は何ですか。（問12）
実際の就業時間	・通常、一週間に働く時間（残業時間を含み、通勤時間は除く）はどのくらいですか。（問12-2）
個人の年間収入	・あなたご自身の年間収入（税込み）はどのくらいですか。（問12-3）

もしあなたが希望する時間だけ働く（収入のある仕事をする）ことができるとすれば、あなたは一週間に何時間くらい働きたいですか。現在働いている方も、そうでない方も全員お答えください。
（ は1つだけ） （問9）

➤ 希望する就業時間

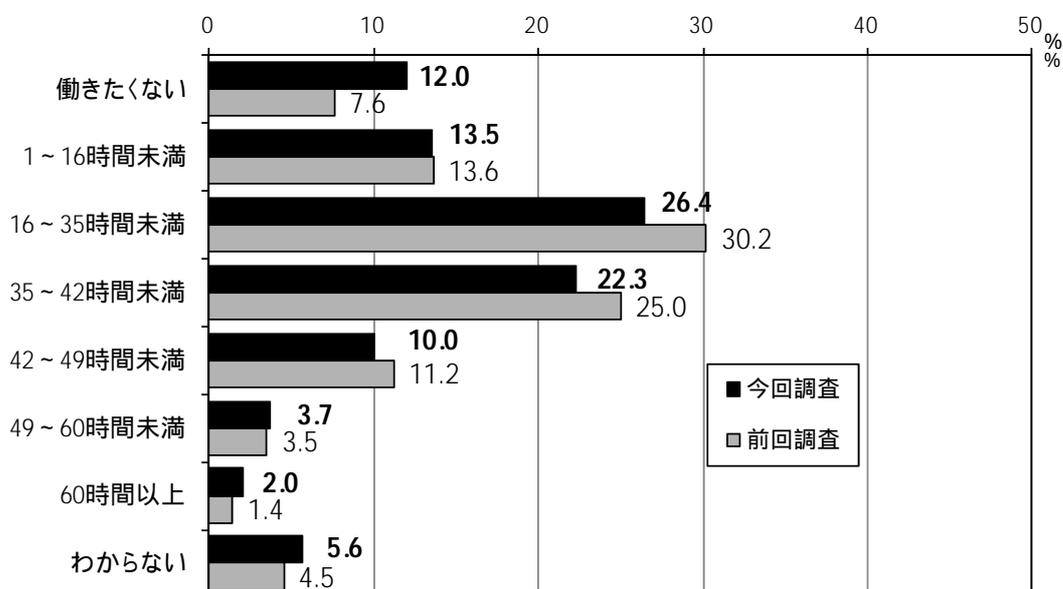
希望する就業時間（1週間）を現在働いていない方も含め全員に質問したところ、「16～35時間未満」の割合が26.4%で最も高く、次いで「35～42時間未満」（22.3%）、「1～16時間未満」（13.5%）の順となっています。また、「働きたくない」の割合は12.0%、「60時間以上」は2.0%となっています。

前回調査と比較すると、「16～35時間未満」が3.8ポイント、「35～42時間未満」が2.7ポイントそれぞれ低くなり、「働きたくない」が4.4ポイント高くなっています。

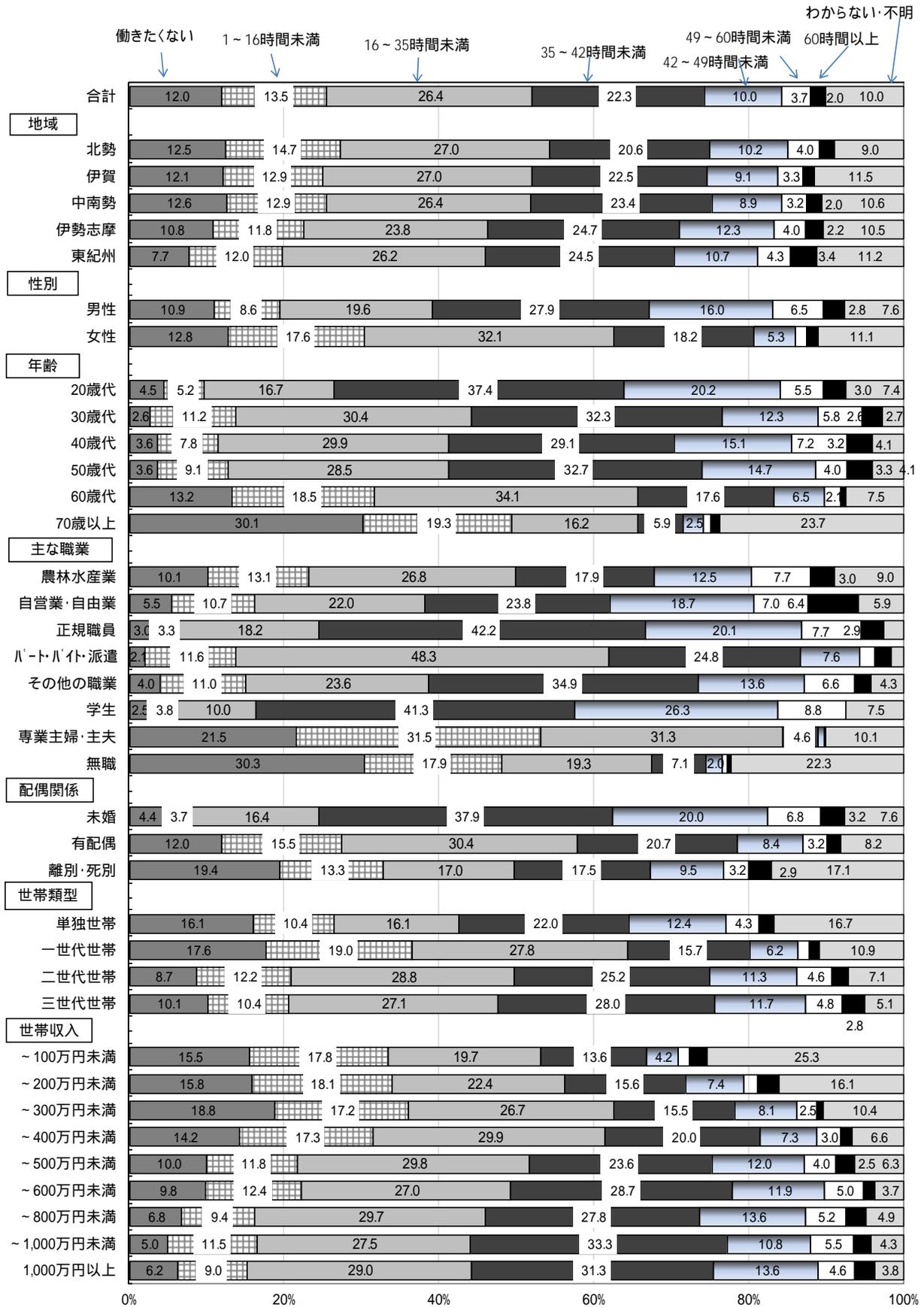
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・男性は「35～42時間未満」が27.9%で最も高く、次いで「16～35時間未満」（19.6%）、「42～49時間未満」（16.0%）の順。
- ・女性は「16～35時間未満」が32.1%で最も高く、次いで「35～42時間未満」（18.2%）、「1～16時間未満」（17.6%）の順。
- ・パート・バイト・派遣は「16～35時間未満」が48.3%で最も高く、次いで「35～42時間未満」（24.8%）、「1～16時間未満」（11.6%）の順。
- ・専業主婦・主夫は「1～16時間未満」が31.5%で最も高く、次いで「16～35時間未満」（31.3%）、「働きたくない」（21.5%）の順。
- ・無職は「働きたくない」が30.3%で最も高く、次いで「16～35時間未満」（19.3%）、「1～16時間未満」（17.9%）の順。

図表 2-4-1 希望する就業時間



図表 2-4-2 希望する就業時間(属性別)



あなたが働く（収入のある仕事をする）にあたり、最も重視することは何ですか。あなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。現在働いている方も、そうでない方も、全員お答えください。（ は2つまで） (問10)

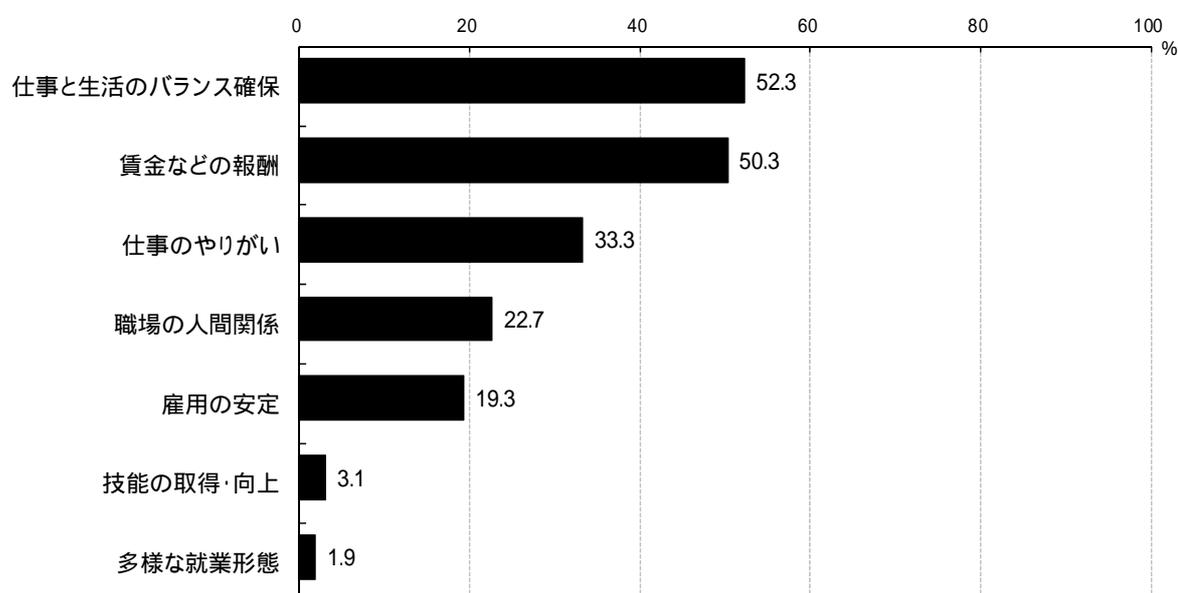
➤ 働くにあたって重視すること

働くにあたって重視することについて質問したところ、「仕事と生活のバランス確保」の割合が52.3%と最も高く、次いで「賃金などの報酬」(50.3%)、「仕事のやりがい」(33.3%)となっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・女性は「仕事と生活のバランス確保」(59.1%)が男性より14.8ポイント、「職場の人間関係」(27.5%)が10.3ポイントそれぞれ高く、「賃金などの報酬」(46.5%)が8.4ポイント、「仕事のやりがい」(28.4%)が10.3ポイントそれぞれ低い。
- ・正規職員は「賃金などの報酬」(63.6%)が全体より13.3ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・専業主婦・主夫は「仕事と生活のバランス確保」(68.1%)が全体より15.8ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・学生は「仕事のやりがい」が50.0%で最も高く、次いで「賃金などの報酬」(43.8%)、「職場の人間関係」(38.8%)の順。
- ・40歳代は「賃金などの報酬」(57.4%)が全体より7.1ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。

図表 2-4-3 働くにあたって重視すること



図表 2-4-4 働くにあたって重視すること(属性別)

		仕事と生活のバランス確保	賃金などの報酬	仕事のやりがい	職場の人間関係	雇用の安定	技能の取得・向上	多様な就業形態
全体		52.3	50.3	<u>33.3</u>	22.7	19.3	3.1	1.9
地域	北勢	52.6	51.3	<u>32.7</u>	22.2	18.7	3.3	1.9
	伊賀	51.0	49.0	<u>32.9</u>	25.4	20.8	3.1	2.1
	中南勢	53.0	49.3	<u>35.4</u>	23.1	19.2	3.1	2.0
	伊勢志摩	52.1	51.6	<u>30.4</u>	22.3	21.1	2.7	1.9
	東紀州	49.3	46.1	<u>34.7</u>	21.0	16.4	2.7	0.9
性別	男性	44.3	54.9	<u>38.7</u>	17.2	22.2	4.3	1.7
	女性	59.1	46.5	<u>28.4</u>	27.5	16.9	2.1	2.0
年代	20歳代	43.0	52.3	33.7	<u>34.7</u>	22.0	6.0	0.8
	30歳代	56.8	55.9	23.7	<u>26.7</u>	20.6	2.8	3.0
	40歳代	53.0	57.4	<u>29.3</u>	22.0	22.9	2.1	2.3
	50歳代	50.7	55.2	<u>31.4</u>	24.0	20.8	2.6	0.7
	60歳代	57.3	48.3	<u>33.8</u>	20.4	15.5	3.0	2.2
	70歳以上	48.1	<u>38.4</u>	43.1	17.9	17.8	3.6	1.9
主な職業	農林水産業	53.2	<u>39.1</u>	53.2	11.5	12.2	4.5	0.6
	自営業・自由業	55.0	48.5	<u>44.1</u>	10.5	10.5	6.3	2.1
	正規職員	42.2	63.6	<u>33.4</u>	20.5	27.1	3.3	1.2
	パート・アルバイト・派遣	60.6	55.9	23.1	<u>25.4</u>	19.4	1.3	1.6
	その他の職業	44.9	56.4	<u>32.1</u>	21.6	26.0	1.7	2.7
	学生	35.0	43.8	50.0	<u>38.8</u>	21.3	8.8	-
	専業主婦・主夫	68.1	38.5	27.0	<u>30.0</u>	10.7	2.3	2.6
	無職	48.5	<u>37.2</u>	38.0	24.4	18.4	3.5	2.6
配偶関係	未婚	40.1	51.7	<u>33.2</u>	30.7	27.3	4.3	1.6
	有配偶	56.3	50.6	<u>33.4</u>	20.8	17.2	2.7	1.9
	離別・死別	44.4	47.4	<u>31.2</u>	25.1	22.0	4.0	2.1
世帯類型	単独世帯	43.1	45.6	<u>34.2</u>	28.4	20.2	3.7	4.2
	一世代世帯	53.5	45.3	<u>37.9</u>	20.6	17.4	3.1	1.9
	二世帯世帯	54.4	53.8	<u>31.0</u>	21.8	19.8	3.1	1.7
	三世帯世帯	52.5	55.5	<u>30.5</u>	25.0	19.6	1.5	1.7
世帯収入	～100万円未満	49.2	37.3	<u>28.8</u>	24.3	26.0	2.3	0.6
	～200万円未満	49.3	50.0	<u>29.6</u>	21.3	20.8	3.1	1.5
	～300万円未満	51.7	48.6	<u>33.4</u>	24.1	17.7	2.6	2.4
	～400万円未満	56.1	50.6	<u>33.8</u>	22.3	17.1	1.9	2.1
	～500万円未満	55.5	55.6	<u>28.7</u>	20.5	19.1	4.0	2.2
	～600万円未満	54.2	50.5	<u>30.5</u>	24.1	19.0	3.9	1.6
	～800万円未満	53.9	51.3	<u>31.6</u>	25.8	21.2	2.5	2.1
	～1,000万円未満	51.5	54.7	<u>39.8</u>	18.2	17.4	3.2	2.2
1,000万円以上	49.7	54.5	<u>44.7</u>	16.6	17.6	4.3	1.1	

凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

あなたは、生活費が足りないと感じる時はありますか。次の中から、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(は1つだけ) **(問11)**

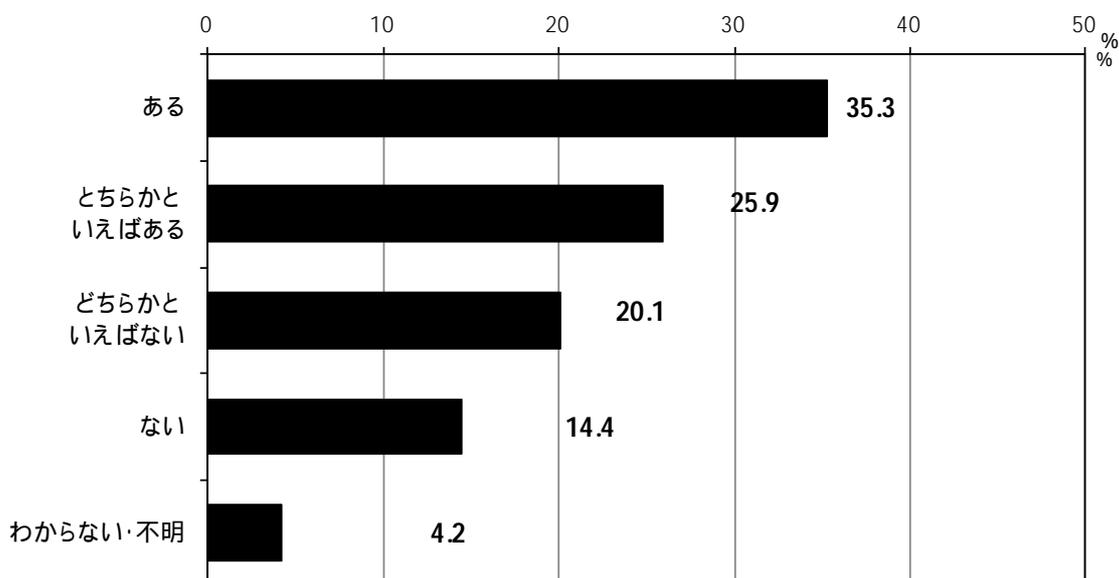
➤ 生活費の不足感

生活費が足りないと感じる時があるかを質問したところ、「ある」が 35.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばある」(25.9%)、「どちらかといえばない」(20.1%)、「ない」(14.4%)となっています。「ある」と「どちらかといえばある」の「不足を感じる層」が61.2%で「どちらかといえばない」と「ない」の「不足を感じない層」(34.5%)を26.7ポイント上回っています。

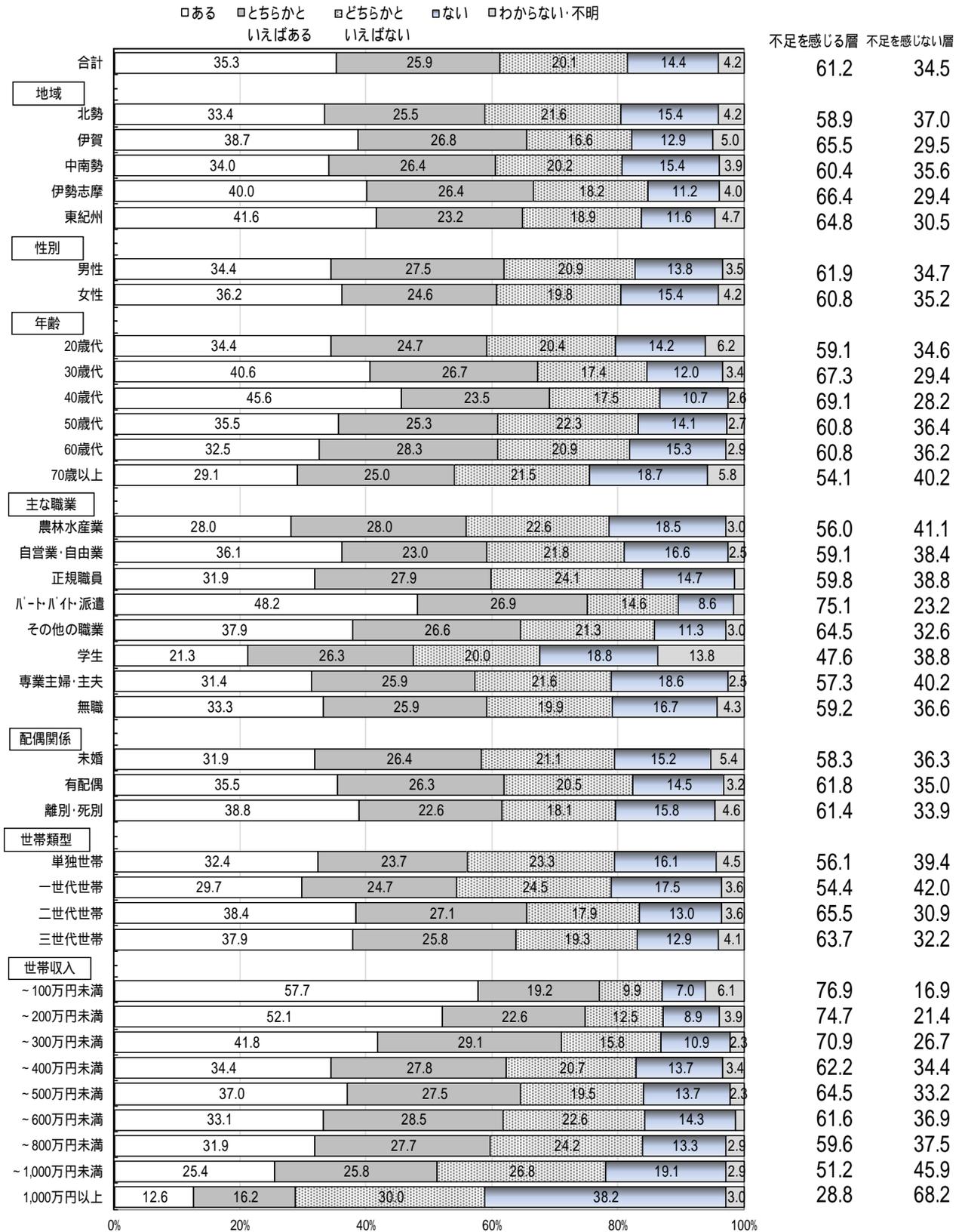
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・年齢(10歳階級)別では、40歳代の「不足を感じる層」の69.1%が最も高く、次いで30歳代(67.3%)、50歳代と60歳代の60.8%の順。
- ・主な職業別では、パート・バイト・派遣の「不足を感じる層」の75.1%が最も高く、次いで正規職員(59.8%)、無職(59.2%)の順。
- ・世帯類型別では、二世帯世帯の「不足を感じる層」の65.5%が最も高く、次いで三世帯世帯(63.7%)、単独世帯(56.1%)の順。
- ・世帯収入別では、100万円未満の層の「不足を感じる層」の76.9%が最も高く、次いで100~200万円未満(74.7%)、200~300万円未満(70.9%)の順。

図表 2-4-5 生活費の不足感



図表 2-4-6 生活費の不足感(属性別)



あなたの主な職業は何ですか。(は1つだけ)

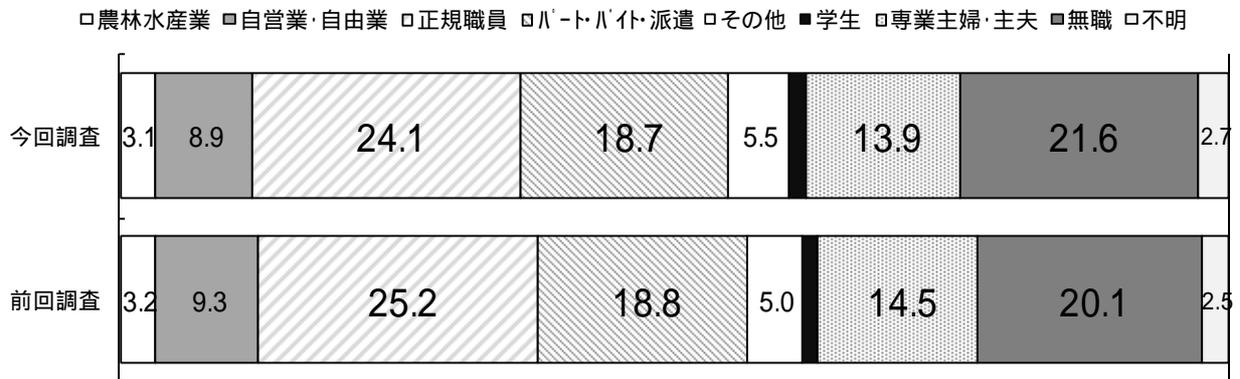
問12

➤ 主な職業

主な職業の構成割合は、「農林水産業」が 3.1%、「自営業、自由業」が 8.9%、「正規職員」が 24.1%、「パート・バイト・派遣」が 18.7%、「その他の職業」が 5.5%、「学生」が 1.5%、「専業主婦・主夫」が 13.9%、「無職」が 21.6%となっています。

前回調査と比較すると、「正規職員」が 1.1 ポイント低くなり、「無職」が 1.5 ポイント高くなっています。

図表 2-4-7 主な職業



(問12の主な職業で、「農林水産業」、「自営業、自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「パート、アルバイト、派遣社員など」、「その他、収入のある仕事」と回答した方に)

通常、1週間に働く時間(残業時間を含み、通勤時間は除く)はどのくらいですか。

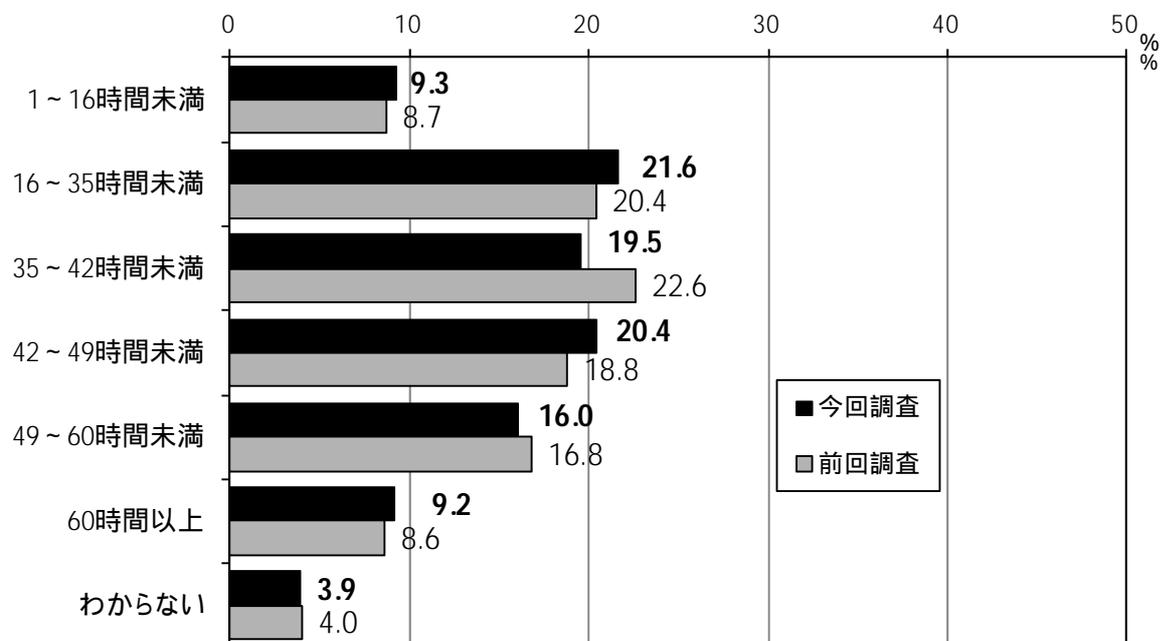
問12-2

➤ 1週間の平均的な就業時間

1週間の平均的な就業時間は、前回調査では「35～42時間未満」が最も高くなっていましたが、今回調査では「16～35時間未満」が21.6%で最も高く、次いで「42～49時間未満」(20.4%)、「35～42時間未満」(19.5%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「16～35時間未満」が1.2ポイント、「42～49時間未満」が1.6ポイントそれぞれ高くなり、「35～42時間未満」が3.1ポイント低くなっています。

図表 2-4-8 一週間の平均的な就業時間



(問12の主な職業で、「農林水産業」、「自営業、自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「パート、アルバイト、派遣社員など」、「その他、収入のある仕事」と回答した方に)

あなたご自身の年間収入(税込み)はどのくらいですか。次の中から選んでください。(〇は1つだけ)

問12-3

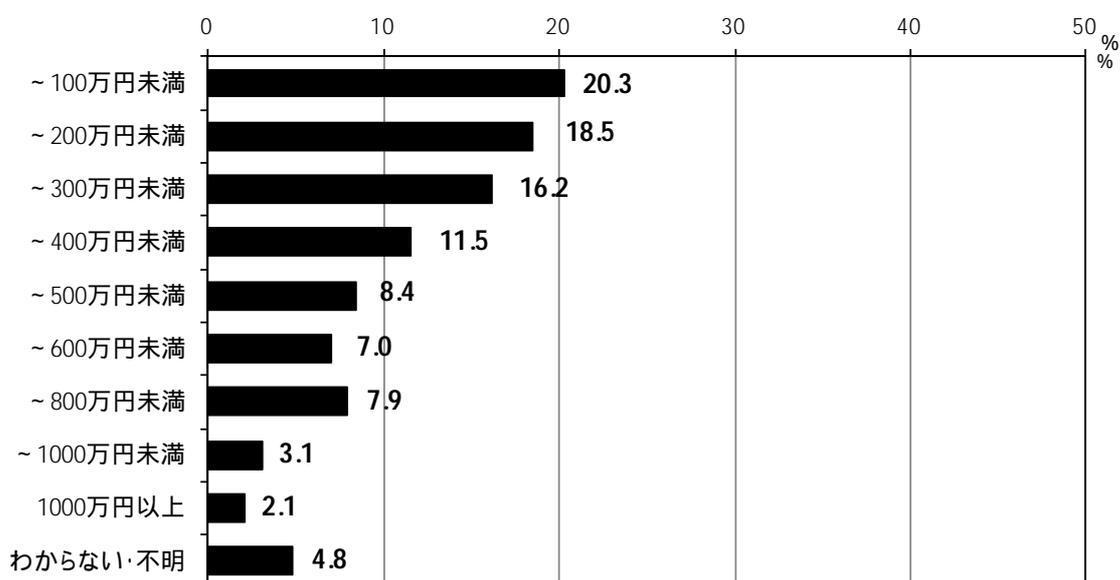
➤ 個人の年間収入

個人の年間収入について質問したところ、「100万円未満」の割合が20.3%と最も高く、次いで「100～200万円未満」(18.5%)、「200～300万円未満」(16.2%)となっています。

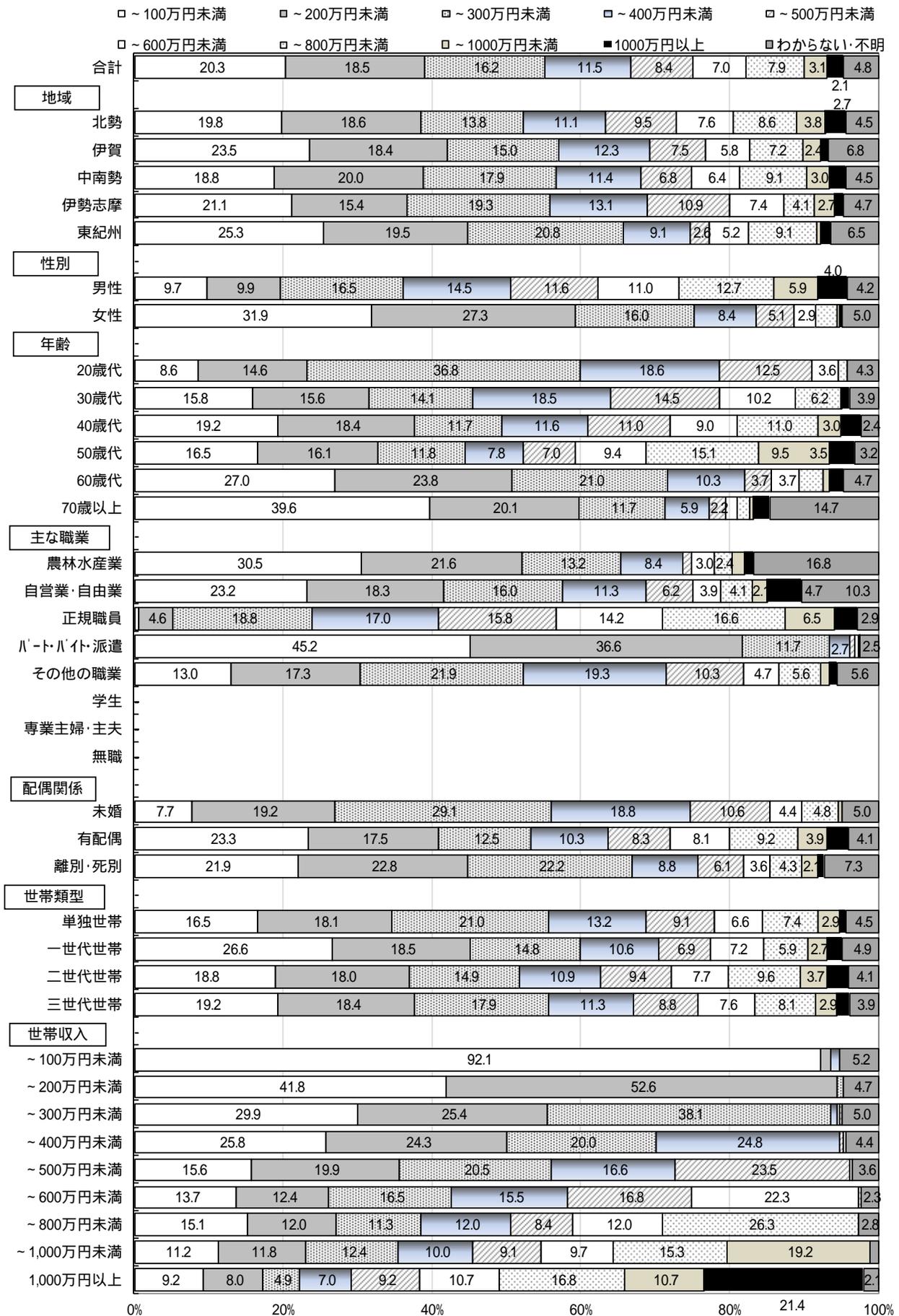
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・男性は「200～300万円未満」が16.5%で最も高く、次いで「300～400万円未満」(14.5%)、「600～800万円未満」(12.7%)の順。
- ・女性は「100万円未満」が31.9%で最も高く、次いで「100～200万円未満」(27.3%)、「200～300万円未満」(16.0%)の順。
- ・正規職員は「200～300万円未満」が18.8%で最も高く、次いで「300～400万円未満」(17.0%)、「600～800万円未満」(16.6%)の順。
- ・パート・バイト・派遣は「100万円未満」が45.2%で最も高く、次いで「100～200万円未満」(36.6%)、「200～300万円未満」(11.7%)の順。

図表 2-4-9 個人の年間収入



図表 2-4-10 個人の年間収入(属性別)



5. お住まいの地域に関すること

これまでの調査で地域や社会のつながりと県民の幸福実感には密接な関連があることがわかりました。地域や社会とのつながりについて分析を深めていくことは、人口減少問題、特に社会減における課題である「暮らす場」の議論にも資すると考えられます。

ここでは、「お住まいの地域に関すること」をテーマとして質問した「地域の住みやすさ」、「親の世帯から離れて暮らした経験」、「引越の理由」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
地域の住みやすさ	・あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。 (問13)
親の世帯から離れて暮らした経験	・あなたは、生まれてからこれまでに親の世帯から離れて暮らしたことはありますか。 (問14)
直後の居住地 (県内・県外)	・親の世帯からはじめて離れた直後の居住地は県内・県外のどちらですか。 (問14-2)
親の世帯から離れた理由	・親の世帯からはじめて離れた理由は何ですか。 (問14-3)
引越前の居住地	・あなたは、現在の場所にずっとお住まいですか、それとも引っ越してきましたか。 (問15)
引越後の居住年数	・現在お住まいの場所には、何年くらい前に引っ越してきましたか。 (問15-2)
引越の理由	・現在お住まいの場所に引っ越してこられた主な理由は何ですか。 (問15-3)
近隣の施設へのアクセス	・あなたが住んでいる近隣についてお聞きします。次の施設は、徒歩もしくは自転車で利用できますか。 (1) 食料品が買える所 (2) 日用雑貨が買える所 (3) 郵便局 (4) 銀行、信用金庫などの金融機関 (5) 映画館、劇場、美術館等の文化施設 (6) 公共交通機関 (7) 診療所や病院 (8) 役場、支所等の自治体窓口 (9) 図書館、公民館等の集会施設 (10) 子どもなどが遊べる場 (問16)

あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。(は1つだけ)

問 13

➤ 地域の住みやすさ

お住まいの地域が住みやすいかについて質問したところ、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合計した『肯定的回答』の割合が 82.0%で、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合計した『否定的回答』の割合(12.5%)より 69.5 ポイント高くなっています。

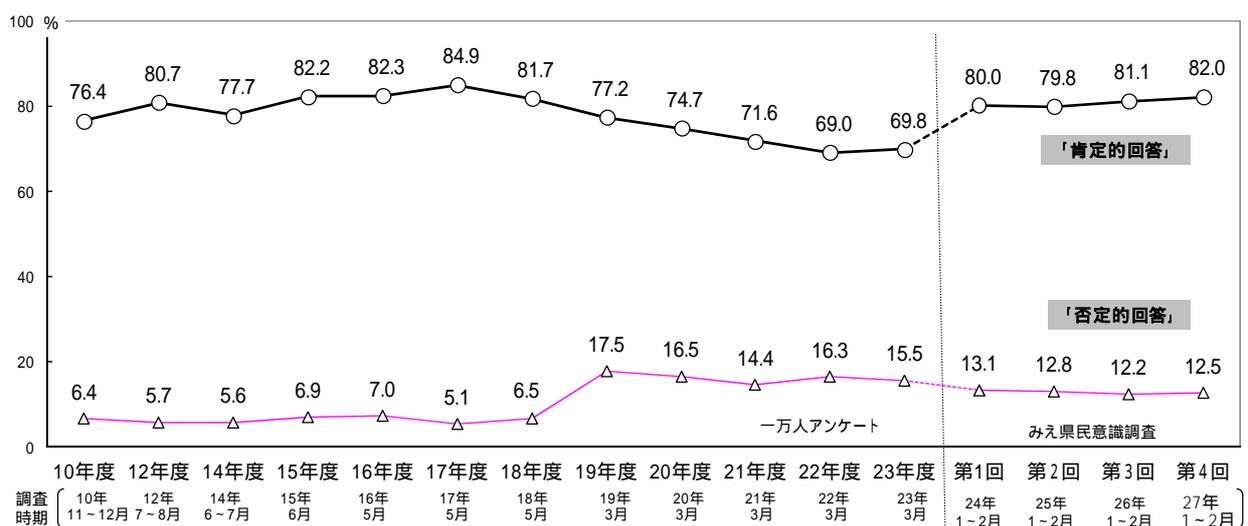
前回調査と比較すると『肯定的回答』の割合が 0.9 ポイント、『否定的回答』が 0.3 ポイントそれぞれ高くなっています。

第 1 回調査と比較すると『肯定的回答』の割合が 2.0 ポイント高く、『否定的回答』が 0.6 ポイント低くなっています。

➤ 一万人アンケートの結果を含む推移

地域の住みやすさについての意識は平成 10 年度からの一万人アンケートから継続して調査しています。一万人アンケートの結果を含む推移は以下のとおりです。

図表 2-5-1 (参考)一万人アンケート(23年度まで)とみえ県民意識調査の「地域の住みやすさ」の推移



一万人アンケートの「肯定的回答」…「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合計したもの。
 一万人アンケートの「否定的回答」…「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合計したもの。

図表 2-5-2 地域の住みやすさ(属性別)

	住みやすさ					肯定的回答			否定的回答		
	□ 住みやすい	■ どちらかといえば住みやすい	■ どちらかといえば住みにくい	□ 住みにくい	□ どちらともいえない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	34.5	47.5	8.6	3.9	5.5	82.0	(0.9)	<2.0>	12.5	(0.3)	<-0.6>
地域											
北勢	37.0	46.7	8.1	3.1	5.2	83.7	(0.7)	<2.5>	11.2	(0.5)	<-1.4>
伊賀	25.0	51.1	11.0	5.8	7.2	76.1	(-1.5)	<-5.1>	16.8	(0.9)	<4.2>
中南勢	35.3	48.2	7.5	4.0	4.9	83.5	(1.3)	<1.8>	11.5	(0.3)	<0.5>
伊勢志摩	34.1	45.8	9.4	4.4	6.3	79.9	(2.1)	<1.3>	13.8	(-1.4)	<-0.2>
東紀州	26.2	48.5	13.7	5.2	6.4	74.7	(1.4)	<0.1>	18.9	(3.5)	<2.8>
性別											
男性	34.8	48.3	8.8	3.4	4.9	83.1	(0.3)	<1.3>	12.0	(0.8)	<0.0>
女性	34.4	47.2	8.5	4.4	5.5	81.6	(1.4)	<2.9>	12.9	(-0.1)	<-1.1>
年齢											
20歳代	36.7	44.1	9.5	6.7	3.0	80.8	(-1.2)	<1.2>	16.2	(3.8)	<0.5>
30歳代	33.6	48.2	9.5	4.9	3.7	81.8	(-0.5)	<1.1>	14.4	(0.8)	<1.1>
40歳代	31.7	48.9	10.0	4.2	5.3	80.6	(1.9)	<1.2>	14.2	(-0.9)	<0.4>
50歳代	33.2	50.0	8.3	3.6	5.0	83.2	(0.9)	<2.4>	11.9	(-0.8)	<-1.4>
60歳代	32.7	51.8	7.9	3.4	4.3	84.5	(3.3)	<4.9>	11.3	(-0.1)	<-1.4>
70歳以上	39.3	42.0	8.1	2.6	7.9	81.3	(-0.5)	<0.8>	10.7	(1.2)	<-1.1>
主な職業											
農林水産業	42.3	42.3	4.8	5.4	5.4	84.6	(1.8)	<-2.7>	10.2	(-1.8)	<1.7>
自営業・自由業	41.7	44.1	7.0	2.9	4.3	85.8	(0.4)	<3.5>	9.9	(0.0)	<-1.1>
正規職員	35.1	49.8	8.3	2.8	4.0	84.9	(1.3)	<1.5>	11.1	(-1.2)	<0.0>
パート・バイト・派遣	30.9	50.1	10.1	5.1	3.8	81.0	(0.9)	<2.4>	15.2	(1.1)	<0.5>
その他の職業	31.6	48.5	7.6	5.3	7.0	80.1	(0.3)	<-1.5>	12.9	(2.3)	<1.0>
学生	46.3	42.5	6.3	3.8		88.8	(8.8)	<6.9>	10.1	(-4.5)	<-4.2>
専業主婦・主夫	32.7	47.8	10.6	4.2	4.8	80.5	(-0.3)	<2.5>	14.8	(1.9)	<0.6>
無職	34.1	46.0	8.4	3.6	7.8	80.1	(1.4)	<3.9>	12.0	(0.6)	<-3.4>
配偶関係											
未婚	32.7	46.4	10.1	5.1	5.6	79.1	(-1.3)	<0.7>	15.2	(2.3)	<0.7>
有配偶	34.8	48.8	8.7	3.4	4.2	83.6	(1.4)	<2.3>	12.1	(0.2)	<-0.6>
離別・死別	35.3	43.5	7.2	5.0	8.9	78.8	(1.7)	<3.5>	12.2	(-1.3)	<-1.6>
世帯類型											
単独世帯	34.1	43.9	7.0	5.4	9.6	78.0	(-)	<->	12.4	(-)	<->
一世代世帯	33.1	49.6	9.3	3.1	5.0	82.7	(-)	<->	12.4	(-)	<->
二世帯世帯	35.1	47.8	8.6	3.9	4.6	82.9	(-)	<->	12.5	(-)	<->
三世帯世帯	35.2	47.4	8.8	4.1	4.4	82.6	(-)	<->	12.9	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	27.7	41.8	12.2	8.9	9.4	69.5	(-5.0)	<->	21.1	(6.2)	<->
~200万円未満	29.0	47.3	11.5	3.9	8.4	76.3	(4.8)	<->	15.4	(-1.9)	<->
~300万円未満	33.4	48.5	9.7	3.6	4.6	81.9	(1.8)	<->	13.5	(1.9)	<->
~400万円未満	33.9	48.4	9.0	3.2	5.5	82.3	(0.5)	<->	12.2	(0.6)	<->
~500万円未満	34.5	49.5	8.5	3.3	3.7	84.0	(0.6)	<->	12.4	(1.0)	<->
~600万円未満	35.4	50.0	8.3	3.5	3.8	85.4	(1.3)	<->	11.8	(-0.1)	<->
~800万円未満	34.2	49.6	8.9	4.0	3.2	83.8	(-1.5)	<->	12.9	(1.1)	<->
~1,000万円未満	38.0	48.3	5.7	2.9	5.0	86.3	(-0.1)	<->	8.6	(-2.1)	<->
1,000万円以上	42.1	49.5	4.6	2.6		91.6	(4.0)	<->	5.9	(-4.6)	<->

「肯定的回答」の割合・・・「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「否定的回答」の割合・・・「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

あなたは、生まれてからこれまでに親の世帯から離れて暮らしたことはありますか。

問 1 3

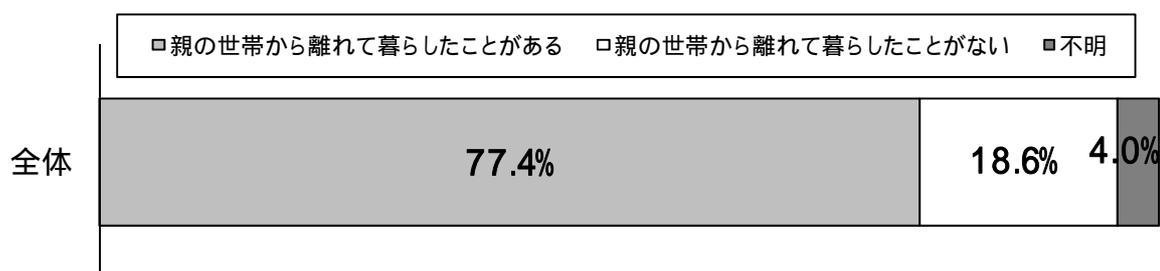
➤ 親の世帯から離れて暮らした経験

親の世帯から離れて暮らした経験を質問したところ、「親の世帯から離れて暮らしたことがある」の割合が77.4%で、「親の世帯から離れて暮らしたことがない」(18.6%)より58.8ポイント高くなっています。

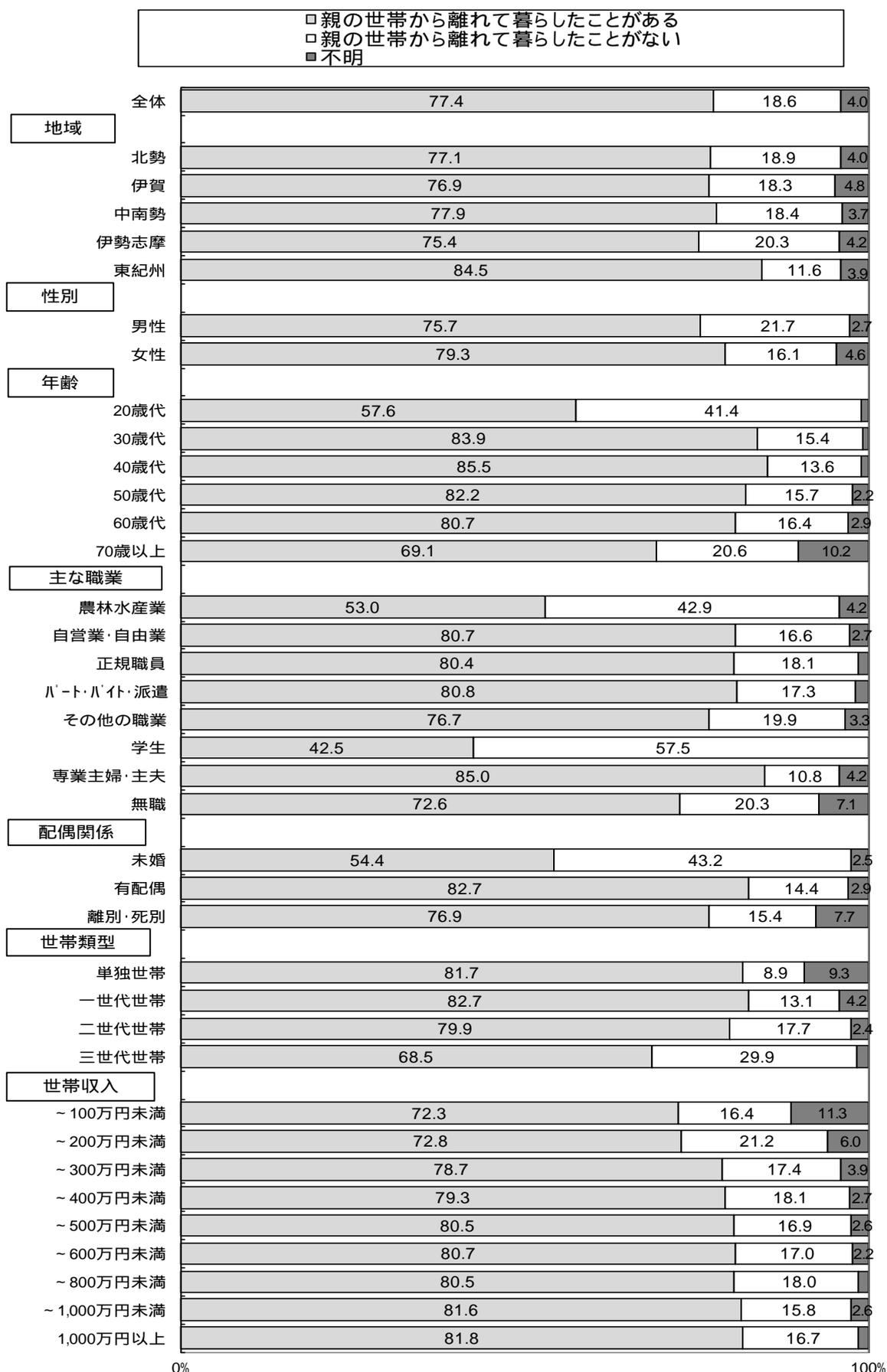
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州は、「親の世帯から離れて暮らしたことがある」が84.5%で、全体より7.1ポイント高く、地域別では最も高い。
- ・年齢(10歳階級)別では、40歳代の「親の世帯から離れて暮らしたことがある」(85.5%)が最も高く、次いで30歳代(83.9%)、50歳代(82.2%)の順。
- ・主な職業別では、専業主婦・主夫の「親の世帯から離れて暮らしたことがある」(85.0%)が最も高く、次いでパート・バイト・派遣(80.8%)、自営業・自由業(80.7%)の順。
- ・世帯収入別では、1,000万円以上の層の「親の世帯から離れて暮らしたことがある」(81.8%)が最も高く、次いで800~1,000万円未満(81.6%)、500~600万円未満(80.7%)の順。

図表 2-5-3 親の世帯から離れて暮らした経験



図表 2-5-4 親の世帯から離れて暮らした経験(属性別)



0%

100%

(問14で、「親の世帯から離れて暮らしたことがある」と回答した方に)

親の世帯から初めて離れた直後の居住地は県内・県外のどちらですか。

問14-2

➤ 親の世帯から離れた直後の居住地

「親の世帯から離れて暮らしたことがある」と回答した方に、親の世帯から初めて離れた直後の居住地が三重県内か三重県外かを質問したところ、「三重県外」の割合が50.0%で、「三重県内」(48.0%)を2.0ポイント上回っています。

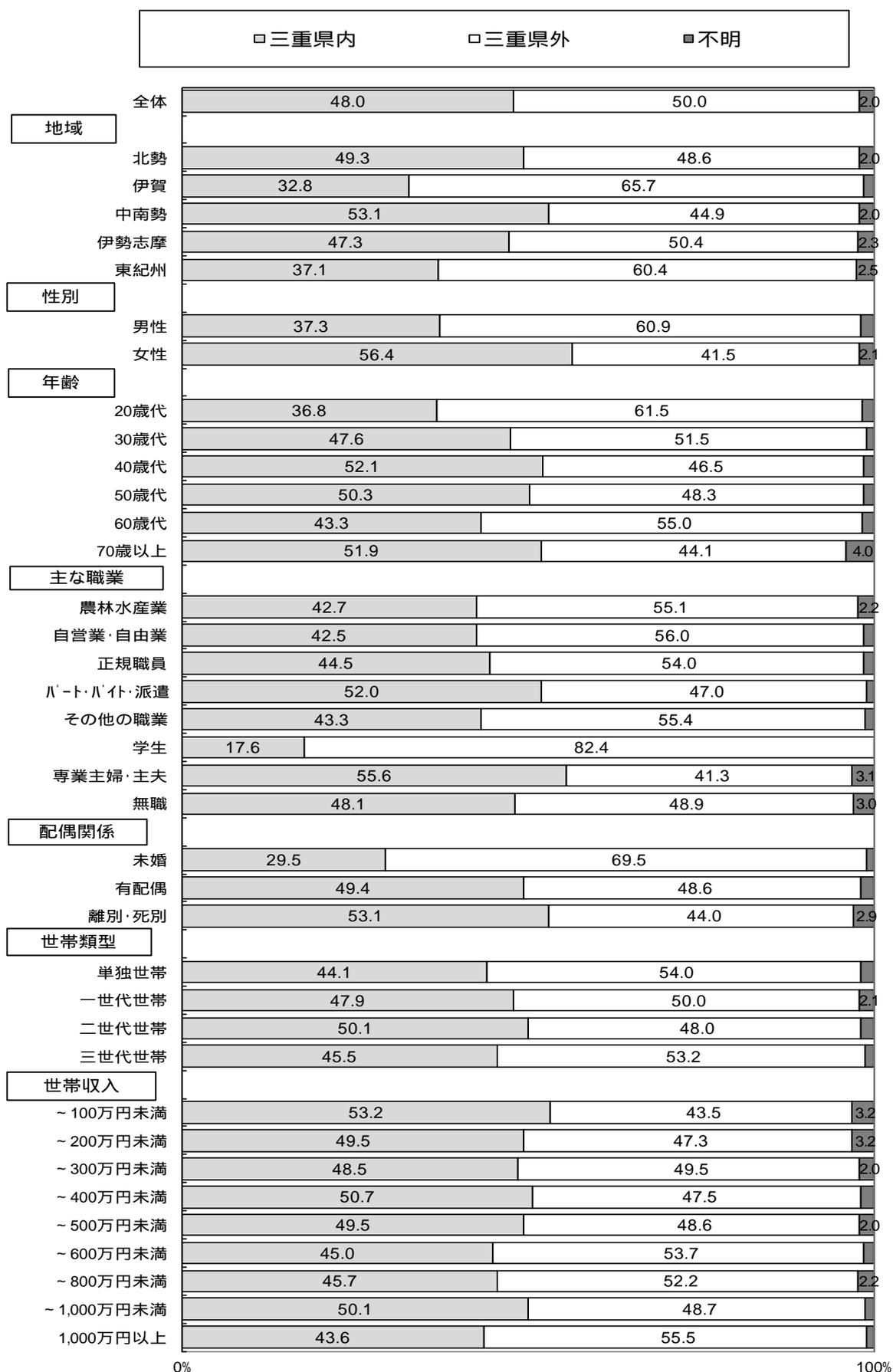
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・地域別では、伊賀の「三重県内」(32.8%)が最も低く、次いで東紀州(37.1%)、伊勢志摩(47.3%)の順。
- ・男性は「三重県外」が60.9%で、女性より19.4ポイント高い。
- ・年齢(10歳階級)別では、20歳代の「三重県外」(61.5%)が最も高く、次いで60歳代(55.0%)、30歳代(51.5%)の順。
- ・主な職業別では、専業主婦・主夫の「三重県外」(41.3%)が最も低く、次いでパート・バイト・派遣(47.0%)、無職(48.9%)の順。
- ・世帯収入別では、1,000万円以上の「三重県外」(55.5%)が最も高く、100万円未満(43.5%)が最も低い。

図表 2-5-5 親の世帯から離れた直後の居住地



図表 2-5-6 親の世帯から離れた直後の居住地(属性別)



(問14で、「親の世帯から離れて暮らしたことがある」と回答した方に)

親の世帯からはじめて離れた理由は何ですか。次の中から、最も近いものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

問14-3

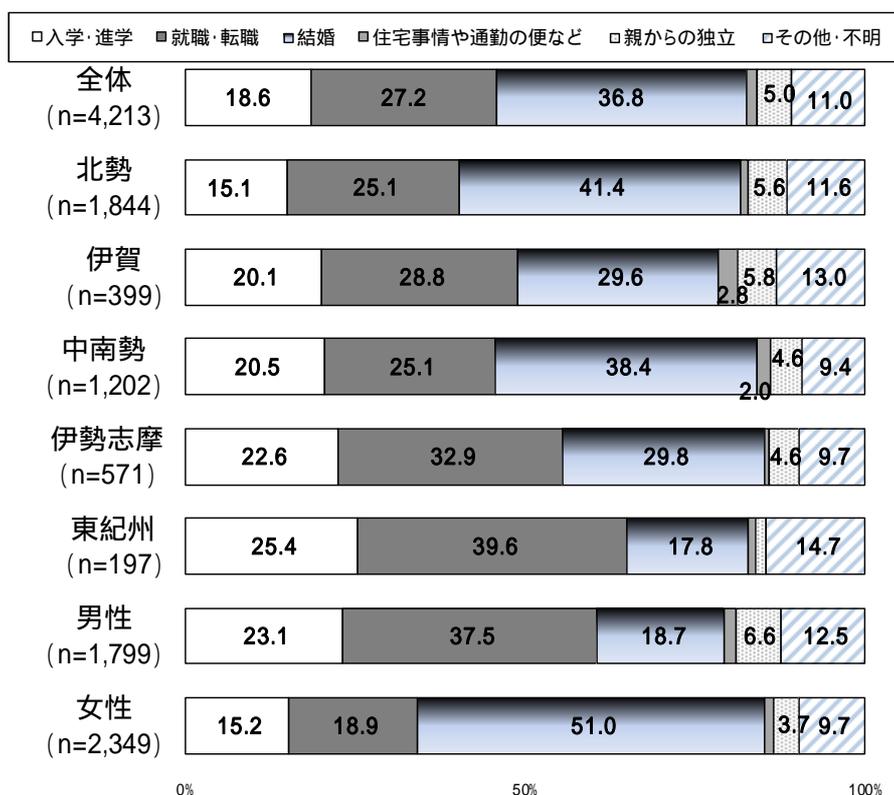
➤ 親の世帯から離れた理由

「親の世帯から離れて暮らしたことがある」と回答した方に、親の世帯から初めて離れた理由を質問したところ、「結婚」の割合が36.8%と最も高く、次いで「就職・転職・転勤など」(27.2%)、「入学・進学」(18.6%)となっています。

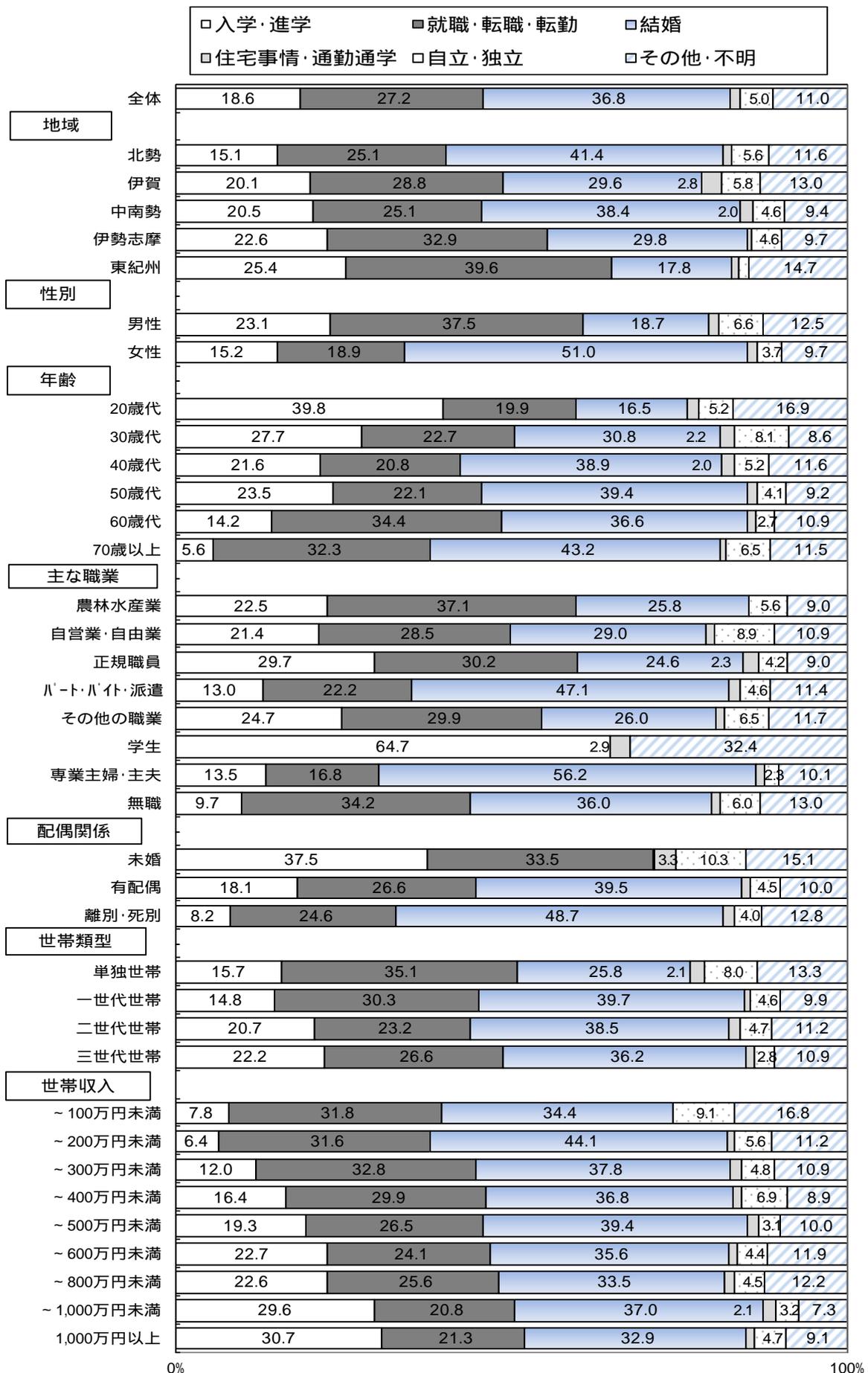
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州は「入学・進学」(25.4%)と「就職・転職・転勤など」(39.6%)が地域別で最も高く、「結婚」(17.8%)と「親からの自立・独立」(1.5%)が地域別で最も低い。
- ・伊勢志摩は「入学・進学」(22.6%)と「就職・転職・転勤など」(32.9%)が地域別で東紀州に次いで高い。
- ・北勢は「結婚」が41.4%で、地域別で最も高い。
- ・女性は「結婚」が51.0%で、男性より32.3ポイント高い。
- ・男性は「就職・転職・転勤など」が37.5%で、女性より18.6ポイント高い。
- ・主な職業別では、専業主婦・主夫の「結婚」(56.2%)が最も高く、次いでパート・バイト・派遣(47.1%)、無職(36.0%)の順。

図表 2-5-7 親の世帯から離れた理由



図表 2-5-8 親の世帯から離れた理由(属性別)



0%

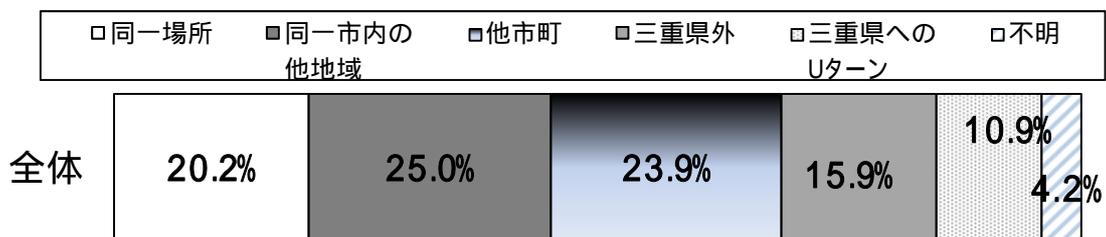
100%

あなたは、現在の場所にずっとお住まいですか、それとも引っ越してきましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(は1つだけ) 問15

➤ 引越前の居住地

引越前の居住地を質問したところ、「同一市内の他地域」の割合が25.0%と最も高く、次いで「県内の他市町」(23.9%)、「ずっと同じ場所に住んでいる」(20.2%)となっています。

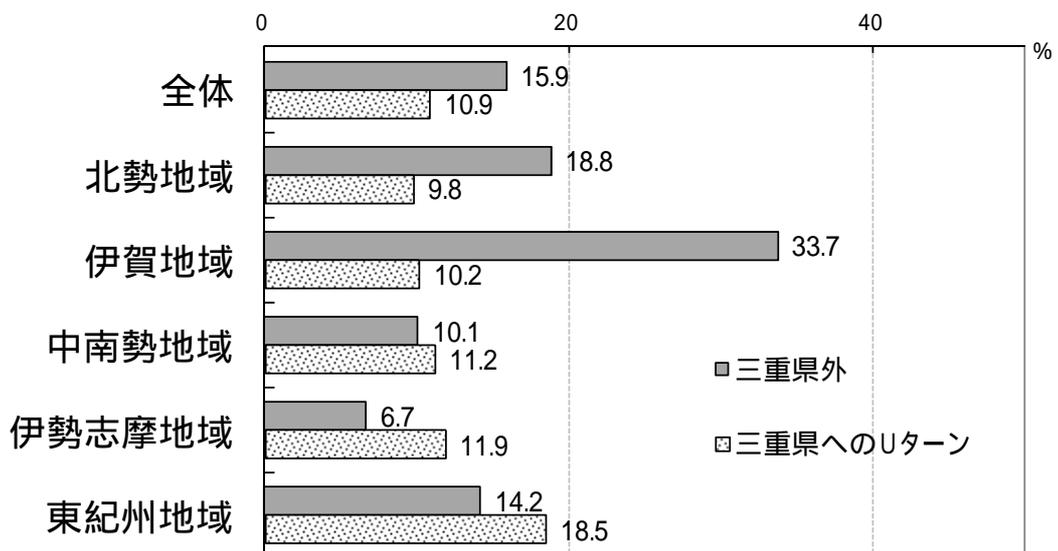
図表 2-5-9 引越前の居住地



引越前の居住地が「三重県外」、「三重県へのUターン」と回答した方の地域別の特徴(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀は「三重県外」が県全体より17.8ポイント、北勢は2.9ポイントそれぞれ高い。
- ・伊勢志摩は、「三重県外」が県全体より9.2ポイント、中南勢は5.8ポイントそれぞれ低い。
- ・東紀州は「三重県へのUターン」が県全体より7.6ポイント高く、地域別では最も高い。

図表 2-5-10 「三重県外」、「三重県へのUターン」の特徴(地域別)



図表 2-5-11 引越前の居住地(属性別)

		□同一場所	□同一市内の 他地域	□他市町	□三重県外	□三重県への Uターン	□不明
地域	全体	20.2	25.0	23.9	15.9	10.9	4.2
	北勢	17.3	24.5	25.8	18.8	9.8	3.9
	伊賀	22.9	17.3	11.0	33.7	10.2	4.8
	中南勢	21.4	26.8	26.3	10.1	11.2	4.1
	伊勢志摩	24.3	28.5	23.9	6.7	11.9	4.6
	東紀州	21.9	24.0	17.6	14.2	18.5	3.9
性別	男性	28.2	23.4	18.7	14.5	12.1	3.2
	女性	13.7	26.5	28.1	17.2	10.1	4.4
年齢	20歳代	38.9	16.2	19.2	13.5	9.2	3.0
	30歳代	17.8	23.0	28.9	15.7	11.4	3.2
	40歳代	14.6	28.3	27.4	16.6	11.3	3.2
	50歳代	16.7	27.1	24.5	17.7	11.0	3.0
	60歳代	19.3	25.3	24.7	16.0	11.7	2.9
	70歳以上	22.6	25.1	19.4	15.2	10.4	7.4
	主な職業	農林水産業	56.0	11.3	8.9	6.5	11.3
自営業・自由業		22.8	26.5	23.6	10.1	14.6	2.5
正規職員		22.8	24.8	24.0	14.2	11.3	2.9
パート・アルバイト・派遣		15.0	26.1	26.7	20.2	9.4	2.7
その他の職業		24.3	29.6	25.2	9.3	9.0	2.7
学生		55.0	16.3	10.0	7.5	6.3	5.0
専業主婦・主夫		7.9	24.9	28.9	23.6	10.9	3.7
無職		20.0	25.6	21.5	16.1	11.1	5.6
配偶関係		未婚	41.8	14.9	14.5	11.2	13.2
	有配偶	16.3	26.8	25.8	17.2	10.5	3.4
	離別・死別	18.1	26.6	24.3	14.6	11.8	4.6
世帯類型	単独世帯	12.2	21.1	28.3	20.2	12.2	6.1
	一世代世帯	14.4	25.8	25.0	19.4	11.9	3.6
	二世帯世帯	18.9	27.2	24.4	15.5	10.9	3.1
	三世帯世帯	31.9	22.3	22.5	11.2	9.6	2.7
世帯収入	～100万円未満	23.9	24.4	18.3	13.6	11.3	8.5
	～200万円未満	21.8	25.1	23.7	15.8	8.2	5.4
	～300万円未満	21.2	24.8	20.7	17.5	12.5	3.2
	～400万円未満	16.4	27.6	25.0	18.2	10.9	2.0
	～500万円未満	16.2	28.9	28.9	13.4	9.0	3.7
	～600万円未満	18.3	25.2	23.9	17.8	11.9	3.0
	～800万円未満	18.9	24.5	28.4	16.6	9.4	2.2
	～1,000万円未満	20.3	24.9	26.3	14.1	11.7	2.6
	1,000万円以上	17.9	24.6	21.5	16.4	16.4	3.1

0%

100%

(問15で、引っ越しの経験がある「2」から「5」を回答した方に)

現在お住まいの場所には、何年くらい前に引っ越してきましたか。

問15 - 2

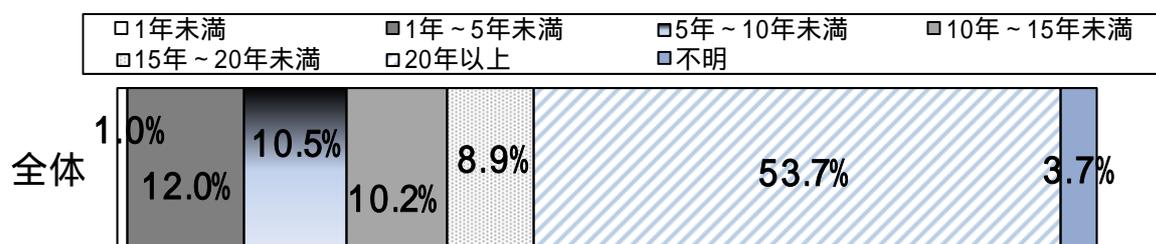
➤ 引越後の居住年数

引越の経験がある方に、現在のお住まいの居住年数を質問したところ、「20年以上」の割合が53.7%と最も高く、次いで「1年～5年未満」(12.0%)、「5年～10年未満」(10.5%)となっています。

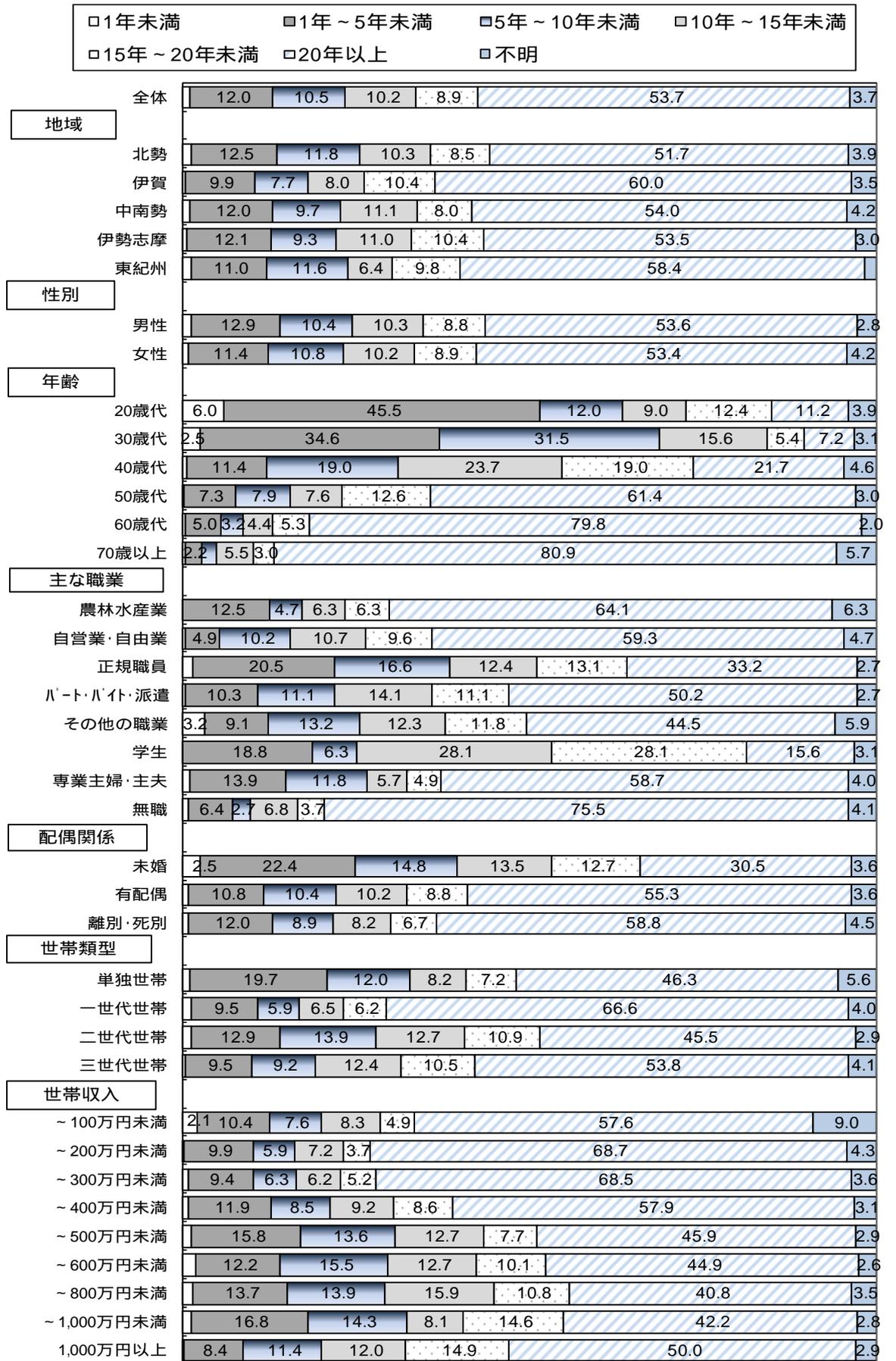
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀は「20年以上」が60.0%で全体より6.3ポイント高く、地域別で最も高い。
- ・20歳代は「1年未満」が6.0%で全体より5.0ポイント高く、「1年～5年未満」が45.5%で全体より33.5ポイント高く、それぞれ年齢(10歳階級)別で最も高い。
- ・50歳代以上は「20年以上」が60%を超え、70歳以上では8割を超えている。
- ・農林水産業は「20年以上」が64.1%で全体より10.4ポイント高く、職業別で最も高い。
- ・正規職員は「1年～5年未満」が20.5%で全体より8.5ポイント高く、職業別で最も高い。
- ・一世代世帯は「20年以上」が66.6%で全体より12.9ポイント高く、世帯類型別で最も高い。
- ・世帯収入が100万円以上200万円未満の層の「20年以上」は68.7%で全体より15.0ポイント高く、世帯収入別で最も高い。

図表 2-5-12 引越後の居住年数



図表 2-5-13 引越後の居住年数(属性別)



0%

100%

(問15で、引越の経験がある「2」から「5」を回答した方に)

現在お住まいの場所に引っ越してこられた主な理由は何ですか。次の中から、最も近いものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

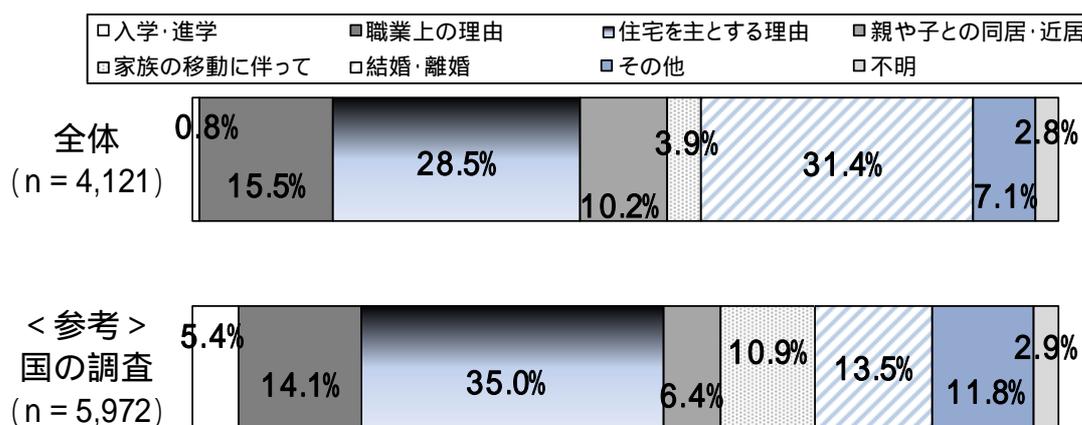
問15 - 3

➤ 引越の理由

引越の経験がある方に、現在のお住まいへ引っ越した理由を質問したところ、「結婚・離婚」の割合が31.4%と最も高く、次いで「住宅を主とする理由」(28.5%)、「職業上の理由」(15.5%)となっています。

- 調査方法が同一でないことから単純な比較はできませんが、国の調査では、「住宅を主とする理由」が35.0%と最も高く、次いで「職業上の理由」(14.1%)、「結婚・離婚」(13.5%)となっています。国と比較すると、県の方が「結婚・離婚」が17.9ポイント、「親や子との同居・近居」が3.8ポイント、「職業上の理由」が1.4ポイントそれぞれ高い一方、「家族の移動に伴って」が7.0ポイント、「住宅を主とする理由」が6.5ポイントそれぞれ低くなっています。

図表 2-5-14 引越の理由



国の調査・・・第7回人口移動調査(国立社会保障・人口問題研究所、平成23年7月実施、過去5年間に移動した人が対象、有効回収数：5,972)

引越の理由は、国の調査に準じて19の選択肢を以下の7つに分類

入学・進学・・・「入学・進学」

職業上の理由・・・「就職」、「転職」、「転勤」、「家業継承」、「定年退職」

住宅を主とする理由・・・「住宅事情」、「生活環境上の理由」、「通勤通学の便」

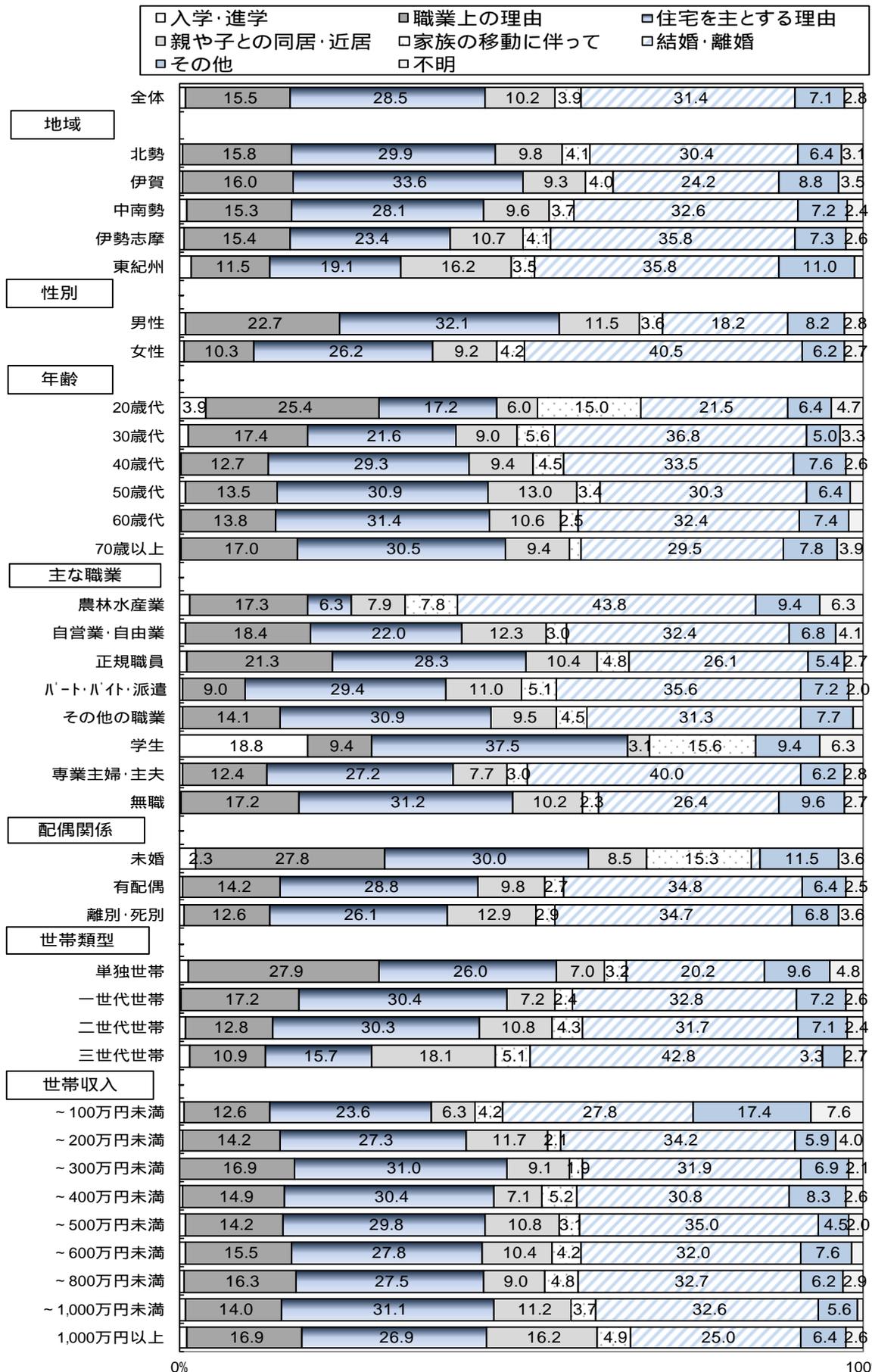
親や子との同居・近居・・・「親と同居」、「親と近居」、「子と同居」、「子と近居」

家族の移動に伴って・・・「家族の移動に伴って」

結婚・離婚・・・「結婚」、「離婚」

その他・・・「子育て環境上の理由」、「健康上の理由」、「その他」

図表 2-5-15 引越の理由(属性別)



あなたが住んでいる近隣についてお聞きします。次の施設は、徒歩もしくは自転車で利用できるか。あてはまるものを1つずつ選んでください。(はそれぞれ1つずつ) 問16

➤ 近隣の施設へのアクセス（10項目全体の集計結果）

項目毎の集計結果は89ページから98ページに記載

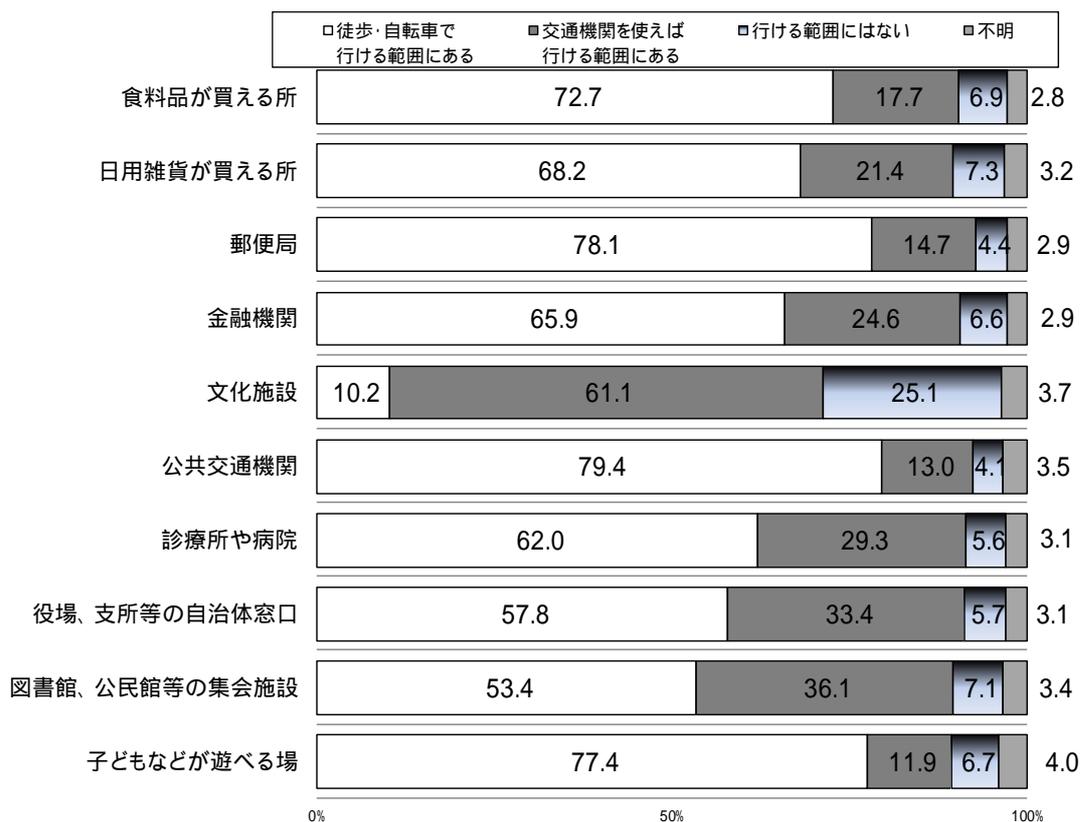
食料品が買える所や金融機関など10項目の近隣施設へのアクセスについて、質問しました。

「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合は「公共交通機関」が79.4%で最も高く、次いで「郵便局」(78.1%)、「子どもなどが遊べる場」(77.4%)となっています。一方、「文化施設」は10.2%で最も低くなっています。

「交通機関を使えば行ける範囲にある」の割合は、「文化施設」が61.1%で最も高く、次いで「図書館、公民館等の集会施設」(36.1%)、「役場、支所等の自治体窓口」(33.4%)となっています。

「行ける範囲にない」の割合は、「文化施設」が25.1%で最も高く、次いで「日用雑貨が買える所」(7.3%)、「図書館、公民館等の集会施設」(7.1%)となっています。

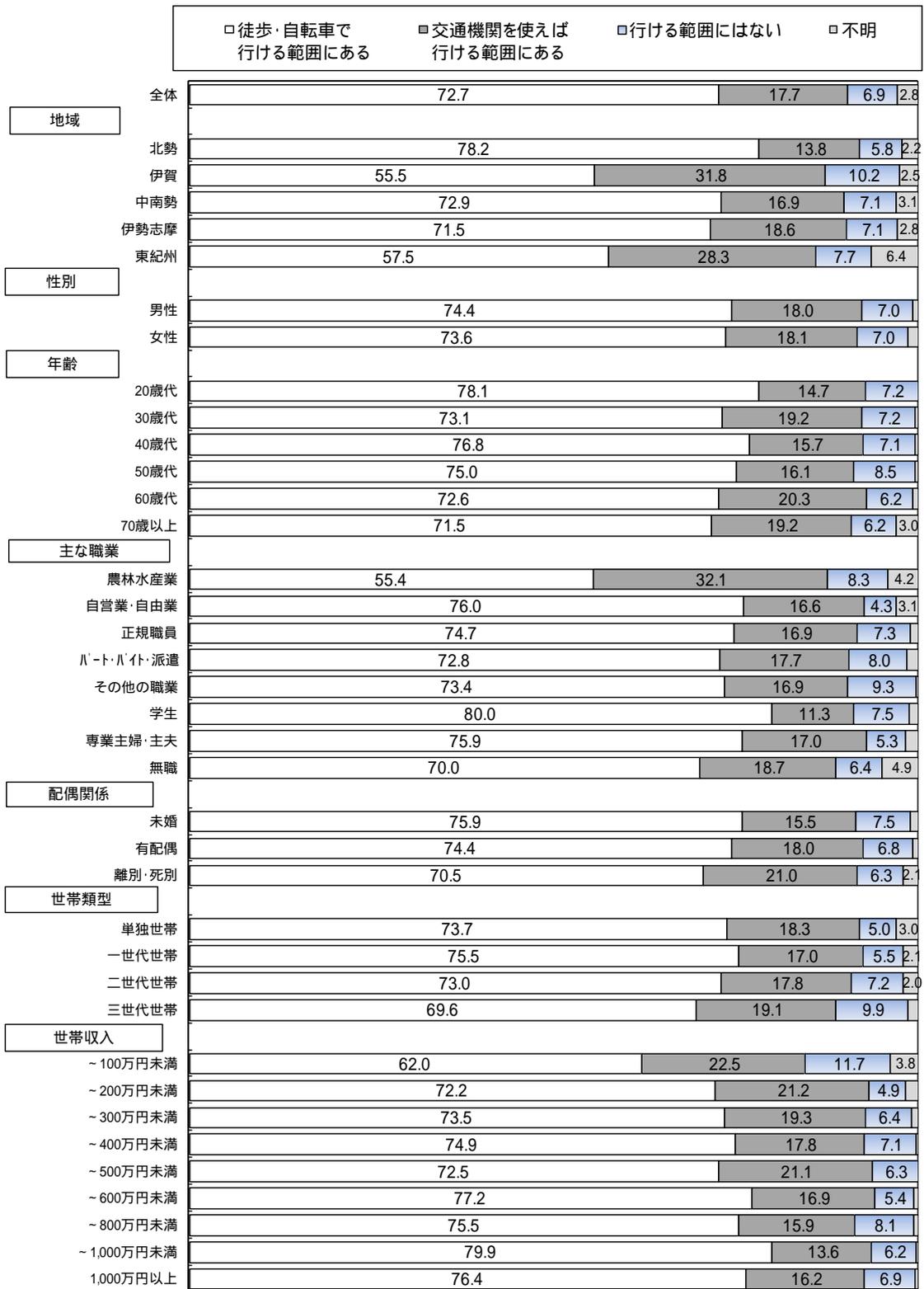
図表 2-5-16 近隣の施設へのアクセス



➤ 近隣の施設へのアクセス（食料品が買える所）

食料品が買える所へのアクセスについて質問したところ、「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合が72.7%、「交通機関を使えば行ける範囲にある」が17.7%、「行ける範囲にない」は6.9%となっています。

図表 2-5-17 近隣の施設へのアクセス(食料品が買える所・属性別)



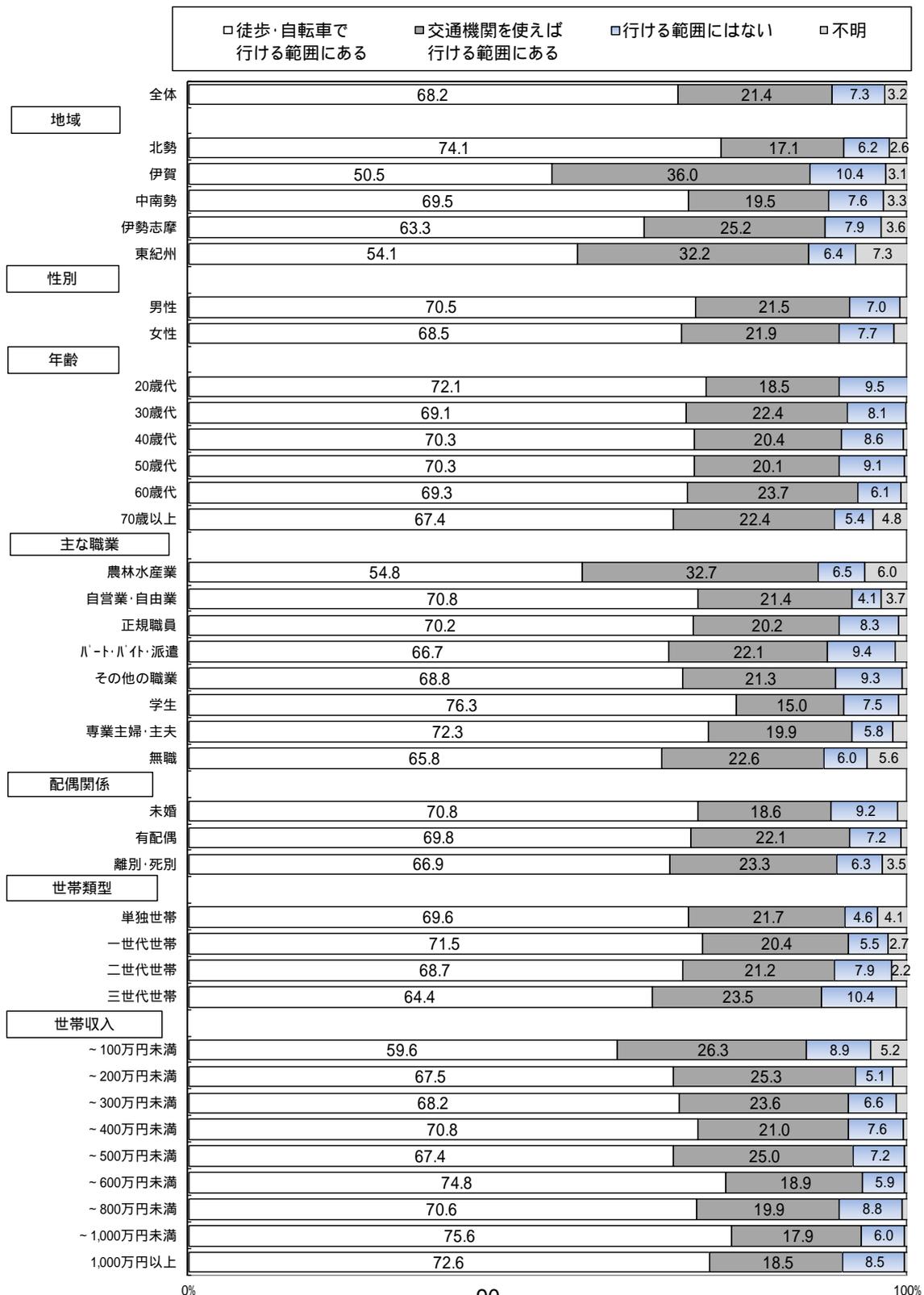
0%

100%

➤ 近隣の施設へのアクセス（日用雑貨が買える所）

日用雑貨が買える所へのアクセスについて質問したところ、「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合が68.2%、「交通機関を使えば行ける範囲にある」が21.4%、「行ける範囲にない」は7.3%となっています。

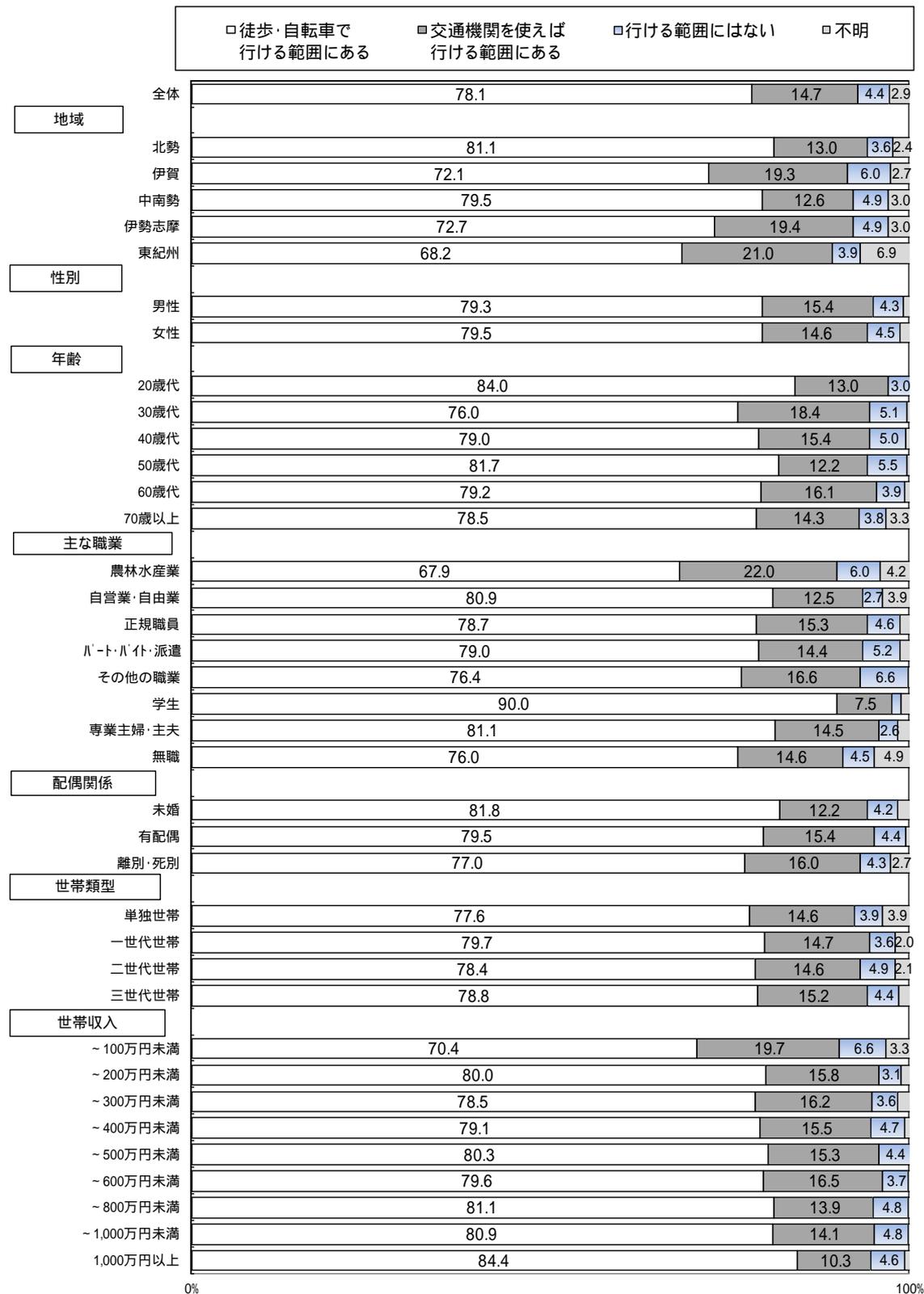
図表 2-5-18 近隣の施設へのアクセス(日用雑貨が買える所・属性別)



➤ 近隣の施設へのアクセス（郵便局）

郵便局へのアクセスについて質問したところ、「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合が78.1%、「交通機関を使えば行ける範囲にある」が14.7%、「行ける範囲にない」は4.4%となっています。

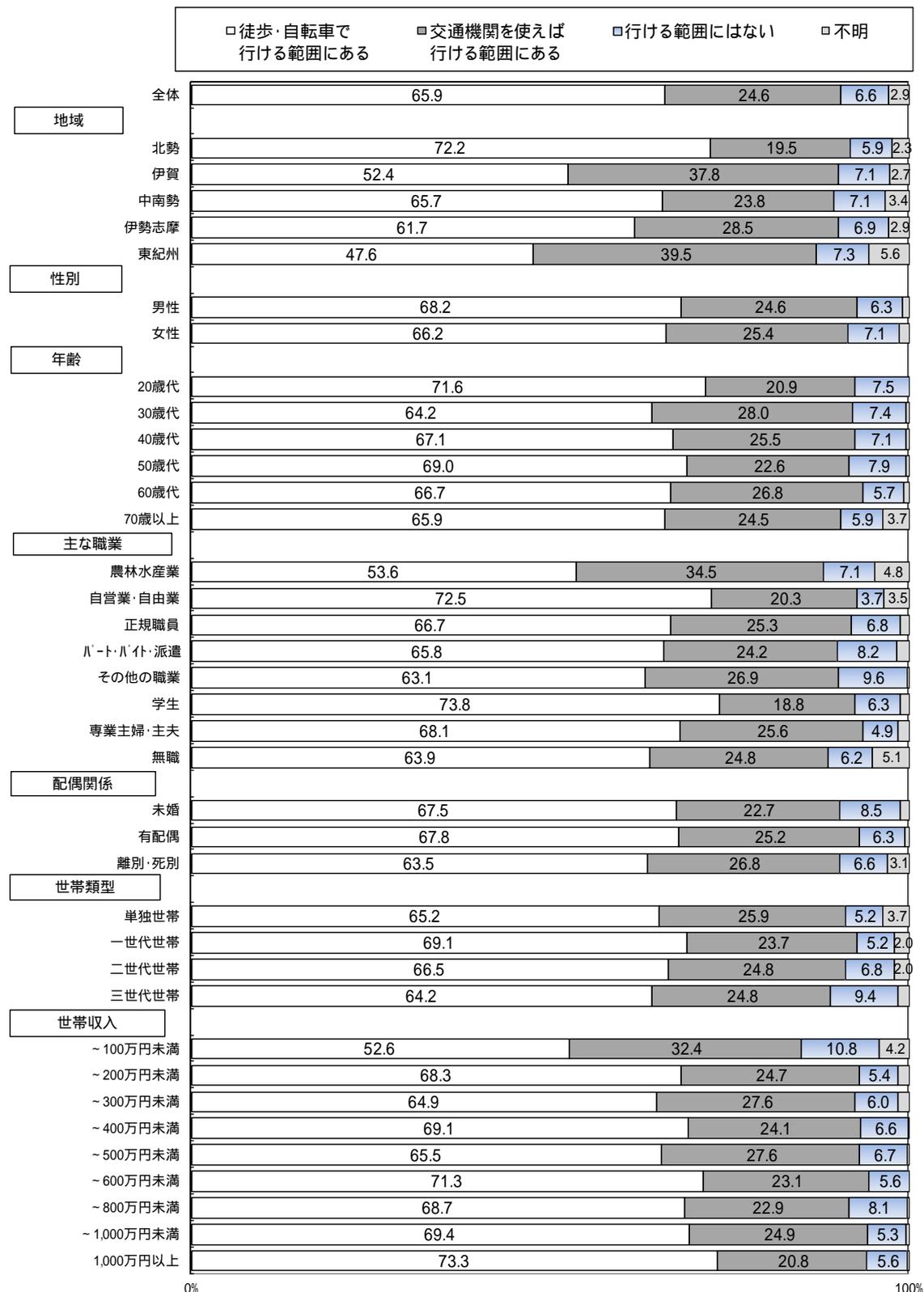
図表 2-5-19 近隣の施設へのアクセス(郵便局・属性別)



➤ 近隣の施設へのアクセス（金融機関）

金融機関へのアクセスについて質問したところ、「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合が65.9%、「交通機関を使えば行ける範囲にある」が24.6%、「行ける範囲にない」は6.6%となっています。

図表 2-5-20 近隣の施設へのアクセス(金融機関・属性別)



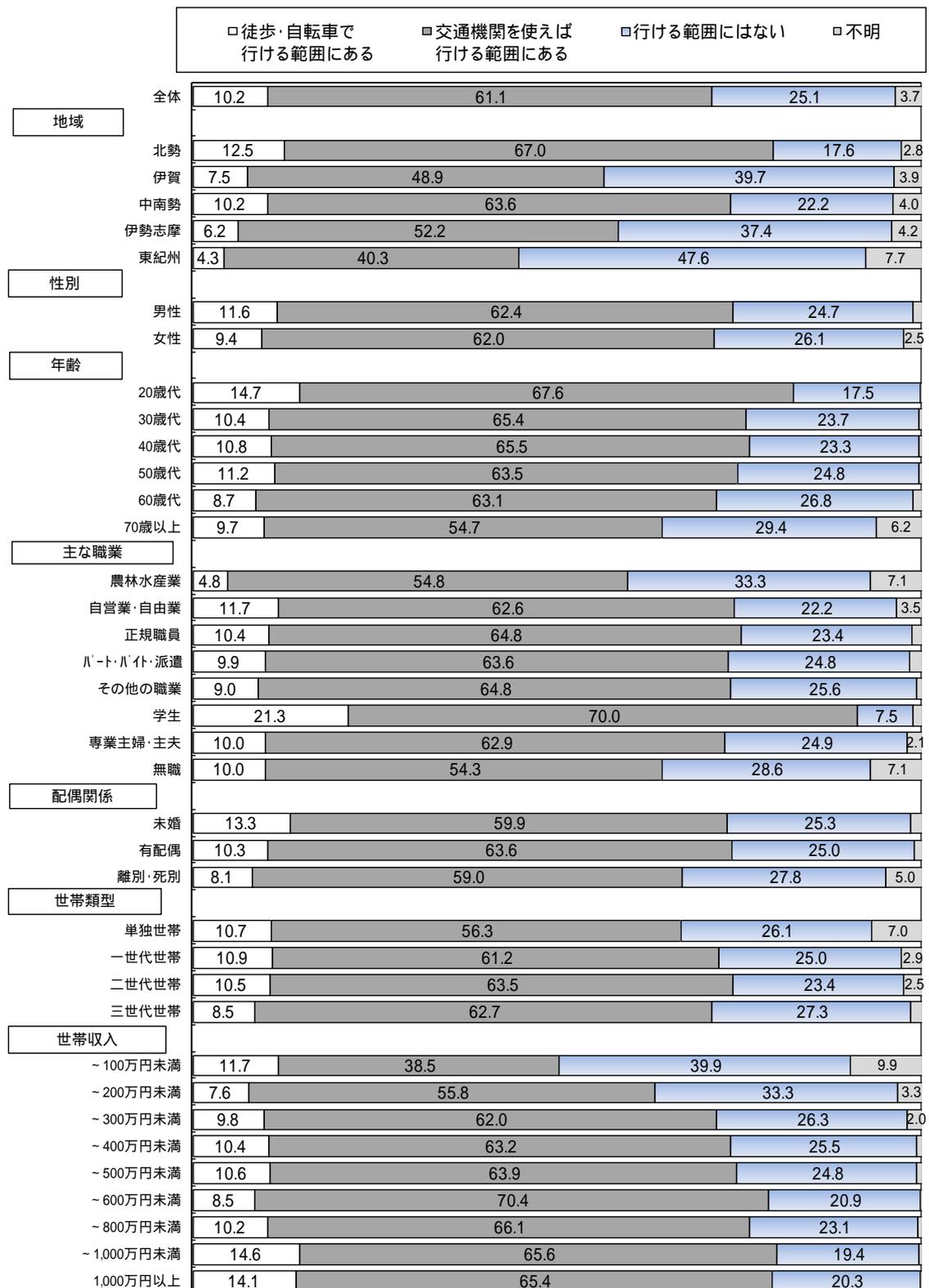
0%

100%

➤ 近隣の施設へのアクセス（文化施設）

文化施設へのアクセスについて質問したところ、「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合が10.2%、「交通機関を使えば行ける範囲にある」が61.1%、「行ける範囲にない」は25.1%となっています。

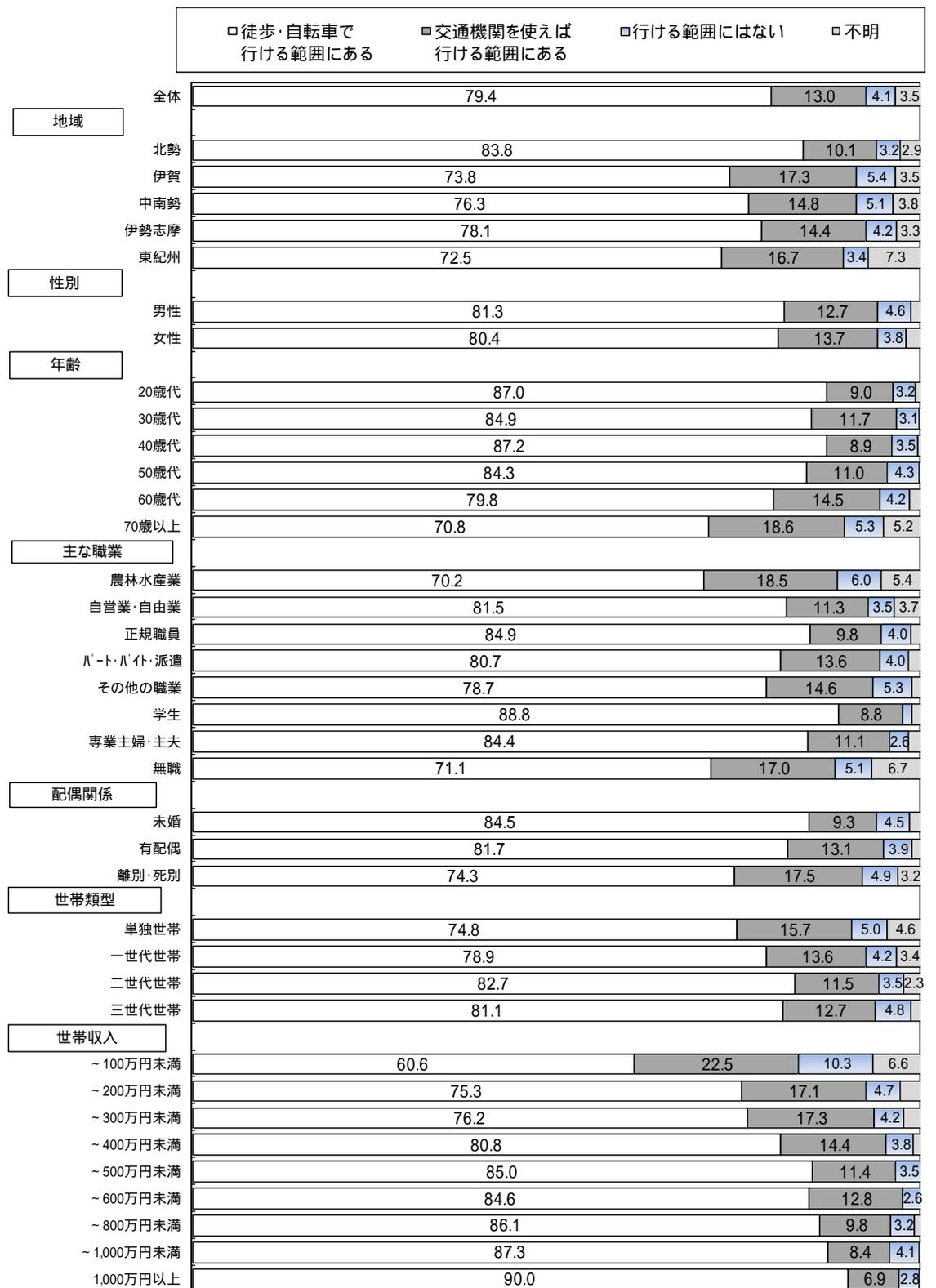
図表 2-5-21 近隣の施設へのアクセス(文化施設・属性別)



➤ 近隣の施設へのアクセス（公共交通機関）

公共交通機関へのアクセスについて質問したところ、「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合が79.4%、「交通機関を使えば行ける範囲にある」が13.0%、「行ける範囲にない」は4.1%となっています。

図表 2-5-22 近隣の施設へのアクセス(公共交通機関・属性別)



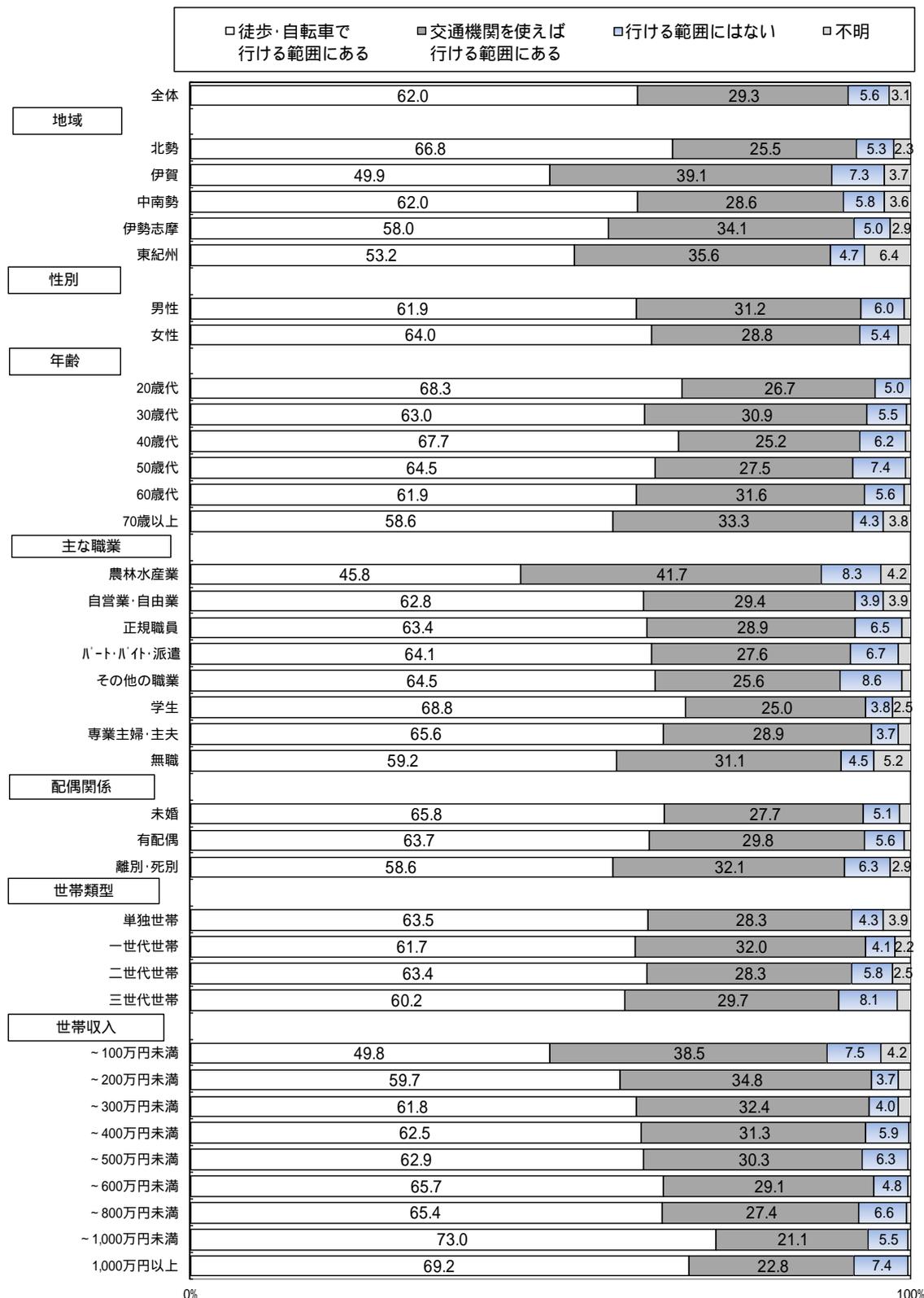
0%

100%

➤ 近隣の施設へのアクセス（診療所や病院）

診療所や病院へのアクセスについて質問したところ、「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合が62.0%、「交通機関を使えば行ける範囲にある」が29.3%、「行ける範囲にない」は5.6%となっています。

図表 2-5-23 近隣の施設へのアクセス(診療所や病院・属性別)



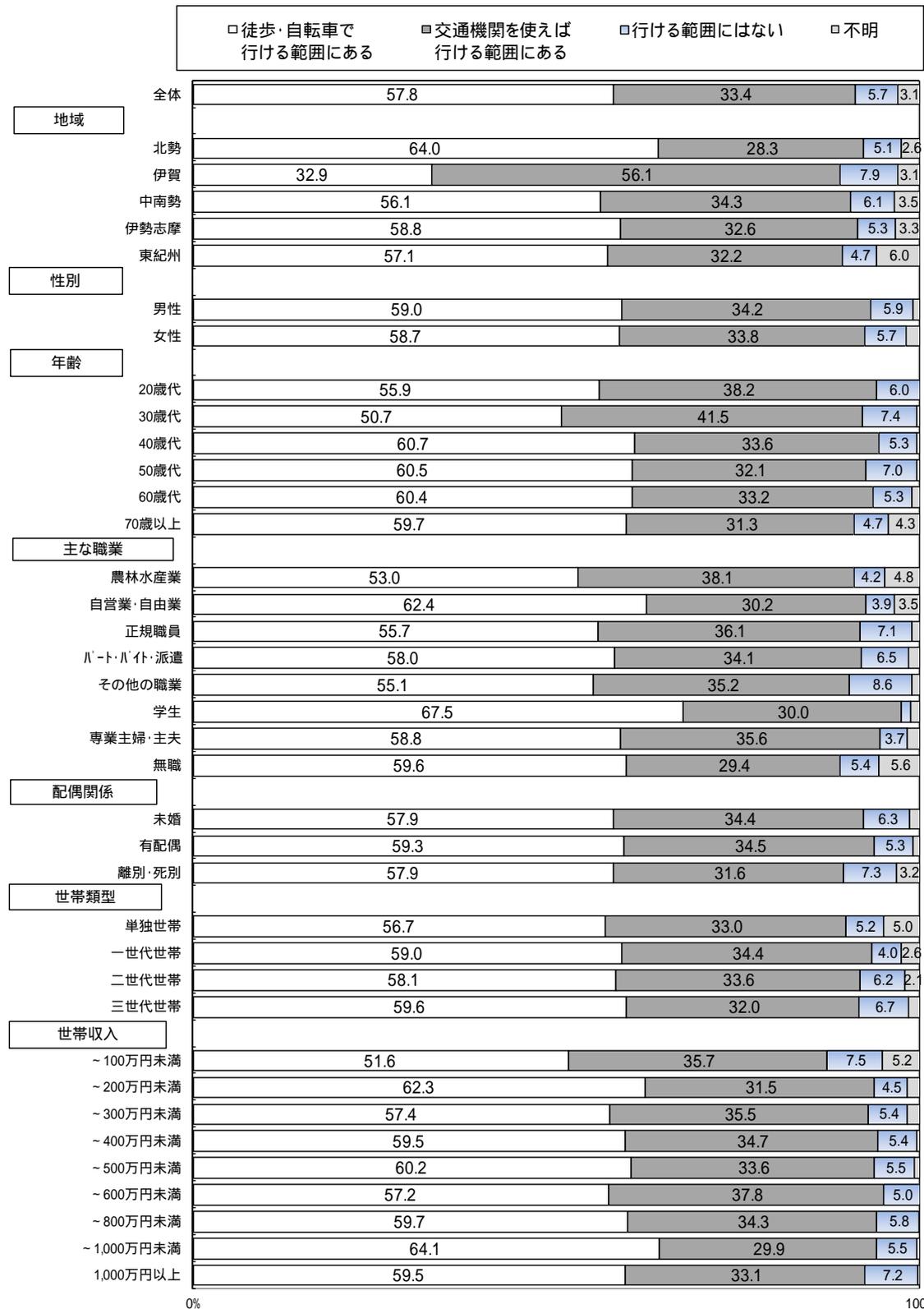
0%

100%

➤ 近隣の施設へのアクセス（役場、支所等の自治体窓口）

役場、支所等の自治体窓口へのアクセスについて質問したところ、「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合が57.8%、「交通機関を使えば行ける範囲にある」が33.4%、「行ける範囲にない」は5.7%となっています。

図表 2-5-24 近隣の施設へのアクセス(役場、支所等の自治体窓口・属性別)



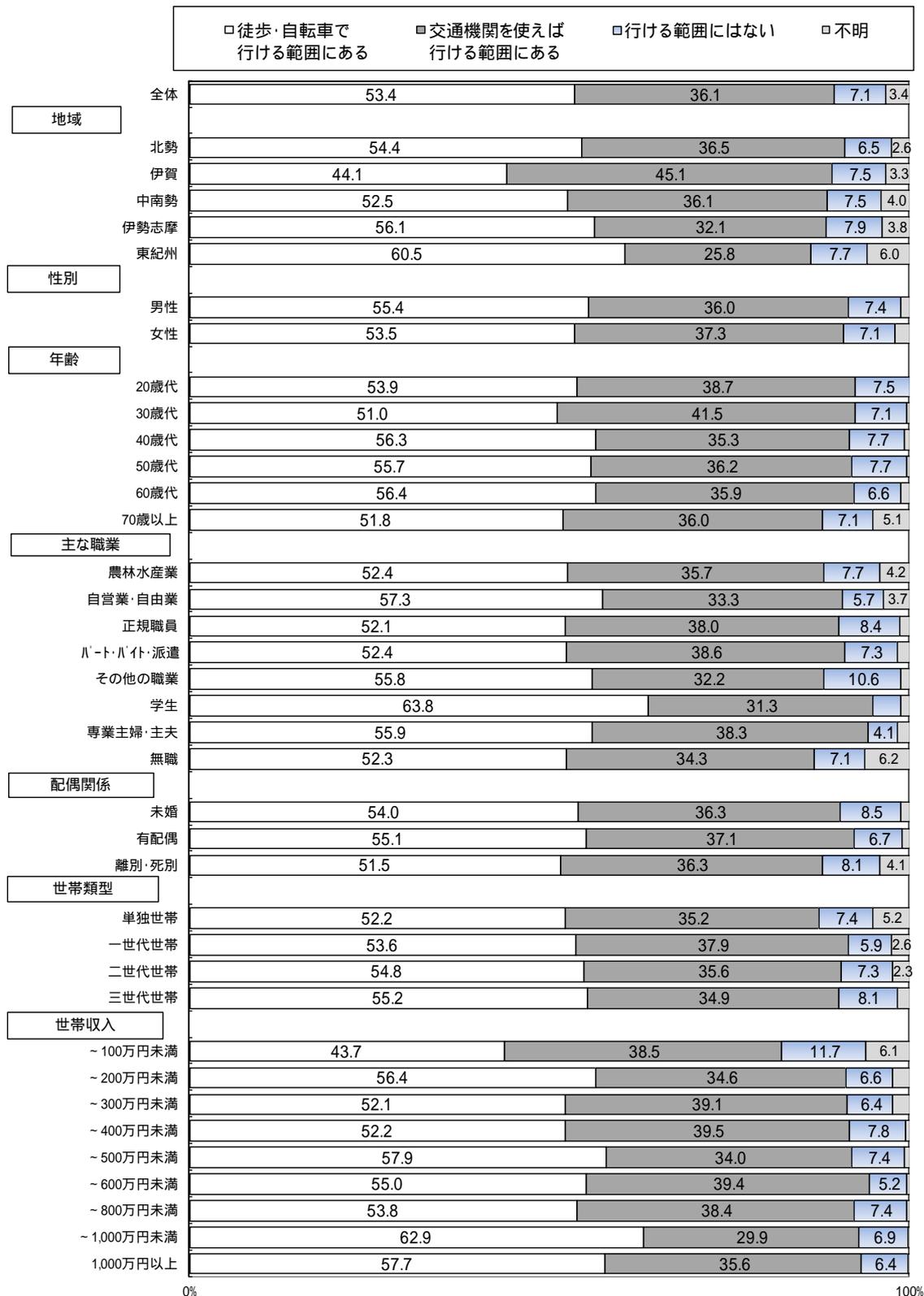
0%

100%

➤ 近隣の施設へのアクセス（図書館、公民館等の集会施設）

図書館、公民館等の集会施設へのアクセスについて質問したところ、「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合が53.4%、「交通機関を使えば行ける範囲にある」が36.1%、「行ける範囲がない」は7.1%となっています。

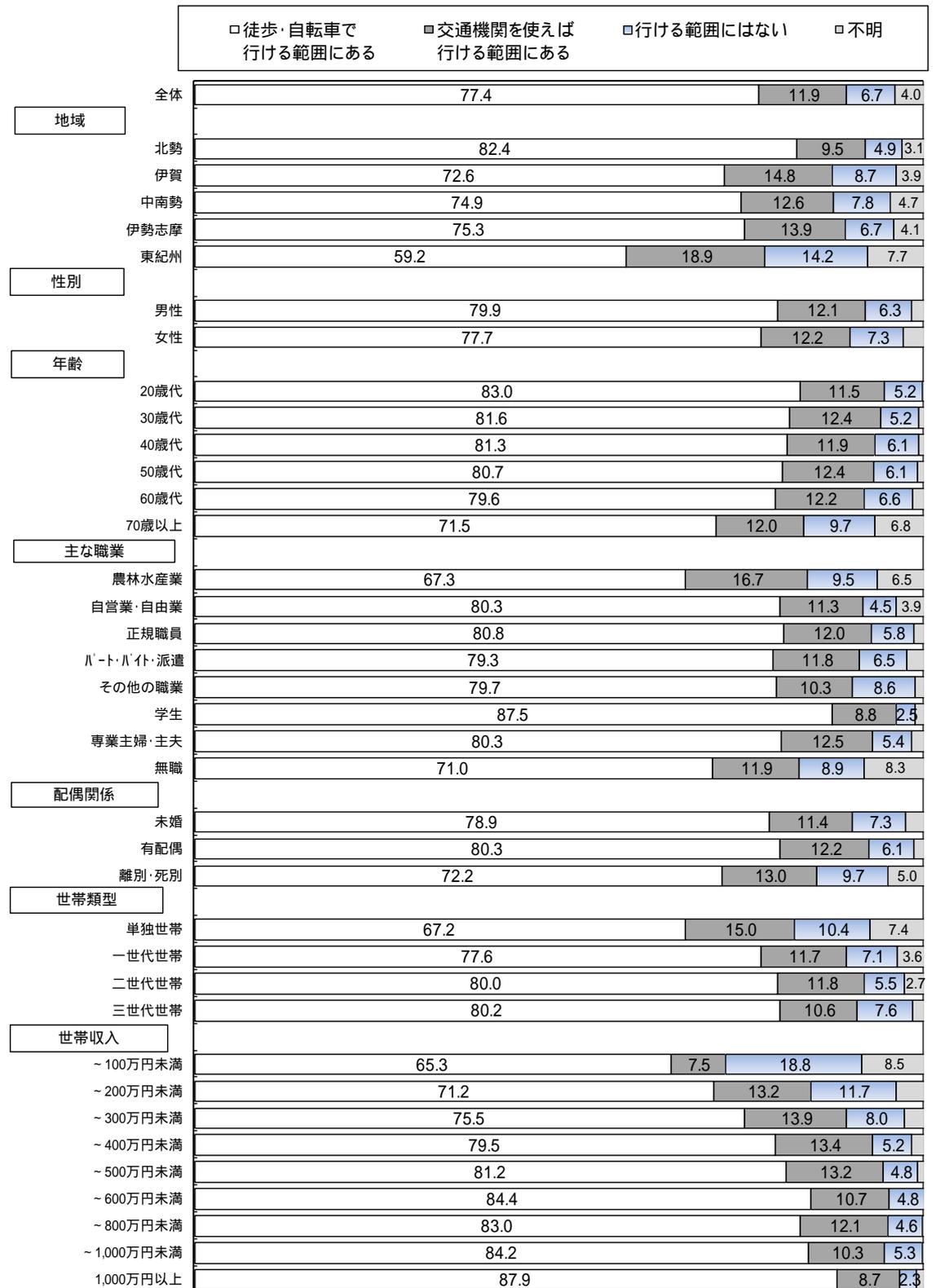
図表 2-5-25 近隣の施設へのアクセス(図書館、公民館等の集会施設・属性別)



➤ 近隣の施設へのアクセス（子どもなどが遊べる場）

子どもなどが遊べる場へのアクセスについて質問したところ、「徒歩・自転車で行ける範囲にある」の割合が77.4%、「交通機関を使えば行ける範囲にある」が11.9%、「行ける範囲にない」は6.7%となっています。

図表 2-5-26 近隣の施設へのアクセス(子どもなどが遊べる場・属性別)



その他

最後に このたびのアンケート調査に対するご感想、または三重県政に対する御意見などございましたら、ご自由にお書き下さい。今後の参考にさせていただきます。

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数5,444人のうち、1,576人の方から自由意見が寄せられました。

調査に関する御意見と調査以外のことに関する御意見の2つに整理しました。

(1) みえ県民意識調査に関する御意見(177件)

今後できるだけ多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などについて努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

目的や活用に関すること

- ・ この程度の質問内容で、行政の何の役に立つのかがよくわからない。アンケートを行うことが目的になっていないか。
- ・ アンケートによって生活が良くなったと感じたことははない。多くの時間と経費をかけて効果があるのか。
- ・ 結果をしっかりと生かして、統計のためのアンケートに終わることなく、県民の生活向上に役立ててほしい。

調査票の内容や構成に関すること

- ・ 幸福感は人によって基準が違うのでアンケートには適さないと思う。
- ・ 少子高齢化問題、産業経済、観光、教育、道路、公共交通網の整備など、政等面での分かりやすい質問項目に変えられないか。
- ・ 不安や悩みごとに関する質問のように、どの年代でも答えられる質問があると、より良い県民意識調査になるのではないか。
- ・ 幸福の尺度は人それぞれであり、アンケートの内容が多岐にわたっている点は良いと感じた。

その他(実施方法、分析、公表など)に関すること

- ・ 高齢者や退職した者に意見を聞くより、現役世代に回答してもらった方が良い。
- ・ 郵送による調査より、数は少なくとも面談調査の方がきめ細かく状況を把握できるのではないか。
- ・ アンケートの集計結果を公表してほしい。インターネットをしない者にも配慮した公表をお願いしたい。

(2) 調査以外のことに関する御意見 (延べ 1 , 8 5 4 件)

さまざまな分野に関する御意見もたくさんいただきました。

県政に関する御意見につきましては、関係部署に伝達し、諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用させていただきます。なお、参考までに「みえ県民カビジョン」における 16 の政策別およびその他に分類した内訳は次の通りです。

「みえ県民カビジョン」

01. 危機管理	86 件
02. 命を守る	88 件
03. 暮らしを守る	62 件
04. 共生の福祉社会	169 件
05. 環境を守る持続可能な社会	33 件
06. 人権の尊重と多様性を認め合う社会	23 件
07. 教育の充実	86 件
08. 子どもの育ちと子育て	151 件
09. スポーツの推進	27 件
10. 地域との連携	76 件
11. 文化と学び	32 件
12. 農林水産業	26 件
13. 強じんて多様な産業	34 件
14. 雇用の確保	121 件
15. 世界に開かれた三重	52 件
16. 安心と活力を生み出す基盤	211 件

その他(行政全般・知事に対して等) 577 件

(参考) 標本誤差と調査の精度

母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果からもとの全体の値を推定するのが標本調査ですが、この際に生ずる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。標本誤差の幅は、回答数(N) および回答率(P)によって決定されます。

標本誤差 $E = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{N}}$	E : 標本誤差 N : 回答数(人) P : 回答率(%)
--	--------------------------------------

次表は、上式にNとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

標本誤差の早見表

回答率(p) 標本数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

アンケート調査を行う場合、許容できる標本誤差の範囲は3%程度の範囲までが望ましいと言われています。

仮に、ある設問のある選択肢が選ばれる場合（回答の比率）が50%の場合、信頼度95%、標本誤差±3%（同じ調査を異なる調査対象で行った場合、100回中95回までは-3%～+3%の間に収まること）では、1,111件のサンプル数が必要であり、同様に標本誤差±2%では2,500件のサンプル数が必要であるという考え方となります。

今回の調査では、5,444件の有効回答数が得られており、三重県全体の意見を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。（次式及び「サンプル数決定の早見表」参照）

$$\text{サンプル数 } N = \left(\frac{k}{E}\right)^2 \times P \times (100 - P) \quad (1) \quad 1$$

N：サンプル数 P：回答率（%） E：標本誤差 k：信頼度係数 2

1：一般に人口1万人以上を目安に無限母集団と捉えるため、本調査においては、無限母集団のサンプル数を決定する式（1）を使用した。

2：信頼度係数は、正規分布表から求められ、信頼度95%の場合は1.96であるであるが、近似値として2を用いている。

サンプル数決定の早見表(信頼度95%)

標本誤差 回答率	±1%	±2%	±3%	±4%	±5%
1,99	396				
5,95	1,900	475	211	119	
10,90	3,600	900	400	225	144
20,80	6,400	1,600	711	400	256
30,70	8,400	2,100	933	525	336
40,60	9,600	2,400	1,067	600	384
50,50	10,000	2,500	1,111	625	400

第4回みえ県民意識調査 調査票（アンケート用紙）

1. 日ごろ感じている幸福感についておききします

問1-1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけで囲んでください。（は1つだけ）

とても 不 幸											とても 幸 せ
0点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点	

問1-2 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。（はいくつでも）

1 家計の状況（所得・消費）	8 趣味、社会貢献などの生きがい
2 就業状況（仕事の有無・安定）	9 家族関係
3 健康状況	10 友人関係
4 自由な時間	11 職場の人間関係
5 充実した余暇	12 地域コミュニティとの関係
6 仕事の充実度	13 政治、行政
7 精神的なゆとり	

問1-3 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものに2つまでをつけてください。（は2つまで）

1 自分自身の努力	4 社会（地域住民、NPO等）の助け合い
2 家族との助け合い	5 職場からの支援
3 友人や仲間との助け合い	6 国や地方の政府からの支援

2. 地域や社会の状況について、あなたの実感をおききします

問2 次の(1)から(16)までの16の質問それぞれについて、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

	1 感じる	2 どちらかといえば感じる	3 どちらかといえば感じない	4 感じない	9 わからない
(1) 災害等の危機への備えが進んでいると感じますか。	1	2	3	4	9
(2) 必要な医療サービスが利用できていると感じますか。	1	2	3	4	9
(3) 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じますか。	1	2	3	4	9
(4) 必要な福祉サービスが利用できていると感じますか。	1	2	3	4	9
(5) 身近な自然や環境を守る取組が広がっていると感じますか。	1	2	3	4	9
(6) 一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できていると感じますか。	1	2	3	4	9
(7) 子どものためになる教育が行われていると感じますか。	1	2	3	4	9

	1 感じる	2 どちらかといえば感じる	3 どちらかといえば感じない	4 感じない	9 わからない
(8) 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。	1	2	3	4	9
(9) スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じますか。	1	2	3	4	9
(10) 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じますか。	1	2	3	4	9
(11) 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができると感じますか。	1	2	3	4	9
(12) 三重県産の農林水産物を買いたいと感じますか。	1	2	3	4	9
(13) 県内の産業活動が活発であると感じますか。	1	2	3	4	9
(14) 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じますか。	1	2	3	4	9
(15) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じますか。	1	2	3	4	9
(16) 道路や公共交通機関等が整っていると感じますか。	1	2	3	4	9

3. ご家族に関することなどについておききします

問3 現在、一緒に暮らしているご家族は、あなた自身をふくめて全員で何人ですか。
一人暮らしの方は「1」とご記入ください。

	人
--	---

問4 現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたから見てどのような関係ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。(はいいくつでも)

<input checked="" type="radio"/> 1 あなた自身	5 親や配偶者の親
2 配偶者	6 祖父母や配偶者の祖父母
3 未婚の子ども	7 孫や孫の配偶者
4 既婚の子どもやその配偶者	8 その他

問5 ご家族のうち、単身赴任など一時的に別に生活している方はいますか。(○は1つだけ)

<input type="radio"/> 1 一時的に別に生活している家族がいる
<input type="radio"/> 2 一時的に別に生活している家族はいない

問6へ

問5で「1」を選んだ方におききします。

問5 - 2 その方は、あなたから見てどのような関係ですか。

1 配偶者
2 その他 ()

すべての方におききします。

問6 現在、あなたをふくめて、ご家族のうち、介護が必要な方はいますか。(○は1つだけ)

<input type="radio"/> 1 介護が必要な人がいる
<input type="radio"/> 2 介護が必要な人はいない

問7 お子さんは何人いらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。いない方は「0」とご記入ください。

人

お子さんがいらっしゃる方におききします。

問7 - 2 お子さんの年齢をご記入ください。お住まいについては、あてはまるものをつけてください。なお、お子さんが5人以上いる場合は、年齢が上の4人についてお答えください。

また、現在在学中の学校に該当するものがあれば をつけてください。

年齢 (記入)	お住まい (該当に○印)	現在、在学中の学校 (該当する学校に○印)
一番上 ()歳	県内、県外	高校、専門学校、短大・高専、大学・大学院
二番目 ()歳	県内、県外	高校、専門学校、短大・高専、大学・大学院
三番目 ()歳	県内、県外	高校、専門学校、短大・高専、大学・大学院
四番目 ()歳	県内、県外	高校、専門学校、短大・高専、大学・大学院

すべての方におききします。

問8 あなたは、日ごろ、ご近所付き合いや地域での活動(自治会、青年団、子供会など)をされていますか。次の中から、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(は1つだけ)

1 している

2 どちらかといえばしている

3 どちらかといえばしていない

4 していない

5 どちらともいえない

4 . 仕事や収入に関することについておききします

問9 もしあなたが希望する時間だけ働く（収入のある仕事をする）ことができるとすれば、あなたは一週間に何時間くらい働きたいですか。現在働いている方も、そうでない方も全員お答えください。（ は1つだけ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 働きたくない | 5 42～49 時間未満 |
| 2 1～16 時間未満 | 6 49～60 時間未満 |
| 3 16～35 時間未満 | 7 60 時間以上 |
| 4 35～42 時間未満 | 8 わからない |

問10 あなたが働く（収入のある仕事をする）にあたり、最も重視することは何ですか。あなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。現在働いている方も、そうでない方も、全員お答えください。（ は2つまで）

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 賃金などの報酬 | 5 仕事と生活のバランス確保 |
| 2 雇用の安定 | 6 職場の人間関係 |
| 3 仕事のやりがい | 7 技能の取得・向上 |
| 4 多様な就業形態 | |

問11 あなたは、生活費が足りないと感じる時はありますか。次の中から、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。（ は1つだけ）

- | |
|--------------|
| 1 ある |
| 2 どちらかといえばある |
| 3 どちらかといえばない |
| 4 ない |
| 5 わからない |

問12 あなたの主な職業は何ですか。(は1つだけ)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 農林水産業(家族従事者も含みます) |
| 2 | 自営業、自由業(家族従事者も含みます) |
| 3 | 企業、役所、団体などの正規職員 |
| 4 | パート、アルバイト、派遣社員など |
| 5 | その他、収入のある仕事 |
| 6 | 学生(アルバイト等をしている方も含みます) |
| 7 | 専業主婦、専業主夫 |
| 8 | 無職 |
- 次ページの問13へ

現在、働いている方(問12で「1」から「5」に をつけた方)におききします。

問12-2 通常、一週間に働く時間(残業時間を含み、通勤時間は除く)はどのくらいですか。次の中から選んでください。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---|------------|---|------------|
| 1 | 1~16 時間未満 | 5 | 49~60 時間未満 |
| 2 | 16~35 時間未満 | 6 | 60 時間以上 |
| 3 | 35~42 時間未満 | 7 | わからない |
| 4 | 42~49 時間未満 | | |

現在、働いている方(問12で「1」から「5」に をつけた方)におききします。

問12-3 あなたご自身の年間収入(税込み)はどのくらいですか。次の中から選んでください。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---|-----------------|----|-------------------|
| 1 | 100 万円未満 | 6 | 500 万円~600 万円未満 |
| 2 | 100 万円~200 万円未満 | 7 | 600 万円~800 万円未満 |
| 3 | 200 万円~300 万円未満 | 8 | 800 万円~1,000 万円未満 |
| 4 | 300 万円~400 万円未満 | 9 | 1,000 万円以上 |
| 5 | 400 万円~500 万円未満 | 10 | わからない |

5. お住まいの地域に関することなどについておききします

すべての方におききします。

問13 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。(は1つだけ)

- 1 住みやすい
- 2 どちらかといえば住みやすい
- 3 どちらかといえば住みにくい
- 4 住みにくい
- 5 どちらともいえない

問14 あなたは、生まれてからこれまでに親の世帯から離れて暮らしたことはありますか。

- 1 親の世帯から離れて暮らしたことがある
- 2 親の世帯から離れて暮らしたことはない

次ページの問15へ

問14で「1」を選んだ方におききします。

問14-2 親の世帯からはじめて離れた直後の居住地は県内・県外のどちらですか。

- 1 三重県内
- 2 三重県外

問14で「1」を選んだ方におききします。

問14-3 親の世帯からはじめて離れた理由は何ですか。次の中から、最も近いものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- 1 入学・進学
- 2 就職・転職・転勤など
- 3 結婚
- 4 住宅事情や通勤通学の便など
- 5 親からの自立・独立
- 6 その他()

問15 あなたは、現在の場所にずっとお住まいですか、それとも引っ越してきましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(は1つだけ)

- 1 生まれてからこれまでずっと同じ場所に住んでいる
- 2 現在と同じ市町の別の地域から引っ越してきた
- 3 三重県内の他の市町から引っ越してきた
- 4 三重県外から、初めて三重県に引っ越してきた
- 5 以前三重県に住んでいて、また、三重県に戻ってきた

次ページの問16へ

問15で「2」から「5」に つけた方におききします。

問15-2 現在お住まいの場所には、何年くらい前に引っ越してきましたか。

年くらい前

問15で「2」から「5」に つけた方におききします。

問15-3 現在お住まいの場所に引っ越してこられた主な理由は何ですか。次の中から、最も近いものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 入学・進学 | 10 親と同居 |
| 2 就職 | 11 親と近居 |
| 3 転職 | 12 子と同居 |
| 4 転勤 | 13 子と近居 |
| 5 家業継承 | 14 家族の移動に伴って |
| 6 定年退職 | 15 結婚 |
| 7 住宅事情 | 16 離婚 |
| 8 生活環境上の理由 | 17 子育て環境上の理由 |
| 9 通勤通学の便 | 18 健康上の理由 |
| | 19 その他 () |

問16 あなたが住んでいる近隣についてお聞きします。次の施設は、徒歩もしくは自転車で利用できますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

	1 徒歩・自転車で 行ける範囲にある	2 交通機関を使えば 行ける範囲にある	3 行ける範囲にはない
(1) 食料品が買える所(食料品店、スーパー等)	1	2	3
(2) 日用雑貨が買える所	1	2	3
(3) 郵便局	1	2	3
(4) 銀行、信用金庫などの金融機関	1	2	3
(5) 映画館、劇場、美術館等の文化施設	1	2	3
(6) 公共交通機関(バス停、鉄道駅等)	1	2	3
(7) 診療所や病院	1	2	3
(8) 役場、支所等の自治体窓口	1	2	3
(9) 図書館、公民館等の集会施設	1	2	3
(10) 子どもなどが遊べる場(公園等)	1	2	3

さいごに、ご自身の現在のことについておききします

三重県全体の分析のためには、回答者お一人おひとりについて、以下のような情報が欠かすことができません。無記名式であり、集計した結果のみを使用しますので個人の情報が特定されることは一切ございません。ぜひご協力ください。

問17 あなたの性別を次の中から選んでください。(は1つだけ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問18 あなたは現在、おいくつですか。

満 歳

問19 あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。(は1つだけ)

- | |
|--------------------------|
| 1 未婚(結婚したことはない) |
| 2 既婚・死別(結婚したことはあるが、死別した) |
| 3 既婚・離別(結婚したことはあるが、離別した) |
| 4 既婚・配偶者あり(現在、夫または妻がいる) |

問20 あなたが最後に卒業された学校はどれにあたりますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。在学中の方はその学校を選んでください。(は1つだけ)

- | |
|--------------------------------|
| 1 小中学校(尋常小学校、高等小学校等を含む) |
| 2 高等学校(旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む) |
| 3 専修学校等(各種学校を含む) |
| 4 短期大学、高等専門学校 |
| 5 大学(旧制高校、旧制高専学校等を含む) |
| 6 大学院 |

問21 あなたの世帯全体の年間収入(税込み)はどのくらいですか。(は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 100万円未満 | 6 500万円～600万円未満 |
| 2 100万円～200万円未満 | 7 600万円～800万円未満 |
| 3 200万円～300万円未満 | 8 800万円～1,000万円未満 |
| 4 300万円～400万円未満 | 9 1,000万円以上 |
| 5 400万円～500万円未満 | 10 わからない |

問22 あなたのお住まいの地域はどちらですか。1～5の地域に をつけてください。
(は1つだけ)

1 北勢地域	(桑名市・いなべ市・四日市市・鈴鹿市・亀山市 木曾岬町・東員町・菰野町・朝日町・川越町)
2 伊賀地域	(伊賀市・名張市)
3 中南勢地域	(津市・松阪市 多気町・明和町・大台町)
4 伊勢志摩地域	(伊勢市・鳥羽市・志摩市 玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町)
5 東紀州地域	(尾鷲市・熊野市 紀北町・御浜町・紀宝町)

このたびのアンケート調査に対するご感想、または三重県政に対するご意見などございましたら、ご自由にお書きください。今後の参考にさせていただきます。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
このアンケート用紙を同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、郵便ポストに投函してください。
ご回答いただいた内容については直ちに集計して分析し、県政を進めるための貴重な資料として活用させていただきます。
報告書は4月頃に公表し、県庁舎の受付などに配置するとともに、県ホームページにも掲載する予定です。

URL <http://www.pref.mie.lg.jp/SENSOMU/HP/mieishiki/>

▼ みえ意識

検索

